臨床検査技師
国家試験出題基準
令和７年版

厚生労働省医政局医事課

目　　次

臨床検査技師国家試験出題基準の作成について …… i

臨床検査技師国家試験出題基準改定委員会委員名簿 …… ii

臨床検査技師国家試験出題基準の利用法 …… iii

試験科目と指定規則に定める教育内容との対応表 …… iv

Ⅰ章　臨床検査総論 …… 1

Ⅱ章　臨床検査医学総論 …… 12

Ⅲ章　臨床生理学 …… 22

Ⅳ章　臨床化学 …… 28

Ⅴ章　病理組織細胞学 …… 35

Ⅵ章　臨床血液学 …… 42

Ⅶ章　臨床微生物学 …… 48

Ⅷ章　臨床免疫学 …… 58

Ⅸ章　公衆衛生学 …… 64

Ⅹ章　医用工学概論 …… 70

索引

欧文索引 …… 75

和文索引 …… 80

臨床検査技師国家試験出題基準の作成について

1　経緯

臨床検査技師国家試験出題基準は、平成 12 年の臨床検査技師学校養成所指定規則の改正によって、教育カリキュラムが大綱化されたことに伴い、平成 14 年に取りまとめられたものであり、その後３度の改定を経て、国家試験問題の作成に活用されている。

現行の教育及び医療水準等を踏まえた改定を行うため、令和４年９月、臨床検査技師出題基準改定検討会を設置し、審議が行われた結果、今般、出題基準が取りまとめられたものである。

今般取りまとめた出題基準は、令和７年の臨床検査技師国家試験から適用する。

2　会議開催状況

第１回　　令和４年　９月　８日（木）
第２回　　令和４年１０月　６日（木）
第３回　　令和４年１１月２２日（火）
第４回　　令和４年１２月２６日（月）

臨床検査技師国家試験出題基準改定検討会委員名簿

○	大西　宏明	杏林大学
	小野　佳一	東京大学医学部附属病院
	松下　弘道	日本臨床検査医学会
	杉本　邦彦	藤田医科大学病院
	東條　尚子	東京都教職員互助会三楽病院
	佐藤　麻子	東京女子医科大学
	山田　正人	帝京大学医学部附属溝口病院
	滝野　寿	（一社）日本臨床衛生検査技師会
	金子　誠	社会福祉法人三井記念病院
	松本　哲哉	国際医療福祉大学
	松村　充	帝京大学
	小野川　傑	日本臨床検査学教育協議会
	奥田　誠	東邦大学医療センター大森病院
	須賀　万智	東京慈恵会医科大学
	坂本　秀生	日本臨床検査学教育協議会

○は委員長（敬称略）

臨床検査技師国家試験出題基準の利用法

臨床検査技師国家試験は、臨床検査技師等に関する法律の第 11 条に基づいて行われる。

その内容を具体的な項目に拠って示したのが、臨床検査技師国家試験出題基準である。臨床検査技師国家試験の妥当な範囲と適切なレベルを確保するため、臨床検査技師試験委員はこの基準に拠って出題する。

なお、当該出題基準は養成所の卒業前の教育で扱われる内容の全てを網羅するものではなく、これらの教育のあり方を拘束するものではない。

利用者は以下の項目ごとの分類に従う。

１．見出し（章）、見出し（節）、大項目、中項目、小項目に分類する。

（１）見出し（章）は試験科目名とする。また、見出し（節）、は臨床検査技師学校養成所指定規則に定める教育内容を示す。

（２）大項目は中項目を束ねる見出しとする。

（３）中項目は、臨床検査技師国家試験の出題範囲とする。

（４）小項目には、中項目の内容を例示する。

① 中項目に関連する主たる項目範囲を示す。

② 標準的な学生用教科書に記載されている程度の内容は出題範囲となる。

（５）備考は、中項目および小項目に関する内容のうち、臨床検査技師にとって必要な事項（特徴的所見を含む）を記載する。ただし、出題範囲を限定するものではない。

２．その他

（　）：省略しても意味または分類の変わらない語
　　例；蛋白（質）

〈　〉：直前の語の言い換えまたは説明
　　例；後天性免疫不全症候群〈AIDS〉、アロ抗原〈MHC を含む〉

［　］：〈　〉の中に〈　〉がある場合の大きい括り

試験科目と指定規則に定める教育内容との対応表

試験科目	指定規則	
臨床検査総論	尿・糞便等一般検査	専門
	遺伝子関連・染色体検査	
	臨床検査総合管理学	
	医療安全管理学	
臨床検査医学総論	病態学	専門
臨床生理学	人体の構造と機能	基礎
	生理学的検査	専門
臨床化学	人体の構造と機能	基礎
	生化学的検査	専門
病理組織細胞学	人体の構造と機能	基礎
	臨床検査の基礎と疾病との関連	
	病理学的検査	専門
臨床血液学	人体の構造と機能	基礎
	血液学的検査	専門
臨床微生物学	臨床検査の基礎と疾病との関連	基礎
	微生物学的検査	専門
臨床免疫学	免疫学的検査	専門
	輸血・移植検査	専門
公衆衛生学	保健医療福祉と臨床検査	基礎
医用工学概論	医療工学・医療情報	基礎
	臨床検査総合管理学	専門

Ⅰ章　臨床検査総論

臨床検査総合管理学・医療安全管理学

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　考
1　臨床検査概論	A　臨床検査の意義	a　検査法の変遷	
		b　スクリーニング検査	
		c　精密検査	
		d　緊急検査	
		e　診察前検査	
		f　コンパニオン検査	分子標的治療
		g　術前・術後検査	
		h　予後の検査	
	B　検査の使い方	a　科学的・論理的思考	
		b　診断プロセス	医療面接、身体診察、臨床検査〈スクリーニング、除外診断、確定診断〉
		c　検査計画	
	C　検査の分類	a　検体検査の一次分類	
		b　検体検査の二次分類	
		c　生理学的検査	
2　臨床検査部門の業務と管理	A　臨床検査部門の組織	a　検査体制の変遷	
		b　病院の組織	
		c　臨床検査部門の組織	
		d　診療支援部門としてのあり方	
		e　チーム医療	感染対策チーム〈ICT〉、抗菌薬適正使用支援チーム〈AST〉、栄養サポートチーム〈NST〉
		f　衛生検査所	
	B　臨床検査部門の業務	a　検体検査	
		b　生理学的検査	
		c　日常検査	
		d　迅速検査	
		e　POCT	
		f　OTC検査	
		g　在宅検査	
		h　治験業務	
		i　臨床検査情報室	
	C　臨床検査技師のタスクシフト／シェア	a　臨床検査技師が実施可能な業務	
	D　検査業務管理	a　マニュアル、標準作業手順書〈SOP〉	
		b　検査室の環境管理	
		c　試薬の管理	
		d　検査器材・機器の管理	
		e　個人情報の管理	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		f　人事管理	
		g　検査説明	
		h　医療経済と財務管理	保険診療、診療報酬、保険点数、DPC、検査に係る加算
3　検体の採取と保存	A　採血法	a　採血器具	
		b　採血条件	
		c　抗凝固剤、解糖阻止剤	
		d　標準採血法	
		e　静脈血	
		f　毛細血管血	
		g　全血、血漿、血清	
	B　採血時の安全管理	a　血管迷走神経反応	
		b　末梢神経損傷	
		c　感染症	
		d　その他の採血合併症	
		e　針刺し切創	
	C　その他の検体の採取法・取り扱い法	a　尿	
		b　糞便	
		c　喀痰	経口、経鼻又は気管カニューレからの喀痰採取
		d　精液	
		e　組織・細胞	
		f　胃液	
		g　十二指腸液	
		h　脳脊髄液	
		i　咽頭・鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液	
		j　唾液	
		k　皮膚・膿・口腔粘膜	
		l　内視鏡による生検材料	
		m　穿刺液、分泌液、その他	
	D　検体の搬送と保存、廃棄	a　搬送法	
		b　保存法	
		c　廃棄法	検体の二次利用について
4　検査のプロセス	A　分析前プロセス	a　検査の受付	
		b　オーダリングシステム	
		c　検体照合	
		d　検体搬送	
		e　検体の種別	
		f　検体の前処理	
	B　分析プロセス	a　検体の測定	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b 生理学的検査の実施	
	C 分析後プロセス	a 報告の種類と方法	
		b 検査結果への付加情報・コメント	
		c 検査結果の評価	
		d 検査結果の保存	
5 検査の精度保証（精度管理）	A 概略	a クオリティマネジメント	
		b 精度管理に必要な統計学	
	B 誤差	a 正確さと精密さ	
		b 不確かさ	
		c 誤差の分類	
		d 誤差の許容限界	
		e 管理限界	
	C 単位	a 化学分析の単位	
		b 酵素活性の単位	
		c SI単位	
	D 精度管理法	a 精度管理法の分類	
		b 精度管理試料	
		c 内部精度管理	
		d 外部精度管理調査〈外部精度評価〉	臨床検査室の技能試験
		e 検査過誤の管理	
	E 標準化	a 基準測定操作法	
		b 標準物質	
		c トレーサビリティ	
		d 共用基準範囲	
	F 検査法の信頼性評価	a 技術的評価	バイアス、共存物質の影響
		b 検証(verification)	
		c 妥当性確認(validation)	
		d 検査結果の評価	
	G 医療法又は臨検法に基づく精度の確保に係る基準	a 検査の精度の確保に係る責任者の配置	
		b 各種標準作業書・日誌等の作成	
		c 検体検査の精度の確保のために努めるべき事項	
	H 検査室の第三者評価	a 認証・認定制度	ISO、CAP、品質保証施設認証制度
6 検査と社会との関わり	A 医療安全	a 医療事故と医療過誤	
		b インシデントとアクシデント	
		c 医療事故発生時の対処	
		d 医療事故防止対策	
		e 患者と検体の確認	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		f　パニック値対応	
		g　報告書管理体制	
		h　リスクマネジメント	リスクアセスメント、リスク対応
	B　感染対策	a　標準予防策	
		b　感染経路別予防策	
	C　安全衛生管理	a　電気	
		b　医療用ガス	
		c　薬品	毒物及び劇物取締法
		d　感染性医療廃棄物	
		e　放射性同位元素<RI>	
		f　労働衛生管理	
		g　災害対策	
	D　検査の倫理	a　検査の倫理規定	
		b　インフォームドコンセント	コミュニケーションを含む
		c　患者の権利	QOLを含む
		d　遺伝倫理	
		e　遺伝情報管理	

尿・糞便等一般検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1 尿検査	A 尿の生成と性状	a 尿の生成	
		b 尿量	
		c 臭気	
		d 色調	
		e 混濁尿	
	B 尿一般検査	a 尿pH	
		b 尿比重	
		c 尿浸透圧	
		d 尿蛋白質	
		e 尿糖	
		f 尿ケトン体	
		g 尿ビリルビン	
		h 尿ウロビリン体	
		i 尿潜血	血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿
		j 尿亜硝酸塩	
		k 白血球反応	
		l 尿クレアチニン	
		m 尿アルブミン	
	C 化学的検査法	a 電解質	ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、マグネシウム、無機リン
		b 蛋白質	Bence Jones蛋白、微量アルブミン、α_1-ミクログロブリン、β_2-ミクログロブリン
		c 非蛋白窒素	尿素窒素、クレアチニン、クレアチン、尿酸
		d ヒト絨毛性ゴナドトロピン〈hCG〉、妊娠反応	
		e ポルフィリン体	ポルホビリノゲン
		f 薬物・毒物・代謝産物	5-HIAA、メラノゲン、バニリルマンデル酸〈VMA〉、フェニルケトン体、アルカプトン、インジカン
		g その他	NAG、N-GAL、L-FABP、尿アミラーゼ、シスタチンC
	D 尿沈渣検査	a 標本作製法	
		b 染色法	Sternheimer染色、SudanⅢ染色、Prescott-Brodie染色
		c 鏡検法	
		d 円柱類	
		e 塩類・結晶類	
		f 細胞類	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		g　微生物類・寄生虫類	
		h　その他	
	E　自動分析装置	a　尿自動分析装置	
		b　尿中有形成分分析装置	
	F　腎機能検査	a　クリアランス	
		b　推算糸球体濾過量(eGFR)	
2　脳脊髄液検査	A　髄液の生成と性状	a　髄液の生成	
		b　混濁	
		c　色調	
		d　圧測定	
	B　化学的検査法	a　蛋白質	アルブミン、グロブリン
		b　糖質	
		c　酵素	LD、CK、アデノシンデアミナーゼ<ADA>
		d　その他	乳酸、クロール
	C　細胞学的検査法	a　染色法	
		b　鏡検法	
		c　細胞数	
		d　細胞の種類	
3　糞便検査	A　生成と性状	a　形状	ブリストルスケール
		b　色調	
		c　臭気	
	B　糞便検査法	a　免疫学的便潜血反応	
		b　吸収不良・蛋白漏出検査	便中脂肪検査、α_1-アンチトリプシン
		c　病原体関連検査	ノロウイルス、大腸菌ベロ毒素
4　その他の検査	A　喀痰検査	a　分類	Geckler分類、Miller & Jones分類
	B　穿刺液検査	a　胸水	
		b　腹水	
		c　心嚢液	
	C　その他の体液検査	a　気管支肺胞洗浄液<BALF>	
		b　腹膜透析<PD>排液	
		c　羊水	
		d　鼻汁	
		e　関節液	
		f　腟分泌液	
		g　精液	
	D　結石検査		

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
5 医動物学	A 寄生虫症の疫学	a 新興・再興感染症	
		b 顧みられない熱帯病[Neglected Tropical Disease<NTD>]	
		c 輸入感染症	
	B 寄生虫の生活と疾患	a 生活史と感染経路	
		b 人獣共通感染症	
		c 幼虫移行症	
		d 日和見感染症	
	C 寄生虫の生殖と発育	a 無性生殖と有性生殖	
		b 終宿主と中間宿主	
	D 線虫類	a 回虫	アニサキスを含む
		b 蟯虫	
		c 鞭虫	
		d 鉤虫	
		e 糸状虫	回旋糸状虫、バンクロフト糸状虫、マレー糸状虫
		f その他の線虫	糞線虫、東洋毛様線虫、旋毛虫、顎口虫、広東住血線虫、旋尾線虫、メジナ虫
	E 吸虫類	a 住血吸虫	日本住血吸虫、Manson<マンソン>住血吸虫、Bilharz<ビルハルツ>住血吸虫
		b 肺吸虫	Westerman肺吸虫、宮崎肺吸虫
		c その他の吸虫	横川吸虫、肝吸虫、タイ肝吸虫、肝蛭
	F 条虫類	a 裂頭条虫	日本海裂頭条虫、広節裂頭条虫、クジラ複殖門条虫<大複殖門条虫>、Manson<マンソン>裂頭条虫
		b 無鉤条虫	
		c 有鉤条虫、有鉤嚢虫	
		d その他の条虫	単包条虫、多包条虫、小形条虫、縮小条虫
	G 原虫類	a アメーバ	赤痢アメーバ、大腸アメーバ、アカントアメーバ
		b マラリア原虫	熱帯熱マラリア原虫、三日熱マラリア原虫、四日熱マラリア原虫、卵形マラリア原虫、サルマラリア原虫
		c トキソプラズマ	
		d その他の原虫	Lambl鞭毛虫、トリパノソーマ、リーシュマニア、腟トリコモナス、ヒトクリプトスポリジウム、戦争イソスポーラ、サイクロスポーラ、肉胞子虫

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	H 衛生動物（医節足動物）	a ツツガムシ	
		b ダニ類	ヒゼンダニ、マダニ、ニキビダニ、コナダニ
		c 蚊類	ハマダラカ、イエカ、ヤブカ
		d シラミ類	アタマジラミ、コロモジラミ、ケジラミ、トコジラミ
		e その他	ハエ類、ノミ類、ブユ類、アブ類
6 寄生虫検査法	A 材料の採取と保存	a 糞便	
		b その他	尿、喀痰、血液、皮膚、胆汁
	B 糞便	a 虫卵の検出法	
		b 原虫の検出法	
		c 幼虫・成虫体の検出法	
	C 血液	a マラリア原虫の検査	
		b その他の原虫の検査	
	D その他の検査	a 免疫学的検査法	
		b 遺伝子検査法	

遺伝子関連・染色体検査

大項目	中項目	小項目	備考
1 遺伝子の基礎	A 遺伝子の構造と機能	a 核酸の種類	
		b 核酸代謝	
		c 遺伝子の構造と機能	
	B DNAの複製	a 複製	
		b DNAの損傷と修復	
	C 遺伝情報の伝達と発現	a ゲノムDNA	
		b ミトコンドリアDNA	
		c 転写	
		d 翻訳	
		e 遺伝子発現の調節	
		f 蛋白質合成	
		g 変異と多型	
	D 遺伝子と疾患	a 遺伝の法則	
		b 遺伝子変異と変異原	
		c 表現型と遺伝型	
		d 遺伝子異常と疾患	
		e 遺伝子と発がん	*TP53*、*RB1*
		f 遺伝子診断	
		g 遺伝子治療	
		h 移植・再生医療	ES細胞、iPS細胞
		i ファーマコゲノミクス〈PGx〉	
2 遺伝子検査法	A 遺伝子関連検査の種類	a 病原体核酸検査	
		b 体細胞遺伝子検査	
		c 生殖細胞系列遺伝子検査	遺伝学的検査
	B 検体の取り扱い	a 検体採取と保存	リキッドバイオプシー
		b 検体試料の前処理	
	C 核酸抽出	a DNA抽出	
		b RNA抽出	
		c 核酸の保存	保存方法
	D 遺伝子増幅	a PCR法	
		b RT-PCR法	
		c real-time PCR法	
		d その他の核酸増幅法	LAMP法、NASBA法、TMA法、TRC法
	E 解析法	a サザンブロット法	
		b ノザンブロット法	
		c DNAマイクロアレイ法	
		d シークエンス解析	
		e マイクロサテライト解析	
		f リアルタイムPCR法	
		g がん遺伝子パネル検査	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		h　その他の解析法	次世代シークエンシング(NGS)、MLPA法
	F　遺伝子検査の精度管理	a　精度管理法	内部精度管理、外部精度評価
	G　検査機器	a　クリーンベンチ・安全キャビネット	
		b　核酸抽出装置	
		c　核酸増幅装置	
		d　ブロッティング装置	
		e　シークエンサ	
		f　トランスイルミネータ	
		g　その他の検査機器	
3　染色体の基礎	A　染色体の構造と機能	a　細胞周期	
		b　染色体の構造	
		c　常染色体	
		d　性染色体	
		e　ヒトの染色体地図	遺伝子マッピング、核型進化
	B　分類と命名法	a　体細胞	
		b　生殖細胞	
		c　核型	
	C　染色体異常と疾患	a　数的異常	トリソミー
		b　構造異常	欠失、重複、転座
		c　その他の異常	染色体不安定症候群
4　染色体検査法	A　細胞培養法	a　培養準備	
		b　末梢血リンパ球培養	リンパ球細胞株の樹立
		c　骨髄細胞培養	
		d　羊水・絨毛細胞培養	
		e　高精度分染用培養	
		f　その他	皮膚線維芽細胞培養、固形腫瘍細胞培養
	B　標本作製法	a　低張処理	
		b　固定	
		c　展開	
		d　保存	
	C　分染法	a　Qバンド	
		b　Gバンド	
		c　Rバンド	
		d　Cバンド	
		e　NOR法	
		f　姉妹染色分体分染法	
		g　高精度染色体分染法	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	D 核型分析	a 顕微鏡観察	
		b 核型分析	
		c 核型の記載法	ISCN
		d 自動解析装置	
	E fluorescence *in situ* hybridization〈FISH法〉	a DNAプローブの種類	
		b 間期核FISH法	
		c 染色体ペインティング法	SKY〈spectral karyotyping〉法
	F マイクロアレイ染色体検査	a CGHアレイ	
		b SNPアレイ	
	G 検査機器	a クリーンベンチ	
		b 炭酸ガス培養器	
		c その他の検査機器	
		d 自動解析装置	

Ⅱ章　臨床検査医学総論

臨床病態学

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　医学概論	A　患者と病気	a　病気の原因	
		b　病気の症状	
		c　患者心理	
		d　疾病の経過と転帰	
	B　救急医療	a　救急疾患の症候	ショック、意識障害、失神、痙攣
		b　一次救命処置	
		c　二次救命処置	
	C　在宅医療		
	D　臨床薬理学	a　薬物の作用機序	
		b　臨床薬物動態学	
		c　薬理遺伝学	
		d　薬物相互作用	
		e　有効性と安全性	
		f　薬物療法の個別化	薬物投与設計、治療薬物モニタリング〈TDM〉
	E　臨床栄養学	a　食物の消化と栄養素の吸収・代謝	コリ回路、グルコース・アラニン回路、アミノ酸の補足効果
		b　食事摂取基準	推定エネルギー必要量、推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量
		c　ライフステージと栄養	フレイル、サルコペニア
		d　疾患と栄養	BMI、窒素出納、経腸栄養補給法、経静脈栄養補給法
2　検査診断学総論	A　基準範囲	a　定義と概念	
		b　個人・集団基準範囲	
		c　生理的変動	
	B　臨床検査性能評価	a　感度と特異度	
		b　陽性適(的)中率	
		c　有病率	
		d　尤度比	
		e　ROC曲線	
	C　臨床判断値	a　根拠に基づく医療〈EBM〉と診療ガイドライン	糖尿病診療ガイドライン、動脈硬化性疾患予防ガイドライン
		b　カットオフ値	腫瘍マーカー、自己抗体検査、感染症マーカー
		c　治療閾値	パニック値
		d　予防医学閾値	
3　循環器疾患	A　心不全	a　左心不全	
		b　右心不全	
		c　急性心不全	
		d　慢性心不全	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	B 不整脈	a 期外収縮	
		b 上室頻拍	WPW症候群
		c 心房粗動	
		d 心房細動	
		e 心室頻拍	QT延長症候群
		f 心室細動	Brugada症候群
		g 興奮伝導障害	
		h 洞不全症候群	
	C 先天性心疾患	a 心室中隔欠損症	
		b 心房中隔欠損症	
		c Fallot四徴症	
		d 動脈管開存症	
		e 肺脈管狭窄症	
	D 弁膜疾患	a 大動脈弁疾患	
		b 僧帽弁疾患	
		c 肺動脈弁疾患	
		d 三尖弁疾患	
		e 感染性心内膜炎	
	E 虚血性心疾患	a 狭心症	
		b 急性冠症候群	
		c 心筋梗塞	
	F 心膜疾患	a 心膜炎	
		b 心タンポナーデ	
	G 心筋疾患	a 心筋症	肥大型心筋症、拡張型心筋症、たこつぼ型心筋症
		b 心筋炎	
	H 血圧異常	a 本態性高血圧症	
		b 二次性高血圧症	
		c 低血圧症	起立性低血圧症
	I 脈管疾患	a 動脈疾患	末梢動脈疾患、大動脈瘤
		b 静脈疾患	
		c リンパ管疾患	
		d 炎症性疾患	川崎病、高安動脈炎
4 呼吸器疾患	A 感染性呼吸器疾患	a 細菌性肺炎	
		b 肺結核	
		c 肺非結核性抗酸菌症	
		d ウイルス性肺炎	
		e 肺真菌症	
		f マイコプラズマ肺炎	
	B 気道閉塞性疾患	a 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	
	C アレルギー性肺疾患	a 気管支喘息	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	D 間質性肺疾患	a 間質性肺炎	
		b 肺サルコイドーシス	
	E 腫瘍性肺疾患	a 原発性肺癌	遺伝子異常(*EGFR*、*ALK*、*ROS1*、*BRAF*、*NTRK*、*MET*)
		b 転移性肺腫瘍	
	F 肺血管性病変	a 肺血栓塞栓症	深部静脈血栓症
		b 肺高血圧症	
	G 胸膜疾患	a 胸膜炎	
		b 気胸	
		c 悪性胸膜中皮腫	
	H 呼吸不全	a 急性呼吸不全	
		b 慢性呼吸不全	
	I その他	a 気管支拡張症	
		b 過換気症候群	
		c 睡眠時無呼吸症候群〈SAS〉	
5 消化管疾患	A 炎症性疾患	a 食道炎	胃食道逆流症(GERD)
		b 胃炎	
		c 感染性腸炎	
		d 潰瘍性大腸炎	カルプロテクチン
		e Crohn病	
		f 腸結核	
	B 消化性潰瘍	a 胃潰瘍	
		b 十二指腸潰瘍	
	C 腸閉塞〈イレウス〉		
	D 過敏性腸症候群		
	E 悪性腫瘍	a 食道癌	
		b 胃癌	
		c 大腸癌	遺伝子異常(*KRAS*、*BRAF*)、家族性大腸腺腫症(*APC*変異)
		d 消化管間質腫瘍〈GIST〉	遺伝子異常(*KIT*)
6 肝・胆・膵疾患	A 肝疾患	a 急性ウイルス肝炎	
		b 劇症肝炎	
		c 慢性肝炎	
		d 自己免疫性肝炎	
		e アルコール性肝障害	
		f NAFLD〈非アルコール性脂肪性肝疾患〉、NASH〈非アルコール性脂肪性肝炎〉	
		g 肝硬変	
		h 肝癌	
	B 胆道疾患	a 胆管炎・胆嚢炎	

大項目	中項目	小項目	備考
		b 胆石症	
		c 胆管癌・胆嚢癌	
		d 原発性胆汁性胆管炎〈PBC〉	
		e 原発性硬化性胆管炎〈PSC〉	
	C 膵疾患	a 膵炎	急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎
		b 膵癌	
		c 膵神経内分泌腫瘍	インスリノーマ、ガストリノーマ〈Zollinger-Ellison症候群〉
7 感染症	A 細菌感染症	a 腸チフス、パラチフス	
		b 赤痢	
		c 腸管出血性大腸菌感染症	
		d ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		e クロストリジオイデス・ディフィシル感染症	
		f コレラ	
		g 結核・非結核性抗酸菌症	
		h レジオネラ症	
		i 淋菌感染症	
		j ブドウ球菌感染症	
		k ノカルジア感染症	
		l 連鎖球菌感染症	
		m 嫌気性菌感染症	
		n 放線菌症	
		o 菌血症・敗血症	
		p 細菌性食中毒	腸炎ビブリオ、サルモネラ属菌、カンピロバクター・ジェジュニ、ウェルシュ菌、ボツリヌス菌、腸炎エルシニア、リステリア菌、セレウス菌
	B ウイルス感染症	a 麻疹	
		b 風疹	
		c 手足口病	
		d 流行性耳下腺炎〈ムンプス〉	
		e 流行性角結膜炎	
		f EBウイルス感染症	
		g インフルエンザ	
		h ノロウイルス胃腸炎	
		i 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉	
		j ウイルス肝炎	
		k 単純ヘルペス感染症	
		l 水痘・帯状疱疹	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		m サイトメガロウイルス〈CMV〉感染症	
		n 重症熱性血小板減少症候群〈SFTS〉	
		o 新型コロナウイルス感染症〈COVID-19〉	
		p 伝染性紅斑	
	C リケッチア感染症	a ツツガ虫病	
		b 日本紅斑熱	
	D クラミジア感染症	a クラミジア肺炎	
		b クラミジア・トラコマティス感染症	性器クラミジア感染症、トラコーマ
		c オウム病	
	E スピロヘータ感染症	a 梅毒	
		b レプトスピラ症	Weil病
	F 真菌感染症	a カンジダ症	
		b クリプトコッカス症	
		c アスペルギルス症	
		d ニューモシスチス肺炎	
		e 白癬菌症	
	G 原虫感染症	a アメーバ赤痢	
		b マラリア	
		c トキソプラズマ症	
		d クリプトスポリジウム症	
8 血液・造血器疾患	A 貧血	a 鉄欠乏性貧血	
		b 巨赤芽球性貧血	悪性貧血
		c 再生不良性貧血	
		d 溶血性貧血	
		e 腎性貧血	
		f 赤芽球癆	
		g 慢性炎症に伴う貧血	ヘプシジン
	B 急性白血病	a 急性骨髄性白血病〈AML〉	
		b 急性リンパ性白血病〈ALL〉	
	C 骨髄増殖性腫瘍	a 慢性骨髄性白血病〈CML〉	
		b 真性赤血球増加症〈PV〉	
		c 原発性骨髄線維症〈PMF〉	
		d 本態性血小板血症〈ET〉	
	D 骨髄異形成症候群〈MDS〉		
	E 成熟B細胞腫瘍	a びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫〈DLBCL〉	
		b 濾胞性リンパ腫〈FL〉	

大項目	中項目	小項目	備考
		c Burkittリンパ腫<BL>	
		d マントル細胞リンパ腫	
		e MALTリンパ腫	
		f 慢性リンパ性白血病<CLL>	
	F 成熟T/NK細胞腫瘍	a 成人T細胞白血病/リンパ腫<ATLL>	
		b その他のT/NK細胞リンパ腫	
	G Hodgkinリンパ腫		
	H 骨髄腫および類縁疾患	a 多発性骨髄腫	
		b 原発性マクログロブリン血症	
	I 血小板減少症	a 特発性(免疫性)血小板減少性紫斑病<ITP>	
		b 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>	
	J 先天性出血性疾患	a 血友病	
		b von Willebrand病<VWD>	
	K 後天性出血性疾患	a 播種性血管内凝固<DIC>	
		b ビタミンK欠乏症	
		c アレルギー性紫斑病	
		d 後天性血友病	
	L その他	a 血球貪食症候群<HPS>	
9 内分泌疾患	A 下垂体疾患	a 先端巨大症・巨人症	
		b ADH不適合分泌症候群<SIADH>	
		c 高プロラクチン血症	
		d 下垂体機能低下症	
		e 尿崩症	
		f 小人症	
	B 甲状腺疾患	a 甲状腺機能亢進症<Basedow病>	
		b 甲状腺機能低下症	
		c 慢性甲状腺炎<橋本病>	
		d 甲状腺癌	
	C 副甲状腺疾患	a 副甲状腺機能亢進症	
		b 副甲状腺機能低下症	
	D 副腎疾患	a 褐色細胞腫	
		b 神経芽腫	
		c 副腎皮質機能亢進症<Cushing症候群>	
		d 副腎皮質機能低下症<Addison病>	
		e 原発性アルドステロン症	
		f 先天性副腎皮質酵素欠損症	

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　考
	E 多発性内分泌腫瘍〈MEN〉	a 多発性内分泌腫瘍症1型〈MEN1〉	*MEN1*
		b 多発性内分泌腫瘍症2型〈MEN2〉	*RET*
10 腎・尿路・男性生殖器疾患	A 糸球体腎炎	a 急性糸球体腎炎	
		b 慢性糸球体腎炎	
		c IgA腎症	
		d 糖尿病性腎症	
	B ネフローゼ症候群		
	C 腎不全	a 急性腎不全	急性腎障害〈AKI〉、造影剤腎症
		b 慢性腎不全	慢性腎臓病〈CKD〉
		c 腎代替療法および合併症	透析療法
	D 尿細管・間質性疾患	a 尿細管性アシドーシス	
		b Bartter症候群/Gitelman症候群	
		c Liddle症候群	
		d 腎性尿崩症	
	E 腎・尿路結石		
	F 尿路感染症	a 腎盂腎炎	
		b 膀胱炎	
		c 前立腺炎、尿道炎	
	G 前立腺肥大(症)		
	H 腫瘍	a 腎腫瘍	
		b 膀胱腫瘍	
		c 前立腺癌	
		d 精巣腫瘍	
11 女性生殖器疾患	A 子宮疾患	a 子宮内膜炎	
		b 子宮筋腫	
		c 子宮内膜症	
		d 子宮頸癌	ヒトパピローマウイルス
		e 子宮体癌	
	B 卵巣疾患	a 卵巣腫瘍	
	C 異所性妊娠		
12 神経・運動器疾患	A 脳血管障害	a 脳出血	
		b 脳梗塞	
		c 一過性脳虚血発作〈TIA〉	
		d くも膜下出血	
	B 感染症	a 髄膜炎	
		b 脳炎	
		c Creutzfeldt-Jakob病	
	C てんかん		
	D 腫瘍	a 脳腫瘍	

大項目	中項目	小項目	備考
	E 変性・脱髄疾患	a 多発性硬化症	
		b Parkinson病	
		c Guillain-Barré症候群	
	F 筋疾患	a 進行性筋ジストロフィ	
		b 筋強直性ジストロフィ	
		c 筋無力症	重症筋無力症、Lambert-Eaton筋無力症候群
	G 骨疾患	a 骨粗鬆症	
	H 認知症	a 認知症の概念、定義	軽度認知障害(MCI)、危険因子
		b 認知症の病態	Alzheimer型認知症、血管性認知症、Lewy小体型認知症、前頭側頭型認知症
		c 認知症の検査	認知症の評価尺度、アミロイドβ蛋白、タウ蛋白
13 アレルギー性疾患・膠原病・免疫病	A アレルギー性疾患	a 蕁麻疹	
		b 花粉症	
		c アトピー性皮膚炎	
		d 食物アレルギー	
		e アナフィラキシー	
	B 膠原病および類縁疾患	a 全身性エリテマトーデス<SLE>	
		b 抗リン脂質抗体症候群	
		c 混合性結合組織病<MCTD>	
		d 関節リウマチ<RA>	悪性関節リウマチ
		e 多発性筋炎<PM>・皮膚筋炎<DM>	
		f 全身性強皮症	
		g Sjögren症候群	
		h Behçet病	
		i ANCA関連疾患	顕微鏡的多発血管炎<MPA>、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症<EGPA>、多発血管炎性肉芽腫症<GPA>
		j その他の血管炎症候群	IgA血管炎、結節性多発動脈炎
		k その他	成人発症Still病
	C 免疫不全	a 無γ-グロブリン血症	
		b 重症複合免疫不全症	
		c 慢性肉芽腫症	
		d 原発性補体欠損症	
	D その他	a IgG4関連疾患	
		b 自己免疫性リンパ増殖症<ALPS>	
14 代謝・栄養障害	A 先天性代謝異常	a ポルフィリン症	
		b フェニルケトン尿症・ホモシスチン尿症・メープルシロップ尿症	新生児マススクリーニング・アミノ酸代謝異常

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　リピドーシス〈脂質蓄積症〉	
		d　Wilson病	
	B　糖代謝異常	a　糖尿病	１型糖尿病、２型糖尿病、二次性糖尿病
		b　糖原病	Gaucher病、Niemann-Pick病、Tay-Sachs病、Fabry病
	C　脂質代謝異常	a　脂質異常症	原発性脂質異常症、二次性脂質異常症、家族性高コレステロール血症、カイロミクロン血症
	D　蛋白代謝異常	a　アミロイドーシス	
	E　尿酸代謝異常	a　痛風	
		b　高尿酸血症	
	F　ビタミン代謝異常	a　ビタミン欠乏症	
	G　鉄代謝異常	a　ヘモクロマトーシス	
	H　生活習慣病・肥満症	a　メタボリックシンドローム	
15　中毒	A　自然毒	a　動物毒〈ヘビ、ハチ、フグ〉	
		b　植物毒〈トリカブト、キノコ〉	
	B　有害物中毒	a　重金属中毒〈水銀、鉛、カドミウム〉	
		b　ガス中毒	
		c　農薬中毒	
	C　薬物中毒		
16　染色体・遺伝子異常症	A　常染色体異常症	a　Down症候群	
	B　性染色体異常症	a　Turner症候群	
		b　Klinefelter症候群	
	C　遺伝子異常症	a　神経・筋疾患	
		b　脂質代謝異常症	
		c　内分泌疾患	
		d　免疫異常	Bloom症候群
		e　遺伝性腫瘍症候群	Li Fraumeni症候群(*TP53*変異)、Lynch症候群(*MSH2*変異)、遺伝性乳癌卵巣癌症候群〈HBOC〉、Fanconi貧血
		f　先天異常症候群	
		g　その他の疾患	
17　その他の疾患	A　眼疾患	a　結膜炎	
		b　視力障害	
		c　網膜芽細胞腫	遺伝子異常(*RB1*)
	B　耳鼻咽喉疾患	a　中耳炎	
		b　難聴	
		c　末梢性めまい	良性発作性頭位眩暈症、前庭神経炎、Ménière〈メニエール〉病
		d　喉頭癌、咽頭癌	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	C 皮膚疾患	a 感染症	足白癬、ノルウェー疥癬
		b アトピー性皮膚炎	TARC
		c 自己免疫性疾患	天疱瘡、類天疱瘡
		d 悪性黒色腫〈メラノーマ〉	遺伝子異常(*BRAF*)
		e その他の皮膚癌	
	D 乳腺疾患	a 乳腺炎	
		b 乳癌	遺伝子異常(*BRCA1/2*)

Ⅲ章　臨床生理学

人体の構造と機能、生理学的検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　生理学的検査総論	A　生理学的検査の特色	a　臨床検査技師の役割	
		b　緊急検査	
		c　ベッドサイド検査	
		d　患者心理と対応	
		e　事前の検査説明	
		f　安全対策・感染対策	
2　循環器系検査の基礎	A　循環生理	a　体循環	
		b　肺循環	
		c　血圧	
		d　自律神経調節と循環反射	
	B　心臓生理	a　心臓のポンプ機能	
		b　心内圧と心時相	
		c　心拍出量	
		d　冠循環	
3　心電図検査	A　基礎	a　心電図発現の機構	
		b　心電図波形の成り立ち	
		c　12誘導心電図検査	
		d　心電図の計測	P波幅、PR時間、QRS時間、QTc、心拍数
		e　心電計	
		f　アーチファクト	
	B　異常心電図	a　洞頻脈・洞徐脈	
		b　上室期外収縮	
		c　上室頻拍	
		d　心房細動	
		e　心房粗動	
		f　心室期外収縮	
		g　心室頻拍	
		h　心室細動	
		i　洞不全症候群	洞停止
		j　房室ブロック	
		k　心臓ペースメーカー心電図	
		l　脚ブロック	
		m　早期興奮症候群<WPW症候群>	
		n　心房負荷・心室肥大	
		o　狭心症	ST低下、ST上昇
		p　心筋梗塞・急性冠症候群	異常Q波、ST上昇、冠性T波
		q　Brugada症候群	
		r　電解質異常	
	C　運動負荷心電図検査	a　適応と禁忌	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b 運動負荷の中止徴候〈エンドポイント〉	
		c Masterの2階段試験	
		d トレッドミル負荷試験	
		e エルゴメータ負荷試験	
		f 評価法	
	D Holter心電図検査	a 誘導法	
		b Holter心電計	
	E その他の心電図検査	a 加算平均心電図検査	心室遅延電位〈LP〉
		b ヘッドアップ・チルト試験	失神
		c 心内心電図検査	
4 心音図検査	A 基礎	a 心音の成因と性質	
		b 心音計	
	B 異常心音図	a 心臓弁膜症	
		b 先天性心疾患	
5 脈管疾患検査	A 動脈硬化検査	a 足関節上腕血圧比〈ABI〉	
		b 脈波伝播速度〈PWV〉	
		c 皮膚灌流圧〈SPP〉、経皮酸素分圧〈Ptc_{O_2}〉	重症虚血肢
	B 血管内皮機能検査	a 血流依存性血管拡張反応〈FMD〉	
6 呼吸器系検査の基礎	A 呼吸生理	a 呼吸器の機能	
		b 呼吸運動とその調節	
		c 換気	
		d ガス交換とガスの運搬	
		e 酸素解離曲線	
		f 気体に関する一般的法則	
7 呼吸機能検査	A 換気機能検査	a 肺気量分画	
		b スパイロメトリ［肺活量〈VC〉、努力肺活量〈FVC〉、一秒量〈FEV_1〉、一秒率〈FEV_1%〉］	
		c 気道可逆性検査	
		d フローボリューム曲線	
		e クロージングボリューム	
		f 機能的残気量	
		g 肺コンプライアンス	
		h 呼吸抵抗	
		i 気道抵抗	
		j 気道過敏性検査	
		k ピークフローメータ	ピークフロー値〈PEF〉を含む
	B 肺胞機能検査	a 肺内ガス分布	
		b 肺拡散能力［肺拡散能〈DLco〉を含む］	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	C 呼気ガス分析	a 呼気ガス分析〈酸素摂取量、二酸化炭素排出量、呼吸商、分時換気量〉	
		b エネルギー代謝	
		c 呼気一酸化窒素濃度〈FeNO〉	
	D 呼吸系運動負荷検査	a 呼吸困難の評価法	
		b 最大酸素摂取量と心拍数・血圧	
		c 6分間歩行試験	
	E 動脈血ガス分析	a 検体の取り扱い	
		b 測定上の留意点	
		c 血液ガス分析装置	
		d pH	
		e 動脈血酸素分圧〈Pa_{O_2}〉	
		f 動脈血二酸化炭素分圧〈Pa_{CO_2}〉	
		g 重炭酸イオン〈HCO_3^-〉	
		h base excess〈BE〉	
		i 肺胞気－動脈血酸素分圧較差〈$A\text{-}aD_{O_2}$〉	
		j パルスオキシメータ［経皮的動脈血酸素飽和度〈Sp_{O_2}〉］	
	F 睡眠呼吸検査	a 睡眠ポリグラフィ〈PSG〉	
	G 呼吸機能検査異常をきたす疾患	a 気管支喘息	
		b 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉	
		c 間質性肺炎	
		d 呼吸不全	
		e 睡眠時無呼吸症候群〈SAS〉	閉塞性、中枢性
8 神経系検査の基礎	A 神経	a ニューロン	
		b 膜電位	
		c 興奮機序	
		d 興奮伝導と伝達	
	B 末梢神経	a 体性神経	
		b 自律神経	
		c 自律神経の検査	
	C 中枢神経	a 大脳の働きと機能の局在	
		b 意識	
		c 睡眠の生理と調節	
		d 記憶	
		e 小脳の働き	
		f 脳幹の働き	
		g 脊髄の働き	
		h 反射の機序	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
9 脳波検査	A 基礎	a 脳波発現の機序	
		b 基礎的要素	δ波、θ波、α波、β波、棘波、鋭波
		c 電極の配置部位	
		d 導出法	
		e 脳波計	
		f 生理的変化と賦活法	
		g アーチファクト	
	B 突発性異常脳波	a 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん	
		b 欠神てんかん	3Hz棘徐波複合
		c ミオクロニーてんかん	広汎性多棘徐波複合
		d West症候群	ヒプスアリスミア
		e Lennox-Gastaut症候群	
	C 持続性・周期性異常脳波	a Creutzfeldt-Jakob病	周期性同期性放電〈PSD〉
		b 亜急性硬化性全脳炎〈SSPE〉	
		c 肝性脳症	三相波
		d 脳死判定	
	D 誘発電位	a 聴覚誘発電位、聴性脳幹反応〈ABR〉	脳死判定
		b 視覚誘発電位〈VEP〉	
		c 体性感覚誘発電位〈SEP〉	術中モニタリング
		d 事象関連電位〈ERP〉	
	E 睡眠検査	a 睡眠ポリグラフィ〈PSG〉	
	F その他の検査	a 脳磁図検査〈MEG〉	
		b 光トポグラフィ	近赤外線分光法〈NIRS〉
10 筋電図検査	A 基礎	a 基礎的要素	運動系、感覚系、運動単位
		b 筋電計	
		c 電極	
	B 針筋電図検査	a 運動単位電位〈MUP〉	
		b ミオトニー放電	
		c 神経原性変化	筋萎縮性側索硬化症
		d 筋原性変化	多発性筋炎、進行性筋ジストロフィ
	C 神経伝導検査	a 運動神経伝導検査	運動神経伝導速度〈MCV〉
		b F波伝導検査	
		c H反射	
		d 感覚神経伝導検査	感覚神経伝導速度〈SCV〉
		e 軸索変性	
		f 脱髄	伝導遅延、伝導ブロック
		g 末梢神経障害	糖尿病性多発ニューロパチー、Guillain-Barré症候群

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	D 反復神経刺激検査	a 重症筋無力症	
		b Lambert-Eaton筋無力症候群	
	E 運動誘発電位<MEP>	a 経頭蓋磁気刺激検査	中枢運動伝導時間
		b 経頭蓋電気刺激検査	中枢運動伝導時間、術中モニタリング
11 超音波検査の基礎	A 原理と検査法	a 超音波の性質	
		b 超音波プローブ	
		c Bモード法	
		d Mモード法	
		e ドプラ法	カラードプラ法、パルスドプラ法、連続波ドプラ法、組織ドプラ法
		f 超音波エラストグラフィ	
		g 造影超音波検査法	
		h アーチファクト	多重反射・コメットエコー、鏡面現象、音響陰影、側方陰影、後方エコーの増強・減弱、サイドローブ
		i 検査手技	カップリングメディアを含む
12 心臓超音波検査	A 基礎	a 正常像	
		b 計測と心機能評価<収縮能、拡張能>	左室駆出率、左室内径短縮率、E/A、e’
		c 血流と圧較差の評価	簡易Bernoulliの式
	B 異常像	a 虚血性心疾患	
		b 弁膜症	
		c 先天性心疾患	
		d 心筋症	
		e 心膜疾患	
		f 心内血栓	
		g 心臓腫瘍	
13 腹部超音波検査	A 基礎	a 前処置	
		b 基本走査	
		c 肝胆道系、脾臓の正常像	
		d 門脈系の正常像	
		e 膵臓の正常像	
		f 腎臓・尿路の正常像	
		g 消化管の正常像	
	B 異常像	a 肝疾患	
		b 胆嚢・胆管疾患	
		c 膵疾患	
		d 腎・尿路系疾患	
		e 消化管疾患	

大項目	中項目	小項目	備考
14 血管超音波検査	A 頸動脈	a 正常像と異常像	内中膜厚〈IMT〉、プラーク、狭窄
	B 大動脈・腹部動脈	a 正常像と異常像	大動脈瘤、解離性大動脈瘤
	C 下肢静脈	a 正常像と異常像	下肢静脈瘤、下肢静脈血栓
15 骨盤腔超音波検査	A 膀胱	a 正常像と異常像	
	B 女性生殖器	a 正常像と異常像	
	C 妊娠	a 正常像と異常像	
	D 男性生殖器	a 正常像と異常像	
16 体表超音波検査	A 甲状腺	a 正常像と異常像	
	B 乳腺	a 正常像と異常像	
	C 運動器	a 正常像と異常像	関節
	D その他	a リンパ節、唾液腺、正常像と異常像	
17 磁気共鳴画像検査〈MRI〉	A 原理	a 陽子〈プロトン〉	水素原子核
		b 核磁気共鳴現象	歳差運動、Larmor周波数
		c 縦緩和・横緩和	
	B 撮像法	a T1強調画像	
		b T2強調画像	
		c FLAIR	
		d T2*強調画像	
		e 拡散強調画像	
		f MRアンギオグラフィ	
		g MRハイドログラフィ	
		h 造影剤	ガドリニウム
	C 検査の注意点	a 安全性	
		b 検査前の準備	
18 その他の生理学的検査	A 熱画像検査〈サーモグラフィ〉	a 基礎	
		b 検査法	
	B 眼底検査	a 検査法	
		b 眼底像	
	C 平衡機能検査	a 眼振検査	
		b 重心動揺検査	
	D 感覚系の検査	a 聴覚検査	
		b 自動聴性脳幹反応〈AABR〉	新生児聴覚スクリーニング
		c 味覚検査	
		d 嗅覚検査	
	E 消化管機能検査	a 直腸肛門機能検査	

Ⅳ章　臨床化学

人体の構造と機能、生化学的検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　生命のメカニズム	A　生命現象と生体構成成分	a　生体元素	
		b　生体物質	
		c　物質の代謝	
		d　恒常性	
		e　生体のリズム	
	B　細胞の構造と働き	a　細胞の基本構造	
		b　細胞内小器官の機能	
		c　細胞分画	
	C　生体エネルギー	a　高エネルギー化合物の役割と種類	
		b　代謝とATP産生	
2　生物化学分析の原理と方法	A　分光光度分析法	a　電磁波の波長と色の関係	波長と余色〈補色〉
		b　可視光線と紫外線	
		c　Lambert-Beerの法則	
		d　モル吸光係数	
		e　分光光度計の原理と構成	
		f　原子吸光光度計の原理と構成	
	B　蛍光分析法	a　蛍光分析の原理	
		b　励起波長と蛍光波長	
	C　化学発光分析法	a　化学発光分析の原理	
	D　クロマトグラフィ	a　クロマトグラフィの基本原理	
		b　イオン交換クロマトグラフィ	
		c　ゲル濾過クロマトグラフィ	
		d　アフィニティクロマトグラフィ	
		e　吸着・分配クロマトグラフィ	
		f　高速液体クロマトグラフィ〈HPLC〉	
		g　ガスクロマトグラフィ	
	E　電気泳動法	a　電気泳動の原理	
		b　支持体	
		c　移動度とその影響因子	
	F　質量分析法	a　質量分析法の原理	MALDI、ESI
		b　MALDI-TOF MS	
	G　免疫学的分析法	a　抗原抗体反応	
		b　免疫比濁法と比ろう法	
		c　ラテックス凝集反応	
		d　放射免疫測定法〈RIA〉	
		e　酵素免疫測定法〈EIA〉	
		f　ホモジニアス法とヘテロジニアス法	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		g　競合法と非競合法	
	H　電気化学分析法	a　イオン選択電極	
		b　酵素電極	
		c　pHメータ	
		d　ガス分析	
	I　酵素的分析法	a　酵素と基質	
		b　酵素反応速度	
		c　Km、Vmax	
		d　Lineweaver-Burkプロット	
		e　Michaelis-Mentenの式	
		f　零次反応および一次反応	
		g　測定条件	
		h　発色系	
		i　初速度分析	
		j　終点分析	
	J　自動分析法	a　ディスクリート方式	
		b　シングルマルチ型	
		c　スーパーマルチ型	
		d　ドライケミストリ	
	K　ポイント・オブ・ケア・テスティング〈POCT〉	a　小型簡易測定器	
		b　原理と意義	
		c　イムノクロマトグラフィ	
3　無機質	A　水と無機質の調節および代謝	a　生体内分布と生理的意義	
		b　調節機構	
		c　アニオンギャップ	
	B　無機質の検査	a　ナトリウム〈Na〉	
		b　カリウム〈K〉	
		c　クロール〈Cl〉	
		d　カルシウム〈Ca〉	総カルシウム、イオン化カルシウム
		e　マグネシウム〈Mg〉	
		f　無機リン〈IP〉	
		g　必須微量元素	
		h　浸透圧	
		i　重炭酸イオン〈HCO_3^-〉	
4　糖質	A　糖質の構造と機能	a　構造と分類	
		b　生理的意義	
	B　糖質の代謝	a　消化	
		b　吸収	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　血糖の調節機能	インスリン抵抗性、sodium-glucose cotransporter 2〈SGLT2〉
		d　解糖系と糖新生	
		e　クエン酸回路〈TCA回路、Krebs回路〉	
		f　グリコーゲンの代謝	
		g　ペントースリン酸回路	
	C　糖質の検査	a　血糖	持続グルコースモニタリング〈CGM〉、間歇スキャン式持続グルコースモニタリング〈isCGM〉
		b　尿糖	
		c　75g経口ブドウ糖負荷試験〈75gOGTT〉	
		d　ヘモグロビンA1c〈HbA1c〉	
		e　グリコアルブミン	
		f　1,5-アンヒドログルシトール〈1,5-AG〉	
		g　ピルビン酸・乳酸	
5　脂質	A　脂質の構造と機能	a　構造と分類	
		b　生理的意義	
	B　脂質の代謝	a　消化	
		b　吸収	
		c　脂肪酸の代謝	
		d　ケトン体の代謝	
		e　トリグリセライド〈中性脂肪〉の代謝	
		f　リポ蛋白の代謝	
		g　コレステロールの代謝	
		h　その他の脂質の代謝〈リン脂質・糖脂質・プロスタグランジン、過酸化脂質〉	
	C　脂質の検査	a　トリグリセライド［中性脂肪〈TG〉］	
		b　コレステロール	総コレステロール〈TC〉、エステル型コレステロール〈EC〉、遊離型コレステロール〈FC〉
		c　HDL-コレステロール〈HDL-C〉	
		d　LDL-コレステロール〈LDL-C〉	
		e　non-HDL-コレステロール〈non-HDL-C〉	
		f　リン脂質〈PL〉	
		g　遊離脂肪酸〈FFA〉	
		h　リポ蛋白リパーゼ〈LPL〉	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		i　ケトン体	
		j　リポ蛋白	
		k　アポリポ蛋白	アポAⅠ、アポAⅡ、アポB48、アポB100、アポCⅠ、アポCⅡ、アポCⅢ、アポE
		l　胆汁酸	
		m　リポ蛋白(a)<Lp (a)>	
		n　レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ<LCAT>	
6　蛋白質	A　アミノ酸と蛋白質の構造と機能	a　構造と分類	
		b　生理的意義	
	B　アミノ酸と蛋白質の代謝	a　蛋白質の消化	
		b　アミノ酸の吸収	
		c　アミノ酸の代謝	
		d　蛋白質の合成と分解、窒素平衡	
		e　尿素回路、アンモニアの処理	
	C　蛋白質の検査	a　血清総蛋白<TP>	
		b　血清蛋白分画	A/G比
		c　急性期蛋白	α_1-アンチトリプシン、ハプトグロビン、セルロプラスミン、フィブリノゲン
		d　Rapid Turnover Protein<RTP>	レチノール結合蛋白<RBP>、トランスサイレチン<TTR>
		e　免疫グロブリン	
		f　アルブミン<Alb>	
		g　CRP	
		h　トランスフェリン	
		i　フェリチン	
7　非蛋白性窒素	A　生体内の非蛋白性窒素成分の生成	a　構造と種類	
		b　生理的意義	
	B　非蛋白性窒素成分の代謝		
	C　非蛋白性窒素成分の検査	a　尿素窒素<UN>	
		b　クレアチニン<Cr>	
		c　尿酸<UA>	
		d　アンモニア	
8　生体色素	A　ヘム	a　ポルフィリン体	
		b　ヘムの合成	
		c　胆汁色素の代謝	
	B　生体色素の検査	a　総ビリルビン	直接ビリルビン・間接ビリルビン
		b　抱合・非抱合ビリルビン	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　δビリルビン	
		d　シャントビリルビン	
9　酵素	A　酵素の基礎	a　役割	
		b　命名と分類	
		c　化学的性質	
		d　生体内分布と血中酵素の起源	
		e　アイソザイム	
	B　酵素活性の測定	a　酵素反応速度論	
		b　酵素活性単位	
	C　酵素の検査	a　AST	
		b　ALT	
		c　LD	
		d　CK	
		e　ALP	
		f　γ-GT	
		g　コリンエステラーゼ〈ChE〉	
		h　アミラーゼ〈AMY〉	
		i　リパーゼ〈LIP〉	
10　薬物・毒物	A　検査目的		
	B　生体内の薬物動態		
	C　血中薬物測定法	a　治療薬物モニタリング〈TDM〉	
	D　毒物・劇物の分析		
11　ホルモン	A　ホルモンの種類と性質		
	B　ホルモンの作用と調節機序		
	C　内分泌臓器と内分泌検査	a　視床下部	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン〈TRH〉、成長ホルモン放出ホルモン〈GHRH〉、ゴナドトロピン放出ホルモン〈GnRH〉、副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン〈CRH〉
		b　下垂体前葉	成長ホルモン〈GH〉、卵胞刺激ホルモン〈FSH〉、黄体形成ホルモン〈LH〉、甲状腺刺激ホルモン〈TSH〉、副腎皮質刺激ホルモン〈ACTH〉、プロラクチン〈PRL〉
		c　下垂体後葉	バソプレシン〈ADH〉、オキシトシン〈OT〉
		d　甲状腺	サイロキシン〈T4〉、トリヨードサイロニン〈T3〉、遊離T4〈FT4〉、遊離T3〈FT3〉、抗サイログロブリン〈Tg〉抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ〈TPO〉抗体、カルシトニン〈CT〉
		e　副甲状腺	副甲状腺ホルモン〈PTH〉

大項目	中項目	小項目	備考
		f 膵臓	インスリン、C-ペプチド、グルカゴン
		g 消化管	ガストリン、インクレチン
		h 副腎皮質	コルチゾール、アルドステロン
		i 副腎髄質	アドレナリン、ノルアドレナリン
		j 性腺・胎盤	テストステロン、アンドロステロン、エストロン〈E1〉、エストラジオール〈E2〉、エストリオール〈E3〉、ヒト絨毛性ゴナドトロピン〈hCG〉
		k 脂肪組織	アディポネクチン、レプチン
12 ビタミン	A ビタミンの種類と性質		
	B ビタミンの作用と分類	a 脂溶性ビタミン	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK
		b 水溶性ビタミン	ビタミンB_1、ビタミンB_2、ビタミンB_6、ビタミンB_{12}、ビタミンC、葉酸、ナイアシン、パントテン酸、ビオチン
13 疾患マーカー	A 肺疾患	a KL-6	
		b アンギオテンシン変換酵素〈ACE〉	
		c 肺サーファクタントプロテインA〈SP-A〉	
		d 肺サーファクタントプロテインD〈SP-D〉	
	B 感染症	a (1→3)-β-D-グルカン	
		b プロカルシトニン	
		c プレセプシン	
		d エンドトキシン	
	C 心疾患	a 脳性ナトリウム利尿ペプチド〈BNP〉	NT-proBNP、心房性ナトリウム利尿ペプチド〈ANP〉、C型ナトリウム利尿ペプチド〈CNP〉
		b トロポニン	
		c 心臓型脂肪酸結合蛋白〈H-FABP〉	
	D 腎疾患	a シスタチンC	
		b α_1-ミクログロブリン、β_2-ミクログロブリン	
		c 肝臓型脂肪酸結合蛋白〈L-FABP〉	
		d N-アセチルグルコサミニダーゼ〈NAG〉	
	E 腸疾患	a カルプロテクチン	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	F　骨代謝	a　骨形成マーカー	骨型アルカリホスファターゼ〈BAP〉、オステオカルシン〈OC〉、Ⅰ型プロコラーゲンCプロペプチド〈PICP〉、Ⅰ型プロコラーゲンNプロペプチド〈PINP〉
		b　骨吸収マーカー	Ⅰ型コラーゲン架橋Nテロペプチド〈NTX〉、デオキシピリジノリン〈DPD〉、酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ〈TRAcP-5b〉、Ⅰ型コラーゲン架橋Cテロペプチド〈CTX〉
	G　腫瘍マーカー	a　概念	
		b　種類	AFP、CEA、CA15-3、CA19-9、CA125、PSA、PIVKA-Ⅱ、SCC、NSE、hCG、CYFRA、ProGRP
		c　検査法〈RIA、EIAを含む〉	
	H　その他	a　アデノシンデアミナーゼ〈ADA〉	
14 その他の検査	A　放射性物質を用いた検査	a　放射能・放射線の性質	
		b　放射能・放射線の測定	
		c　放射性物質を用いた検査	
		d　取り扱いと安全管理	
	B　肝〈胆道〉機能検査	a　異物排泄機能検査	ICG試験
		b　解毒機能検査	
	C　腎機能検査	a　腎血流量検査	
		b　糸球体機能検査	クレアチニンクリアランス、eGFR
		c　尿細管機能検査	
	D　膵機能検査	a　膵外分泌機能検査	
		b　膵内分泌機能検査	
	E　内分泌機能検査	a　下垂体機能検査	
		b　甲状腺機能検査	
		c　副甲状腺機能検査	
		d　副腎皮質機能検査	
		e　副腎髄質機能検査	
		f　性腺機能検査	
	F　消化管機能検査		

Ⅴ章　病理組織細胞学

人体の構造と機能、臨床検査の基礎と疾病との関連

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　解剖学総論	A　発生の概要	a　生殖細胞の分裂	
		b　受精	
		c　胚葉の形成と分化	
		d　胎盤	
	B　細胞と組織	a　細胞内小器官の構造と機能	
		b　上皮組織	
		c　支持組織	
		d　筋組織	
		e　神経組織	
	C　人体解剖の概要	a　立体解剖	
		b　断面解剖	
		c　人体骨格の概要	
		d　筋の概要	
		e　体腔と縦隔	
2　病理学総論	A　病因	a　内因	
		b　外因	
	B　遺伝子・染色体異常と発生発達異常	a　奇形	
		b　染色体異常	
		c　遺伝性疾患	遺伝性腫瘍
	C　組織細胞障害とその修復機能	a　変性	
		b　アポトーシス	
		c　壊死	凝固壊死・融解壊死・乾酪壊死・壊疽
		d　萎縮	
		e　肥大と過形成	
		f　化生	
		g　再生	
		h　創傷の治癒と肉芽組織	異物の処理
	D　代謝異常	a　糖質代謝異常	
		b　脂質代謝異常	
		c　蛋白質・アミノ酸代謝異常	
		d　核酸・ヌクレオチド代謝異常	
		e　生体色素代謝異常	
		f　無機物代謝異常	
	E　循環障害	a　虚血	
		b　充血	
		c　うっ血	
		d　出血	
		e　血栓	
		f　塞栓	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		g　梗塞	
		h　浮腫	
		i　傍側〈側副〉循環	
		j　ショック	
	F　炎症	a　定義	
		b　原因	
		c　形態的変化と経過	
		d　転帰	
		e　炎症細胞	
		f　炎症の分類	炎症に関与する伝達物質（サイトカイン、アミン、アラキドン酸）
	G　免疫異常	a　免疫反応とアレルギー	
		b　免疫不全	
		c　移植と拒絶反応	
		d　自己免疫疾患	膠原病
	H　腫瘍	a　定義	
		b　形態	
		c　腫瘍の分類	
		d　腫瘍の広がり方	
		e　腫瘍の発生原因と機序	
		f　がん関連遺伝子	がん遺伝子、がん抑制遺伝子、分子標的治療
	I　感染症	a　病原微生物の種類と特徴	
		b　感染様式	
		c　感染免疫	日和見感染、菌交代現象、院内感染
3　解剖学・病理学各論	A　循環器系	a　循環器の一般構造と機能	
		b　体循環と肺循環	
		c　心臓	虚血性心疾患、心筋症
		d　動脈	動脈硬化症
		e　静脈	
		f　リンパ管	
		g　心嚢	
		h　胎児の血液循環	
	B　呼吸器系	a　呼吸器の一般構造と機能	鼻腔、咽頭
		b　上気道	
		c　気管・気管支	
		d　肺	肺癌
		e　胸膜	中皮腫
	C　消化器系	a　消化器の一般構造と機能	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b　口腔、歯、唾液腺	
		c　咽頭・食道	静脈瘤、食道癌
		d　胃・十二指腸	胃癌、胃・十二指腸潰瘍、GIST
		e　小腸・大腸・虫垂・肛門	大腸癌
		f　肝臓	脂肪肝、肝炎、肝硬変、肝癌
		g　胆嚢、胆道系	胆石、胆道癌
		h　膵臓	膵腫瘍
		i　腹膜	
	D　造血器・免疫系	a　骨髄	
		b　脾臓	
		c　胸腺	
		d　リンパ節	
	E　内分泌系	a　視床下部	
		b　下垂体	
		c　松果体	
		d　甲状腺	
		e　副甲状腺〈上皮小体〉	
		f　副腎	
		g　膵Langerhans〈ランゲルハンス〉島	糖尿病
	F　腎・尿路系	a　腎・尿路系の一般構造と機能	
		b　腎臓	糸球体腎炎、腎腫瘍
		c　尿管・膀胱・尿道	
	G　生殖器系	a　生殖器の一般構造と機能	
		b　男性生殖器	前立腺癌、精巣腫瘍
		c　女性生殖器	子宮癌、卵巣腫瘍
	H　神経・運動器系	a　神経系の一般構造と機能	
		b　中枢神経系	脳血管障害、脳腫瘍
		c　末梢神経系	
		d　骨格筋	
		e　骨	
		f　関節	
		g　軟部組織	
	I　感覚器系	a　視覚器	
		b　聴覚器	
		c　平衡器	
	J　皮膚及び付属器	a　皮膚および付属器の一般構造と機能	
		b　皮膚	
	K　乳腺	a　乳腺の一般構造と機能	
		b　乳腺	乳癌

病理学的検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　病理組織標本作製法	A　検体の種類	a　生検材料	
		b　手術材料	
		c　剖検材料	
	B　肉眼的観察法	a　摘出臓器〈組織〉検体の観察法	
	C　切り出し	a　目的	
		b　切り出しの要点と手順	遺伝子検査
		c　臓器写真撮影	
	D　固定法	a　目的と原理	
		b　固定の仕方	
		c　固定液の種類と組成	遺伝子検査
	E　脱灰法	a　目的と原理	
		b　脱灰の手順	脱灰前と脱灰後の処理
		c　脱灰液の種類と組成	遺伝子検査
	F　包埋法	a　目的と原理	
		b　パラフィン包埋の工程	
		c　自動包埋装置	
	G　薄切法	a　目的と原理	
		b　ミクロトームの種類	
		c　薄切の手技	遺伝子検査
		d　切片伸展法	
	H　凍結切片標本作製法	a　目的と原理	
		b　凍結切片標本作製の工程	未固定組織、固定組織
		c　クリオスタット	
		d　術中迅速標本作製の工程	
2　病理組織染色法	A　染色法概論	a　目的と原理	
		b　染色前の操作	脱パラフィン、ホルマリン色素除去
		c　封入	封入剤の種類
		d　自動染色装置	
	B　hematoxylin-eosin染色〈H-E染色〉	a　目的と原理	
		b　hematoxylin液の種類と組成	
		c　染色の手順	
	C　膠原線維の染色法	a　azan染色	
		b　Masson trichrome染色	
	D　弾性線維の染色法	a　elastica van Gieson染色	elastica-Masson染色
		b　Victoria blue染色	Victoria blue-HE染色
	E　細網線維の染色法	a　鍍銀法	
		b　PAM染色	
	F　多糖類の染色法	a　PAS反応	酵素消化法
		b　Alcian blue染色	

大項目	中項目	小項目	備考
		c mucicarmine染色	
		d toluidine blue染色〈異染色性〉	
	G 脂質の染色法	a SudanⅢ染色	
		b oil red O染色	
		c Sudan black B染色	
	H アミロイドの染色法	a Congo red染色	偏光顕微鏡観察
		b direct fast scarlet染色	
	I 線維素の染色法	a PTAH染色	
	J 組織内無機物質の染色法	a Berlin blue染色	
		b Kossa反応	
	K 生体内色素の染色法	a Masson-Fontana染色	
		b DOPA反応	
	L 内分泌細胞の染色法	a Grimelius染色	
		b Masson-Fontana染色	
	M 組織内病原体の染色法	a Gram染色	
		b Giemsa染色	
		c Ziehl-Neelsen染色	
		d Warthin-Starry染色	
		e Grocott染色	
		f PAS反応	
		g mucicarmine染色	
		h orcein染色	
		i Victoria blue染色	
	N 神経組織の染色法	a Nissl染色	
		b Klüver-Barrera染色	
		c Bodian染色	
		d PTAH染色	
	O 組織化学染色法	a 酵素組織化学染色法	
		b 免疫組織化学染色法	酵素抗体法、蛍光抗体法
		c 抗体の種類と意義	cytokeratin、vimentin、desmin、S100蛋白、chromogranin A、CD20、CD3、c-kit、AFP、CEA、CA125、Ki67、p53、ER、PgR、HER2、EGFR、ALK、PD-L1
		d 染色の手順	
	P 核酸の染色法	a *in situ* hybridization法〈ISH法〉	
		b fluorescence *in situ* hybridization法〈FISH法〉	
	Q 顕微鏡の操作法	a 光学顕微鏡	
		b 偏光顕微鏡	
		c 蛍光顕微鏡	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
3　電子顕微鏡標本作製法	A　固定法	a　目的	
		b　固定液	
		c　固定の仕方	
	B　透過型電子顕微鏡標本作製	a　包埋法	エポキシ樹脂
		b　超薄切切片作製法	ウルトラミクロトーム、ガラスナイフ、ダイヤモンドナイフ
		c　電子染色	
	C　走査型電子顕微鏡標本作製	a　乾燥	臨界点乾燥、凍結乾燥
		b　蒸着	
	D　観察法	a　透過型電子顕微鏡	
		b　走査型電子顕微鏡	
4　細胞学的検査法	A　概要	a　目的	
		b　細胞学的検査法の特徴	
	B　検体採取法	a　擦過法	
		b　洗浄法	
		c　穿刺吸引法	EUS-FNA
		d　カテーテル法	
	C　検体処理法	a　集細胞法	遠心沈殿法、ポアフィルター法
		b　塗抹法	すり合わせ法、捺印法、自動遠心塗抹法
		c　液状化検体<LBC>法	
		d　セルブロック法	
	D　固定法	a　湿潤固定法	
		b　乾燥固定法	
		c　コーティング固定法	
	E　染色法	a　Papanicolaou染色	
		b　Giemsa染色	
		c　粘液染色	
		d　免疫細胞化学染色	
		e　自動染色装置	
	F　鏡検	a　目的	
		b　正常細胞の基本形態	
		c　異型細胞の特徴	
		d　悪性細胞の特徴	
		e　細胞判定区分	Bethesdaシステム
5　病理解剖<剖検>	A　概要	a　目的	
	B　手続き	a　許可・承諾・場所	死体解剖保存法
	C　介助	a　手順	
	D　剖検室管理	a　試料の保存と管理	
		b　バイオハザード	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
6　病理業務の管理	A　検体の取り扱い	a　医療事故防止対策	
	B　試薬の管理	a　毒物・劇物の取り扱い	毒物及び劇物取締法
		b　ホルマリンの取り扱い	労働安全衛生法、特定化学物質障害予防規則
	C　標本・報告書の保守管理		

Ⅵ章　臨床血液学

人体の構造と機能、血液学的検査

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　考
1　血液の基礎	A　血液の成分	a　有形成分	
		b　無形成分	
	B　血液の性状	a　血液量	
		b　比重	
	C　血液の機能	a　物質の運搬	
		b　生体の調節	
		c　生体の防御	
		d　止血	
	D　血球の産生	a　胎生期造血	
		b　血球の分化・成熟	
		c　造血因子	
		d　造血器官〈骨髄、リンパ組織、脾、髄外造血〉	
		e　血球回転	
2　血球	A　赤血球	a　産生と崩壊	
		b　形態と機能	
		c　生化学	TIBC、UIBC
	B　白血球	a　産生と崩壊	Hematogones
		b　形態と機能	
	C　血小板	a　産生と崩壊	
		b　形態と機能	
3　止血機構	A　血栓の形成	a　一次止血〈血小板血栓〉	
		b　二次止血〈フィブリン血栓〉	
		c　生理的な止血〈止血血栓〉・血栓症〈病的血栓〉	Virchowの3徴
	B　血管・血管内皮下組織	a　血管収縮・拡張	
		b　毛細血管透過性	
		c　抗血栓性	
	C　血小板とVWF	a　粘着・放出・凝集	
		b　凝固促進	
		c　血小板由来の生理活性物質	α顆粒、濃染顆粒、生理活性脂質
		d　von Willebrand因子〈VWF〉・ADAMTS13	
4　凝固・線溶系	A　凝固	a　凝固機序	
		b　凝固因子の産生・構造・機能	ビタミンK依存性凝固因子
		c　凝固の制御機構	
	B　線溶	a　線溶機序	
		b　線溶因子の産生・構造・機能	
		c　線溶の制御機構	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
5　血球算定に関する検査	A　自動血球計数器法	a　計測原理と方法	
		b　赤血球数<RBC>	
		c　ヘモグロビン濃度<Hb>	
		d　ヘマトクリット値<Ht>	
		e　網赤血球数<Ret>	
		f　赤血球指数<MCV、MCH、MCHC>	
		g　白血球数<WBC>	
		h　血小板数<Plt>	
		i　血球粒度分布と白血球自動分類	
		j　誤差要因	
	B　用手法	a　血球数算定	
		b　ミクロヘマトクリット法	
	C　網赤血球数	a　Brecher法	
		b　フローサイトメトリー法	
	D　血小板数	a　Brecher-Cronkite法	
		b　免疫学的血小板数算定	
	E　赤血球沈降速度<赤沈>	a　Westergren法	
	F　溶血の検査	a　赤血球浸透圧抵抗試験	
	G　白血球分画とその増減	a　好中球	
		b　好酸球	
		c　好塩基球	
		d　単球	
		e　リンパ球	
		f　類白血病反応	
6　血液細胞形態・細胞性免疫検査	A　塗抹標本の作製法	a　薄層塗抹標本	Wedge<ウエッジ>標本、spinner<スピナー>標本、圧挫伸展標本
	B　普通染色	a　Giemsa染色	
		b　Wright染色	
		c　May-Grünwald-Giemsa染色	
	C　特殊染色	a　鉄染色	
		b　ペルオキシダーゼ染色	
		c　エステラーゼ染色	
		d　アルカリホスファターゼ染色	
		e　PAS染色	
	D　血液細胞の観察	a　鏡検法による血球観察	
		b　末梢血血液像	
		c　骨髄像	骨髄生検
		d　白血球形態異常	
		e　異型リンパ球と異常リンパ球	
	E　細胞性免疫検査	a　CD分類	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b　フローサイトメトリー法	CD45ゲーティング、微小残存病変<MRD>
		c　免疫組織化学法	
7　血栓・止血関連検査	A　血管・血小板関連の検査	a　出血時間・毛細血管抵抗試験	
		b　血小板機能検査(粘着能、凝集能、放出能)、血餅退縮	血液粘弾性検査
		c　血小板関連IgG	
	B　凝固・線溶の検査	a　プロトロンビン時間<PT>	
		b　活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>	
		c　フィブリノゲン	
		d　VWF<抗原量、活性>	
		e　凝固因子活性	
		f　プラスミノゲン	
		g　フィブリノゲン／フィブリン分解産物<FDP>	
		h　D-ダイマー	
		i　可溶性フィブリンモノマー複合体<SFMC>	
		j　トロンビン - アンチトロンビン複合体<TAT>	
		k　プラスミン - プラスミンインヒビター複合体<PIC>	
	C　凝固・線溶阻止物質の検査	a　アンチトロンビン<AT>	
		b　プロテインC<PC>	
		c　プロテインS<PS>	
		d　プラスミンインヒビター<アンチプラスミン>	
		e　プラスミノゲンアクチベータインヒビター<PAI>	
		f　クロスミキシング試験	
		g　凝固因子インヒビター	
		h　抗リン脂質抗体・ループスアンチコアグラント	抗カルジオリピン抗体、抗β_2-GPⅠ抗体、希釈ラッセル蛇毒法、リン脂質中和法
8　赤血球系疾患の検査結果の評価	A　貧血	a　定義と分類法	
	B　小球性貧血	a　鉄欠乏性貧血	
		b　慢性炎症性疾患による貧血	
		c　鉄芽球性貧血	
		d　サラセミア	HPLC法
	C　正球性貧血	a　再生不良性貧血	
		b　赤芽球癆	
		c　二次性貧血	腎性貧血を含む

大項目	中項目	小項目	備考
		d 自己免疫性溶血性貧血〈AIHA〉	直接抗グロブリン試験〈直接Coombs試験〉、間接抗グロブリン試験〈間接Coombs試験〉
		e 寒冷凝集素症	
		f 発作性夜間ヘモグロビン尿症〈PNH〉	CD55、CD59
		g 細血管障害性溶血性貧血	
		h その他の貧血	微量元素欠乏(銅、亜鉛)
	D 大球性貧血	a ビタミンB_{12}欠乏	悪性貧血を含む
		b 葉酸欠乏	
	E 先天性溶血性貧血	a 遺伝性球状赤血球症〈HS〉	赤血球膜異常症
		b 異常ヘモグロビン症	鎌状赤血球
		c 赤血球酵素異常症	
	F 赤血球増加	a 二次性赤血球増加・相対的赤血球増加	
	G 赤血球形態異常	a 大小不同	
		b 変形〈奇形〉	球状、破砕、標的、涙滴、ウニ状、有棘、楕円、鎌状、菲薄
		c 多染性	
		d 封入体	Howell-Jolly小体、Pappenheimer小体、Heinz小体、好塩基性斑点
		e 連銭形成	
9 造血器腫瘍の検査結果の評価	A 造血器腫瘍の分類	a 急性骨髄性白血病〈AML〉のWHO分類	
		b 急性リンパ芽球性白血病/リンパ芽球性リンパ腫〈ALL/LBL〉のWHO分類	
		c FAB分類	
	B 急性白血病の検査	a 血液像・骨髄像	特殊染色
		b 骨髄性白血病の表面マーカー	CD13、CD33、CD34、細胞質内MPO
		c リンパ性白血病の表面マーカー	B細胞系(CD10、CD19、CD20、CD79a、κ/λ)、T細胞系(CD3、CD4、CD5、CD7、CD8)
		d 骨髄性白血病の染色体検査と遺伝子検査	t(8;21)/*RUNX1*::*RUNX1T1*、inv(16)/*CBFB*::*MYH11*、t(15;17)/*PML*::*RARA*
		e リンパ性白血病の染色体検査と遺伝子検査	t(9;22)/*BCR*::*ABL1*、t(v;11q23)/*KMT2A*(*MLL*)再構成、t(12;21)/*ETV6*::*RUNX1*(*TEL*::*AML1*)、高2倍体(hyperdiploidy)
	C 骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患の検査	a 各疾患の概要	
		b 血液像・骨髄像	
		c 遺伝子・染色体検査	Philadelphia〈Ph〉染色体、*BCR*::*ABL1*、*JAK2* V617F

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　　考
	D 骨髄異形成症候群〈MDS〉の検査	a 各疾患の概要	無効造血、クローン性造血
		b 血液像・骨髄像	
		c 遺伝子・染色体検査	
	E 慢性リンパ性白血病および類縁疾患の検査	a 各疾患の概要	ヘアリー細胞白血病〈HCL〉
		b 血液像・骨髄像	
		c 表面マーカー	CD5、CD23
		d 遺伝子・染色体検査	
	F 多発性骨髄腫および類縁疾患の検査	a 各疾患の概要	
		b 血液像・骨髄像	
		c M蛋白	免疫電気泳動(M-bow)、免疫固定電気泳動法、免疫グロブリン遊離軽鎖κ/λ比
		d 表面マーカー	CD38、CD138
		e 遺伝子・染色体検査	
	G 悪性リンパ腫の検査	a 病型分類	
		b 成熟B細胞腫瘍の概要	sIL-2R
		c 成熟T/NK細胞腫瘍の概要	
		d 血液像・骨髄像	
		e 表面マーカー	軽鎖制限、CD25、CD56
		f 遺伝子・染色体検査	*IGH*::*MYC*、*IGH*::*BCL2*
10 血栓・止血系の疾患の検査結果の評価	A 血小板減少症の検査	a 各疾患の概要	血栓性微小血管症〈TMA〉、ヘパリン起因性血小板減少症〈HIT〉
		b 血液像・骨髄像	EDTA依存性偽性血小板減少症、先天性巨大血小板症
		c 免疫学的検査	PAIgG、抗血小板抗体
		d その他の検査	網血小板
	B 血小板増加症の検査		
	C 血小板機能異常症の検査	a 各疾患の概要	
		b 血小板凝集能	
	D 先天性凝固・線溶異常の検査	a 各疾患の概要	第Ⅻ因子欠乏症
		b 凝固スクリーニング検査	
		c 凝固因子	
		d 線溶因子	先天性プラスミンインヒビター〈PI〉欠損症
	E 後天性凝固・線溶異常の検査	a 各疾患の概要	
		b 凝固スクリーニング検査	DIC診断基準
		c 凝固因子	インヒビター
		d 線溶因子	
	F 血栓性素因の検査	a 各疾患の概要	
		b 凝固制御因子	
		c 後天性血栓性素因	抗リン脂質抗体症候群
		d 遺伝子検査	遺伝性血栓性素因

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	G 血管異常による出血の検査	a 各疾患の概要	
		b 検査	Rumpel-Leede試験

Ⅶ章　臨床微生物学

臨床検査の基礎と疾病との関連

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　考
1　微生物の分類・構造・性状	A　生物学的位置	a　真核生物	
		b　原核生物	
	B　細菌	a　構造と性状	
	C　真菌	a　構造と性状	
	D　ウイルス	a　構造と性状	
2　染色法	A　細菌の観察と染色法	a　単染色法	
		b　Gram染色法	
		c　抗酸菌染色法	Ziehl-Neelsen染色、蛍光染色〈オーラミン法〉
		d　芽胞染色法	
		e　莢膜染色法	
		f　鞭毛染色法	
		g　異染小体染色法	
	B　真菌の観察と染色法	a　KOH法	
		b　墨汁法	
		c　ラクトフェノールコットンブルー染色法	
3　発育と培養	A　細菌の発育	a　代謝と増殖	
		b　栄養素	
		c　発育に必要な条件〈環境〉	
	B　真菌の発育	a　代謝と増殖	
		b　栄養素	
		c　発育に必要な条件〈環境〉	
	C　ウイルスの増殖		
	D　培地	a　培地の成分	
		b　培地の分類	
		c　増菌培地	
		d　分離培地	
		e　確認培地	
		f　保存用培地	
		g　輸送用培地	
	E　培養法	a　分離培養法	
		b　増菌培養法	
	F　培養環境	a　好気培養法	
		b　炭酸ガス培養法	
		c　微好気培養法	
		d　嫌気培養法	
4　遺伝と変異	A　遺伝子		複製、転写、接合、形質導入、形質転換
	B　遺伝物質〈情報〉の伝達		

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	C 変異		
5 滅菌と消毒	A 滅菌法	a 高圧蒸気滅菌〈オートクレーブ〉	
		b 乾熱滅菌	
		c ろ過滅菌	
		d ガス滅菌	
		e 放射線滅菌	
	B 消毒法	a 物理的消毒法	抗微生物スペクトル
		b 化学的消毒法	抗微生物スペクトル、消毒薬の種類と特性
		c プリオンの不活化法	
6 化学療法	A 抗菌薬の基本	a 選択毒性	
		b 作用機序	
		c 抗菌スペクトル	
		d 抗菌薬のPharmacokinetics(PK)	
		e 抗菌薬のPharmacodynamics(PD)	
	B 抗菌薬耐性	a 耐性の機序	
		b 不活化酵素	β-ラクタマーゼ
		c 作用点変異	ペニシリン結合タンパク〈PBP〉
		d 作用点修飾酵素	
		e 薬剤排出ポンプ〈efflux pump〉	
	C 薬剤耐性菌	a メチシリン耐性黄色ブドウ球菌〈MRSA〉	市中感染型、院内感染型
		b ペニシリン耐性肺炎球菌〈PRSP〉	
		c バンコマイシン耐性腸球菌〈VRE〉	
		d 薬剤耐性淋菌	ペニシリナーゼ産生淋菌〈PPNG〉
		e アンピシリン耐性インフルエンザ菌	BLNAR、BLPAR、BLPACR
		f 多剤耐性緑膿菌〈MDRP〉	
		g 多剤耐性アシネトバクター〈MDRA〉	
		h 基質拡張型β-ラクタマーゼ〈ESBL〉産生菌	
		i カルバペネマーゼ産生菌	メタロ-β-ラクタマーゼ〈MBL〉産生菌 (IMP型β-ラクタマーゼ産生菌)、KPC型β-ラクタマーゼ産生菌、OXA型β-ラクタマーゼ産生菌、NDM型β-ラクタマーゼ産生菌
		j カルバペネム耐性腸内細菌目細菌〈CRE〉	
		k 多剤耐性結核菌〈MDRTB〉	超多剤耐性結核菌〈XDRTB〉
	D 抗菌薬の種類	a β-ラクタム系抗菌薬	ペニシリン、セファロスポリン、モノバクタム、カルバペネム

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b　アミノグリコシド系抗菌薬	
		c　マクロライド系抗菌薬	
		d　テトラサイクリン系抗菌薬	
		e　キノロン系抗菌薬	
		f　ポリペプチド系抗菌薬	
		g　グリコペプチド系抗菌薬	バンコマイシン
		h　ホスホマイシン	
		i　リンコマイシン系抗菌薬	
		j　サルファ剤	
		k　クロラムフェニコール系抗菌薬	
		l　ストレプトグラミン系抗菌薬	
		m　オキサゾリジノン系抗菌薬	
		n　リポペプチド系抗菌薬	
		o　グリシルサイクリン系抗菌薬	
	E　抗結核薬		リファンピシン、イソニアジド、ピラジナミド、エタンブトール
	F　抗真菌薬		アムホテリシンB、フルコナゾール、イトラコナゾール、ミカファンギン
	G　抗ウイルス薬	a　抗ヘルペスウイルス薬	
		b　抗インフルエンザウイルス薬	
		c　抗HIV薬	
		d　抗サイトメガロウイルス薬	
	H　細菌の薬剤感受性検査法	a　最小発育阻止濃度〈MIC〉	
		b　最小殺菌濃度〈MBC〉	
		c　ディスク拡散法	
		d　微量液体希釈法	
		e　β-ラクタマーゼ検査法	
	I　抗菌薬治療	a　抗菌薬感受性とブレイクポイント	感性(S)、中間(I)、耐性(R)
		b　治療薬物モニタリング〈TDM〉	アミノグリコシド系抗菌薬、グリコペプチド系抗菌薬、抗真菌薬
7　感染と発症	A　常在細菌叢	a　常在細菌叢の分布	
		b　常在細菌叢と感染	
	B　微生物の病原因子	a　毒素〈外毒素、内毒素〉	ベロ毒素、CDトキシン、エンドトキシン
	C　宿主の抵抗力	a　生体防御機構	
	D　感染の発現	a　顕性感染	
		b　不顕性感染	
		c　キャリア	
	E　感染経路	a　接触感染	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b　飛沫感染	
		c　空気感染	
		d　血液媒介感染	
		e　経口感染	
		f　水平感染	
		g　垂直感染	
	F　現代の感染症の特徴	a　市中感染症	
		b　日和見感染症	
		c　菌交代症	
		d　医療関連感染症〈病院感染症、院内感染症、医療・介護関連感染症〉	
		e　輸入感染症	
		f　人獣共通感染症〈動物由来感染症〉	
		g　性感染症〈STI〉	
		h　新興・再興感染症	
	G　食中毒	a　感染型食中毒	
		b　毒素型食中毒	
	H　バイオセーフティ	a　バイオハザード対策	
		b　病原体の危険度分類〈バイオセーフティレベル〉	BSL 1、2、3、4
		c　生物学的安全キャビネット	クラスⅠ、Ⅱ、Ⅲ
		d　感染性廃棄物の取扱い方	
	I　感染の予防と対策	a　ワクチン	
		b　医療関連感染〈病院感染、院内感染〉	
		c　標準予防策	
		d　感染経路別予防策	空気予防策、飛沫予防策、接触予防策
		e　手洗い法〈衛生手洗い法〉	
		f　個人防護具〈PPE〉	
	J　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉	a　一類感染症	
		b　二類感染症	
		c　三類感染症	
		d　四類感染症	
		e　五類感染症	
		f　指定感染症	
		g　新型インフルエンザ等感染症	
		h　新感染症	
		i　特定病原体等〈一種、二種、三種、四種〉	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	K 感染制御	a アウトブレイク	
		b サーベイランス	
		c アンチバイオグラム	
		d 抗菌薬の適正使用	
		e 感染制御チーム〈ICT〉	
		f 抗菌薬適正使用支援チーム〈AST〉	

微生物学的検査

大　項　目	中　項　目	小　項　目	備　考
1　細菌	A　好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌	a　Genus *Staphylococcus*	*S. aureus*、*S. epidermidis*
		b　Genus *Streptococcus*	*S. pyogenes*、*S. agalactiae*、*S. pneumoniae*
		c　Genus *Enterococcus*	*E. faecalis*、*E. faecium*
	B　好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌	a　Genus *Neisseria*	*N. gonorrhoeae*、*N. meningitidis*
		b　Genus *Moraxella*	*M. catarrhalis*
	C　通性嫌気性グラム陰性桿菌	a　Genus *Escherichia*	*E. coli*
		b　Genus *Shigella*	*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*
		c　Genus *Salmonella*	*S.* Typhi、*S.* Paratyphi A、*S.* Eenteritidis、*S.* Gallinarum
		d　Genus *Citrobacter*	*C. freundii*
		e　Genus *Klebsiella*	*K. pneumoniae*、*K. oxytoca*、*K. aerogenes*
		f　Genus *Serratia*	*S. marcescens*
		g　Genus *Enterobacter*	*E. cloacae*
		h　Genus *Yersinia*	*Y. pestis*、*Y. enterocolitica*
		i　Genus *Proteus*	*P. mirabilis*、*P. vulgaris*
		j　Genus *Morganella*	*M. morganii*
		k　Genus *Providencia*	*P. rettgeri*、*P. stuartii*
		l　Genus *Plesiomonas*	*P. shigelloides*
		m　Genus *Vibrio*	*V. cholerae*、*V. cholerae* non-01(NAGビブリオ)、*V. parahaemolyticus*
		n　Genus *Aeromonas*	*A. hydrophila*
		o　Genus *Pasteurella*	*P. multocida*
		p　Genus *Haemophilus*	*H. influenzae*、*H. parainfluenzae*、*H. ducreyi*
		q　Genus *Capnocytophaga*	
		r　Genus *Bartonella*	
	D　好気性グラム陰性桿菌	a　Genus *Pseudomonas*	*P. aeruginosa*
		b　Genus *Burkholderia*	*B. cepacia*、*B. pseudomallei*、*B. mallei*
		c　Genus *Stenotrophomonas*	*S. maltophilia*
		d　Genus *Acinetobacter*	*A. baumannii*
		e　Genus *Bordetella*	*B. pertussis*
		f　Genus *Brucella*	*B. melitensis*
		g　Genus *Francisella*	*F. tularensis*
		h　Genus *Legionella*	*L. pneumophila*
		i　Genus *Coxiella*	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	E 微好気性グラム陰性らせん菌	a Genus *Campylobacter*	*C. jejuni*、*C. coli*、*C. fetus*
		b Genus *Helicobacter*	*H. pylori*
	F 好気性グラム陽性有芽胞桿菌	a Genus *Bacillus*	*B. anthracis*、*B. cereus*
	G 好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	a Genus *Listeria*	*L. monocytogenes*
		b Genus *Corynebacterium*	*C. diphtheriae*
		c Genus *Gardnerella*	
		d Genus *Lactobacillus*	
	H グラム陽性抗酸性桿菌	a Genus *Mycobacterium*	*M. tuberculosis*、*M. avium-intracellulare* complex、*M. leprae*
		b Genus *Nocardia*	
	I 嫌気性グラム陽性球菌	a Genus *Peptostreptococcus*	
		b Genus *Finegoldia*	
		c Genus *Parvimonas*	
		d Genus *Peptoniphilus*	
	J 嫌気性グラム陰性球菌	a Genus *Veillonella*	
	K 嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌	a Genus *Clostridium*	*C. botulinum*、*C. tetani*、*C. perfringens*
		b Genus *Clostridioides*	*C. difficile*
	L 嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	a Genus *Actinomyces*	*A. israelii*
		b Genus *Cutibacterium*	*C. acnes*
		c Genus *Mobiluncus*	
	M 嫌気性グラム陰性桿菌	a Genus *Bacteroides*	*B. fragilis*
		b Genus *Parabacteroides*	*P. distasonis*
		c Genus *Prevotella*	
		d Genus *Porphyromonas*	
		e Genus *Fusobacterium*	*F. nucleatum*
	N スピロヘータ	a Genus *Treponema*	*T. pallidum*
		b Genus *Borrelia*	
	O レプトスピラ	a Genus *Leptospira*	
	P マイコプラズマ	a Genus *Mycoplasma*	*M. pneumoniae*
	Q リケッチア	a Genus *Rickettsia*	*R. prowazekii*
		b Genus *Orientia*	*O. tsutsugamushi*
		c Genus *Neorickettsia*	*N. sennetsu*
		d Genus *Ehrlichia*	
	R クラミジア	a Genus *Chlamydia*	*C. trachomatis*、*C. psittaci*、*C. pneumoniae*
2 真菌	A 糸状菌	a ムコール類	Genus *Mucor*、Genus *Rhizopus*
		b Genus *Aspergillus*	*A. fumigatus*

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　黒色真菌	Genus *Fonsecaea*、 Genus *Exophiala*、 Genus *Phialophora*
	B　皮膚糸状菌	a　Genus *Trichophyton*	*T. rubrum*、*T. mentagrophytes*
		b　Genus *Epidermophyton*	*E. floccosum*
		c　Genus *Microsporum*	*M. canis*
	C　二形性真菌	a　Genus *Sporothrix*	*S. schenckii*
		b　Genus *Histoplasma*	*H. capsulatum*
		c　Genus *Blastomyces*	*B. dermatitidis*
		d　Genus *Coccidioides*	*C. immitis*
		e　Genus *Paracoccidioides*	*P. brasiliensis*
		f　*Talaromyces marneffei* <*Penicillium marneffei*>	
	D　酵母および酵母様真菌	a　Genus *Candida*	*C. albicans*
		b　Genus *Cryptococcus*	*C. neoformans*、*C. gattii*
	E　その他の真菌	a　Genus *Pneumocystis*	*P. jirovecii*
3　ウイルス	A　DNAウイルス	a　ポックスウイルス	痘瘡ウイルス
		b　ヘルペスウイルス	単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、EBウイルス、サイトメガロウイルス、ヒトヘルペスウイルス6
		c　アデノウイルス	
		d　パピローマウイルス	ヒトパピローマウイルス
		e　ポリオーマウイルス	
		f　パルボウイルス	ヒトパルボウイルスB19
		g　ヘパドナウイルス	B型肝炎ウイルス
	B　RNAウイルス	a　オルトミクソウイルス	インフルエンザウイルス
		b　パラミクソウイルス	ムンプスウイルス、麻疹ウイルス、ヒトRSウイルス
		c　レトロウイルス	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)
		d　フラビウイルス	日本脳炎ウイルス、デングウイルス、黄熱ウイルス、C型肝炎ウイルス
		e　トガウイルス	
		f　レオウイルス	ロタウイルス
		g　カリシウイルス	ノロウイルス
		h　ピコルナウイルス	A型肝炎ウイルス
		i　コロナウイルス	新型コロナウイルス、SARSウイルス、MERSウイルス
		j　フィロウイルス	エボラウイルス
		k　アレナウイルス	
		l　ブニヤウイルス	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
4 プリオン	A 異常プリオン蛋白		
5 検査法	A 基本技術	a 無菌操作技術	
		b 滅菌・消毒の技術	
		c 検体採取時の感染対策	
	B 検体検査法とその技術	a 患者・検体情報の収集	
		b 主な検体の採取と保存	
		c 検体の肉眼的観察と評価	喀痰のMiller & Jones分類
		d 塗抹検査	喀痰のGeckler分類
		e 前処理	
		f 分離培養	
		g 同定検査	確認培地、同定キット、自動機器、質量分析装置
		h 薬剤感受性検査	CLSI標準法
		i 結果の報告	
	C 検体別細菌検査法	a 血液	自動血液培養検査装置
		b 脳脊髄液	
		c 呼吸器〈喀痰〉	
		d 糞便	
		e 尿	
		f 穿刺液〈脳脊髄液以外〉	
		g 膿分泌物	
	D 嫌気性菌の検査法		
	E 抗酸菌の検査法	a 塗抹検査	蛍光染色、Ziehl-Neelsen染色、Kinyoun染色
		b 培養検査	液体培養法、小川培地
		c 同定検査	
		d 薬剤感受性検査	比率法
		e 核酸増幅検査	
	F 真菌の検査法	a 形態の観察	
		b (1→3)-β-Dグルカン検査	
		c 抗原検査	アスペルギルス抗原、クリプトコッカス抗原
	G ウイルスの検査法	a ウイルス粒子・抗原の検出	イムノクロマト法
		b ウイルス核酸〈遺伝子〉の検出	
		c 血清学的検査	
	H 蛋白・免疫学的検査法	a 抗原検査	
		b 抗体検査	
		c 質量分析法	
		d 結核菌特異的IFN-γ遊離試験〈IGRA〉	
	I 遺伝子検査法	a 核酸ハイブリダイゼーション法〈核酸プローブ法〉	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		b　核酸増幅法	PCR法、リアルタイムPCR法、マルチプレックスPCR法、RT-PCR法、LAMP法
		c　遺伝子型判別法	
	J　迅速診断技術	a　顕微鏡による形態観察	各種検査材料からのGram染色所見〈特殊染色を含む〉
		b　免疫学的な抗原・抗体の検出	レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原、A群溶血性レンサ球菌抗原、クロストリジオイデス・ディフィシル抗原、肺炎マイコプラズマ抗原、ウイルス抗原：インフルエンザウイルス、RSウイルス、アデノウイルス、ロタウイルス、ノロウイルス、新型コロナウイルス
		c　毒素の検出	CDトキシン検出
		d　遺伝子の検出	
	K　検査に関与する機器	a　自動菌種同定装置	
		b　薬剤感受性検査装置	
		c　遺伝子検査装置	
6　微生物検査結果の評価	A　検査結果の評価	a　感染症との関連	
		b　緊急連絡を要する検査結果〈パニック値〉とその取扱い	医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出
		c　疫学〈感染症サーベイランス、病院感染サーベイランス〉との関連	
		d　精度管理	内部精度管理、外部精度管理調査

Ⅷ章　臨床免疫学

免疫学的検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　免疫システムの成り立ち	A　免疫とは	a　自然免疫	
		b　獲得免疫	
	B　免疫担当器官、組織、細胞	a　一次リンパ器官、二次リンパ器官	
		b　自然免疫に関与する細胞群	
		c　獲得免疫に関与する細胞群	
		d　B細胞の分化	レセプター編集
		e　T細胞の分化	正の選択、負の選択
		f　リンパ球再循環	
	C　免疫の成立と調節	a　自然免疫における異物認識	
		b　獲得免疫における異物認識	
		c　CD抗原、細胞表面マーカー	CD2、CD3、CD4、CD8、CD11b、CD14、CD16、CD19、CD20、CD21、CD34、CD38、CD56
		d　主要組織適合抗原遺伝子複合体〈MHC〉	
		e　サイトカインとそのレセプター	
		f　細胞接着因子	
		g　免疫寛容〈トレランス〉	
		h　免疫の発達と老化	
2　外来抗原に対する反応	A　抗原	a　免疫原性、反応原性	ハプテン
		b　エピトープ	
		c　抗原分子の種類	
	B　自然免疫	a　自然免疫系細胞による非自己排除	
		b　T細胞への非自己の提示	
		c　補体による異物認識	
		d　補体のエフェクター活性	
		e　補体制御因子	
	C　獲得免疫	a　免疫グロブリンの構造、クラス	
		b　免疫グロブリンの機能	
		c　B細胞による抗原認識後の活性化と分化	
		d　T細胞による抗原認識後の活性化と分化	
		e　獲得免疫系細胞による非自己排除	一次・二次免疫応答
		f　免疫記憶	
3　免疫学的検査の基礎知識と技術	A　免疫学的検査に用いる検体の取り扱い	a　採血時および採血後の温度管理	
		b　血清の不活性化	
		c　補体寒冷活性化	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	B 血液細胞の分離・調製法	a 赤血球	
		b 顆粒球	
		c 単核球とリンパ球〈T細胞、B細胞〉	
	C 免疫学的検査に用いる器具・機器	a 蛍光顕微鏡	
		b フローサイトメータ	
	D 抗体の作製	a ポリクローナル抗体、モノクローナル抗体	アジュバントを含む
		b モノクローナル抗体作製技術	
		c 免疫グロブリンの分離、精製	
4 抗原抗体反応による分析法	A 抗原と抗体の結合	a 結合に関与する力	
		b 最適比、地帯現象〈プロゾーン現象〉	
		c 抗原抗体反応に影響する因子	
		d 抗原抗体反応の感度	
		e 非特異反応	
	B 試験管内抗原抗体反応の原理と臨床応用	a 免疫沈降反応	
		b 免疫凝集反応	
		c 免疫溶解反応	
		d 補体結合反応	
		e 中和反応	
		f 抑制反応	
		g 標識物質を用いた免疫測定法	
5 免疫機能検査	A 液性免疫機能検査	a 免疫グロブリンの定量	IgG4を含む
		b 免疫電気泳動法・免疫固定電気泳動法による解析	
	B 細胞性免疫機能検査	a リンパ球サブセットの解析	CD3、CD4、CD8、CD19、CD20、CD38、CD56、CD4/CD8比
		b サイトカインの定量	IL-2、IFN-γ
		c リンパ球幼若化試験	マイトジェン
	C 食細胞機能検査	a 貪食能、遊走能、活性酸素産生能	
	D 補体系検査	a 血清補体価〈CH50〉測定	
		b 補体成分の定量	
6 免疫と疾患の関わり	A 感染防御免疫	a 細菌感染と生体防御	
		b ウイルス感染と生体防御	
		c 寄生虫感染と生体防御	
		d 能動免疫、受動免疫	
		e 梅毒トレポネーマ感染症	RPR法、TPPA、TPLA、FTA-ABS
		f 敗血症	プロカルシトニン、プレセプシン(可溶性CD14)
		g 結核	結核菌特異的IFN-γ遊離試験〈IGRA〉

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		h　リケッチア感染症	免疫蛍光抗体法、免疫ペルオキシダーゼ法
		i　肝炎ウイルス感染症	
		j　レトロウイルス感染症	HTLV-I抗体、HIV抗体
		k　麻疹・風疹ウイルス感染症	
		l　EBウイルス感染症	VCA-IgG, VCA-IgM, EBNA
	B　免疫不全	a　液性免疫不全	
		b　細胞性免疫不全	
		c　複合型免疫不全	
		d　食細胞異常症	
		e　先天性補体欠損症	
		f　続発性免疫不全症	
	C　炎症とアレルギー	a　急性炎症	
		b　アレルギー反応の機序、分類、疾患	
		c　即時型アレルギーの検査法	アレルゲン特異的IgE定量
	D　自己免疫	a　自己免疫疾患の発生機序と分類	
		b　全身性自己免疫疾患で見られる自己抗体の種類	リウマトイド因子、抗CCP抗体、抗核抗体、抗DNA抗体、抗Sm抗体、抗RNP抗体、抗Scl-70抗体、抗セントロメア抗体、抗ARS抗体(抗Jo-1抗体など)、抗SS-A抗体、抗SS-B抗体、抗カルジオリピン抗体、MPO-ANCA、PR3-ANCA、抗MDA5抗体
		c　臓器特異的自己免疫疾患で見られる自己抗体の種類	抗ミトコンドリア抗体、抗サイログロブリン抗体、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体、抗TSH受容体抗体、抗アセチルコリン受容体抗体、抗GAD抗体、抗内因子抗体、抗赤血球抗体、寒冷凝集素
		d　自己抗体の検査法	抗核抗体スクリーニングによる染色パターン判別を含む
	E　免疫グロブリン異常	a　単クローン性および多クローン性の高免疫グロブリン血症	免疫電気泳動法、免疫固定電気泳動法、遊離L鎖κ/λ比
		b　Bence Jones蛋白	
		c　クリオグロブリン	
	F　がん免疫	a　がん免疫にかかわる細胞	PD-1、PD-L1
		b　がんに対する免疫療法	

輸血・移植検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　輸血療法の基礎	A　輸血療法の考え方		
	B　血液事業	a　献血制度	
		b　献血者の検査	
		c　献血者の感染症検査	
		d　遺伝子増幅検査<NAT>	
		e　採血基準	献血同意書、全血献血、成分献血、採血間隔、問診票
		f　副反応・感染症報告体制	
	C　血液製剤	a　血液製剤の製造	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律<血液法>
		b　抗凝固剤、保存液	
		c　放射線照射	
2　輸血の基礎知識	A　血液型と同種抗原	a　ABO血液型	
		b　ABO血液型の亜型と変異型・変化	acquired B(後天性B)を含む
		c　Rh血液型	
		d　その他の血液型	
	B　精度管理	a　内部精度管理	試薬の安定性、恒温槽の温度
		b　外部精度管理調査	輸血検査室の技能試験
3　輸血前検査	A　ABO血液型検査	a　検査方法	試験管法、カラム凝集法<CAT>、マイクロプレート法、スライド法
		b　判定法	
	B　RhD血液型検査	a　検査方法	試験管法、カラム凝集法<CAT>、マイクロプレート法
		b　判定法	
		c　D陰性確認試験	
	C　不規則抗体スクリーニング	a　検査方法	試験管法、カラム凝集法<CAT>、固相法
		b　反応増強剤	ポリエチレングリコール<PEG>溶液、低イオン強度溶液<LISS>
		c　抗ヒトグロブリン試薬	
		d　IgG感作赤血球試薬	
		e　消去法	
	D　不規則抗体同定検査(同定パネル赤血球検査)	a　検査方法	間接抗グロブリン試験<IAT>
		b　自己対照	
		c　量的効果	
		d　可能性の高い抗体	
		e　否定できない抗体	
		f　蛋白分解酵素	ブロメリン、フィシン、パパイン
		g　赤血球の化学処理	
		h　抗原検査	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		i　統計学的評価	
	E　交差適合試験	a　検査方法	試験管法、カラム凝集法〈CAT〉、固相法、コンピュータクロスマッチ
		b　主試験、副試験	
		c　自己対照	
	F　新生児・乳児の輸血前検査	a　ABO血液型・RhD血液型	
		b　不規則抗体スクリーニング	
		c　不規則抗体同定検査〈同定パネル赤血球検査〉	
		d　交差適合試験	
4　輸血副反応	A　種類	a　急性溶血性輸血反応〈AHTR〉	直接抗グロブリン試験〈DAT〉
		b　遅発性溶血性輸血反応〈DHTR〉	直接抗グロブリン試験〈DAT〉
		c　発熱性非溶血性輸血反応〈FNHTR〉	
		d　輸血関連急性肺障害〈TRALI〉	
		e　輸血関連循環過負荷〈TACO〉	
		f　輸血後GVHD〈PT-GVHD〉	
		g　血小板(輸血)不応〈PTR〉	
	B　原因の精査	a　直接抗グロブリン試験〈DAT〉	
	C　輸血後感染症	a　ウイルス感染症	輸血前検体、輸血後検体
		b　細菌汚染	
		c　その他の感染症	
5　自己血輸血	A　種類	a　貯血式、希釈式、回収式	
	B　適応	a　自己血利用の利点・欠点	
		b　貯血式の採血基準	
6　輸血管理	A　輸血療法の適応	a　輸血の適応決定	
		b　血液製剤の種類と量の決定	
		c　説明と同意	
	B　輸血用血液製剤の保管と管理	a　血液製剤〈赤血球・血小板・血漿〉の保存法、保護液、有効期間、管理法	
		b　血液製剤の外観確認	
		c　誤認予防策	患者認証、血液製剤確認
		d　血液製剤のセグメントチューブ	
		e　記録の保管	
	C　緊急輸血・大量輸血	a　危機的出血、大量出血に対する輸血	
	D　成分採血	a　機器の種類と原理	
		b　静脈路への成分採血装置の接続、操作	
		c　抗凝固剤の種類	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		d　末梢血幹細胞採取	
		e　血小板採取	
		f　血漿採取	
		g　リンパ球採取	CAR-T
		h　採取時の患者およびドナーの安全	
7　移植免疫と検査	A　移植免疫	a　移植の原理と分類	
		b　移植における組織適合性とHLA	
		c　移植における免疫反応	
		d　造血幹細胞移植とGVHD	
		e　免疫抑制	
	B　移植前検査	a　HLA検査、抗HLA抗体検査、リンパ球交差適合試験	
	C　造血幹細胞移植	a　造血幹細胞移植の適応	
		b　造血幹細胞の分離と同定	骨髄血、末梢血、臍帯血、CD34陽性細胞数
		c　血液型キメラ	
8　母児間血液型不適合妊娠	A　胎児・新生児溶血性疾患	a　母児の血液型検査	
		b　母体血の不規則抗体スクリーニング	
		c　直接抗グロブリン試験〈DAT〉	
		d　抗体解離試験	
		e　交換輸血時の適合性検査	
		f　胎児重症化予防法	胎児輸血、母体の血漿交換療法、抗体価測定

Ⅸ章　公衆衛生学

保健医療福祉と臨床検査

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　医学・医療の基本	A　医の倫理	a　ヒポクラテスの誓い	
		b　医療者のコンプライアンス	
		c　個人情報保護	
		d　生と死に関わる倫理的問題	安楽死、尊厳死、終末期医療
	B　患者の権利	a　リスボン宣言	
		b　インフォームドコンセント、セカンドオピニオン	
		c　患者の意向の尊重(患者中心の医療)	
	C　医学研究の倫理	a　ヘルシンキ宣言	
		b　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針	
2　公衆衛生の概念	A　健康の概念	a　健康の定義	世界保健機関〈WHO〉憲章
		b　憲法第25条	
	B　予防医学	a　疾病予防と健康増進	ハイリスク戦略、ポピュレーション戦略
		b　一次予防、二次予防、三次予防	
		c　スクリーニング、健康診断	
		d　ヘルスプロモーション	オタワ憲章、バンコク憲章
	C　疾病・障害の概念	a　国際疾病分類〈ICD〉	
		b　国際生活機能分類〈ICF〉	
		c　生活の質〈QOL〉	
		d　リハビリテーション	
		e　ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
3　人口統計と保健統計	A　人口静態統計	a　日本の人口	年少人口、生産年齢人口、老年人口、従属人口、少子高齢化
		b　国勢調査	
	B　人口動態統計	a　出生	出生率、合計特殊出生率、再生産率
		b　死亡	粗死亡率、年齢調整死亡率
		c　婚姻、離婚	
		d　生命表	平均余命、平均寿命
	C　疾病・障害統計	a　国民生活基礎調査	有訴者率
		b　患者調査	受療率
		c　国民医療費	
		d　健康寿命	
4　疫学	A　疫学の概念	a　宿主、病因、環境	
		b　疫学的因果関係	Hillの基準
		c　リスクファクター	
		d　バイアス、エラー、交絡因子	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	B 疫学指標	a 頻度を表す指標	死亡率、罹患率、有病率
		b 関連を表す指標	相対危険度、寄与危険度、オッズ比
	C 疫学研究	a 記述疫学、分析疫学	
		b 観察研究	横断研究、症例対照研究、コホート研究
		c 介入研究	ランダム化比較試験〈RCT〉、臨床試験、治験
		d システマティックレビュー	メタ分析〈メタアナリシス〉
5 環境保健	A 地球環境	a 地球温暖化	
		b オゾン層破壊	
		c 酸性雨	
		d 砂漠化	
	B 生活環境	a 公害・環境汚染のエピソード	
		b 大気汚染	
		c 水質汚濁	
		d 土壌汚染	
		e 騒音	
		f 悪臭	
		g 屋内環境	
		h 環境たばこ煙と受動喫煙	
		i 上水道	水道法
		j 下水道	下水道法、生物化学的酸素要求量〈BOD〉、化学的酸素要求量〈COD〉、溶存酸素量〈DO〉
		k 廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律〈廃棄物処理法〉、一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物、リサイクル
	C 生物環境	a 感染成立の3要因	感染源、感染経路、感受性
		b 感染予防	標準予防策、感染経路別予防策
		c 感染症発生動向調査〈サーベイランス〉	
		d 新興感染症、再興感染症	
		e 医療関連感染〈院内感染〉	
	D 物理環境	a 電離放射線	
		b 非電離放射線	レーザー、紫外線、赤外線
		c 高温・低温	熱中症、凍傷
		d 気圧	減圧症、高山病
		e 騒音	騒音性難聴
		f 振動	動揺病、手指振動障害
	E 化学環境	a 金属	
		b 有害ガス	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　有機溶剤	
		d　粉じん	
		e　石綿〈アスベスト〉	
		f　発がん物質	職業がん
		g　内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類	
	F　環境リスク評価	a　リスク評価とリスク管理	
		b　量反応関係と閾値	無影響量〈NOEL〉、無毒性量〈NOAEL〉、最小毒性量〈LOAEL〉、半数致死量〈LD50〉
		c　環境基準	
	G　環境検査法	a　水質検査	
		b　環境測定	
6　健康保持増進	A　食品安全および食品衛生	a　食品監視	ハサップ法〈HACCP〉
		b　食品添加物	1日摂取許容量〈ADI〉
		c　食中毒	
	B　母子保健	a　母子保健統計	妊産婦死亡、死産、周産期死亡、新生児死亡、乳児死亡
		b　妊産婦健康診査、1歳6ヶ月児健康診査、3歳児健康診査	
		c　新生児マススクリーニング	
	C　学校保健	a　健康診断	
		b　学校伝染病	
		c　学校安全	
	D　成人保健	a　国民の生活習慣の現状	国民健康・栄養調査
		b　生活習慣病のリスクファクター	
		c　健康日本21	
		d　特定健康診査・特定保健指導	
		e　基準、指針	食事摂取基準、食事バランスガイド、身体活動基準、身体活動指針(アクティブガイド)、睡眠指針
	E　高齢者保健	a　加齢に伴う問題	閉じこもり、廃用症候群、サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドローム
		b　要支援・要介護の原因	介護予防
		c　地域包括支援センター	地域包括ケアシステム
	F　精神保健	a　心の健康づくり	自殺予防対策、依存症対策
		b　精神保健福祉センター	
		c　入院形態	精神保健指定医
	G　産業保健	a　労働災害、業務上疾病	
		b　労働衛生の3管理	健康管理、作業管理、作業環境管理、許容濃度、管理濃度

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		c　労働基準監督署	産業保健総合支援センター、地域産業保健センター
		d　一般健康診断、特殊健康診断	
		e　生物学的モニタリング	
		f　過重労働対策	過労死、働き方改革
		g　メンタルヘルス対策	4つのケア、ストレスチェック
7　衛生行政	A　地域保健、地域医療	a　保健所、市町村保健センター	
		b　医療計画	医療圏、基準病床数、地域医療支援病院
		c　救急医療	初期救急、二次救急、三次救急、救急指定病院、救命救急センター
		d　災害医療	災害拠点病院、災害派遣医療チーム〈DMAT〉、トリアージ
		e　へき地医療	へき地医療拠点病院
		f　在宅ケア	在宅医療、訪問看護、在宅リハビリテーション
		g　介護保険施設	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
	B　社会保険	a　医療保険	国民健康保険、被用者保険
		b　年金保険	
		c　雇用保険	
		d　労災保険	
		e　介護保険	
	C　社会福祉	a　児童福祉	
		b　高齢者福祉	
		c　障害者福祉	
8　国際保健	A　国際機関	a　国際連合〈UN〉	持続可能な開発目標〈SDGs〉
		b　世界保健機関〈WHO〉	
	B　世界の状況	a　世界の人口	
		b　死亡統計	開発途上国の健康問題
		c　感染症対策	エイズ、結核、マラリア
		d　プライマリヘルスケア	アルマ・アタ宣言
9　関係法規	A　臨床検査技師等に関する法律	a　総則	
		b　免許	
		c　試験	
		d　業務	
		e　罰則	
	B　医事法規	a　医療法	
		b　医師法	
		c　保健師助産師看護師法	
		d　診療放射線技師法	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		e　臨床工学技士法	
		f　死体解剖保存法	
		g　個人情報保護法	
	C　薬事法規	a　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律〈医薬品医療機器等法〉	医薬品医療機器総合機構〈PMDA〉
		b　毒物及び劇物取締法	
		c　麻薬及び向精神薬取締法	
		d　大麻取締法	
		e　覚せい剤取締法	
	D　保健衛生法規	a　地域保健法	
		b　食品衛生法	
		c　母子保健法	
		d　学校保健安全法	
		e　健康増進法	
		f　高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉	
		g　介護保険法	
		h　その他の法律	がん対策基本法、健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法〈脳卒中・循環器病対策基本法〉、肝炎対策基本法、自殺対策基本法
	E　感染症法規	a　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉	
		b　予防接種法	生ワクチン、不活化ワクチン
		c　検疫法	検疫感染症
	F　環境衛生法規	a　環境基本法	
		b　公害健康被害の補償等に関する法律	
	G　労働衛生法規	a　労働基準法	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉
		b　労働安全衛生法	じん肺法
		c　労働者災害補償保険法	
	H　社会保障・福祉関連法規	a　生活保護法	
		b　児童福祉法	
		c　老人福祉法	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		d　障害者基本法	障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉、発達障害者支援法

X章　医用工学概論

医療工学・医療情報

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　臨床検査と生体物性	A　生体の物理的特異性		
	B　生体物性の基礎	a　電気的特性	
		b　力学的特性	
		c　超音波特性	
		d　熱的特性	
		e　光学的性質	
		f　磁気的特性	
		g　放射線特性	
2　電気・電子工学の基礎	A　電気回路の基礎	a　電圧・電流・抵抗の概念	
		b　Ohm〈オーム〉の法則	
		c　Kirchhoff〈キルヒホッフ〉の法則	
		d　ブリッジ回路	
	B　直流回路の性質と用途	a　抵抗と抵抗率	
		b　電気エネルギーと電力量	
		c　電力の概念	
		d　Joule〈ジュール〉の法則	
	C　交流回路の性質と用途	a　抵抗〈R〉・コイル〈L〉・コンデンサ〈C〉の基本的性質	
		b　RLC直列・並列回路	
		c　インピーダンスとその周波数特性	
	D　半導体の性質と用途	a　半導体の概念	
		b　ダイオード・トランジスタ・FETの基本的性質	
3　医用電子回路	A　アナログ回路	a　増幅器・増幅回路	負帰還増幅、演算増幅
		b　差動増幅器	
		c　フィルタ回路	時定数、遮断周波数
		d　電源回路	整流、平滑
	B　デジタル回路	a　論理回路の基礎	
		b　パルス回路	
		c　AD・DA変換	サンプリング定理
	C　変調と復調	a　変調復調の概念	
		b　アナログ変調	AM、FM
		c　デジタル変調	PCM
4　生体情報の収集	A　センサ・トランスデューサの原理と構造	a　不分極電極	Ag/AgCl
		b　物理量センサ・トランスデューサ	
		c　化学量センサ・トランスデューサ	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	B 増幅器とのマッチング	a 信号源インピーダンスと入力インピーダンス	
	C 記録器・表示器の原理と特性	a 記録器	
		b 表示器	
5 電気的安全対策	A 電撃に対する人体反応	a 安全限界エネルギー	
		b マクロショックとミクロショック	
	B 電撃の周波数特性	a 最小感知電流と周波数特性	
	C 医用電気機器の安全基準	a クラス別分類と保護手段	
		b 装着部の形別分類と漏れ電流許容値	
		c 漏れ電流測定法	
	D 病院電気設備の安全基準	a 医用接地方式	EPRシステム
		b 非接地配線方式	
		c 非常電源設備	
	E 電磁波障害とその対策		
6 情報科学の基礎	A 情報の概念	a 情報理論の基礎	
		b 情報の伝達・蓄積・利用	
	B 情報処理	a 情報のコード化	
		b 情報の保存と圧縮	
		c 情報の交換	
7 ハードウェア	A 中央演算処理装置	a CPUの役割と機能	
	B インタフェース		
	C 入出力装置	a 入力装置	
		b 出力装置	
	D 記憶装置	a 主記憶装置	
		b 補助記憶装置	
	E 通信装置	a 有線通信装置	
		b 無線通信装置	
8 ソフトウェア	A プログラム言語	a 高級言語の種類と役割	
	B オペレーティングシステム〈OS〉	a OSの種類と役割	
	C データベース	a データベース管理システム	SQL
	D アプリケーションソフトウェア	a ソフトウェアの種類と役割	
		b ファイルフォーマット	
9 コンピュータネットワーク	A ネットワークの概念	a イントラネット〈LAN〉	
		b インターネット	
	B ネットワークの構成とシステム	a イーサネット	
		b ネットワーク接続機器	
		c ネットワーク伝送システム	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
		d　クライアントサーバシステム	
	C　通信プロトコル	a　TCP/IPプロトコル	
	D　セキュリティ	a　認証ID・パスワード	
		b　情報の保護・秘匿〈暗号化〉	SSL
		c　セキュリティのシステム	VPN
		d　コンピュータウイルス	
	E　インターネットのアプリケーション	a　電子メール	
		b　Webブラウザ	
10　情報処理システム	A　システムの概念	a　システムと設計	
		b　フローチャート	
	B　情報処理の利用形態	a　集中処理	
		b　分散処理	
		c　バッチ処理	
		d　リアルタイム処理	
		e　タイムシェアリング処理〈TSS〉	
		f　オンライン処理	
11　医療情報システム	A　医療情報システム	a　オーダリングシステム	
		b　電子カルテシステム	
		c　臨床検査部門システム	
		d　その他の部門システム	医用画像情報システム
		e　個人・資格認証システム	
		f　遠隔医療システム	
		g　地域医療情報システム	
		h　医学文献情報システム	
		i　人工知能〈AI〉システム	
	B　医療情報システムの利用と安全管理	a　情報保存の原則	
		b　情報システムの安全管理	
		c　個人情報保護とプライバシー	
		d　一次利用と二次利用	
		e　医療情報の標準化	

臨床検査総合管理学

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
1　検査機器学総説	A　用手法と検査機器		
	B　取り扱い上の注意と心構え		
2　共通検査機器の原理・構造	A　化学容量器	a　ピペット、微量ピペット、メスフラスコ、メスシリンダ	
		b　検定公差、検定法、洗浄法	
	B　秤量装置	a　等比天秤	
		b　直示天秤	
		c　電子天秤	
	C　遠心分離装置	a　汎用遠心分離機	
		b　高速遠心分離機	
		c　分析用超遠心分離機	
	D　分離分析装置	a　電気泳動装置	
		b　クロマトグラフ	
	E　攪拌装置	a　攪拌機	
		b　ミキサ	
	F　恒温装置	a　恒温水槽	
		b　孵卵器	
		c　乾燥器	
	G　保冷装置	a　冷蔵庫	
		b　冷凍庫	
	H　滅菌装置	a　乾熱滅菌装置	
		b　高圧蒸気滅菌装置〈オートクレーブ〉	
		c　酸化エチレンガス〈EOG〉滅菌装置	
		d　プラズマ滅菌装置	
	I　測光装置	a　分光光度計	
		b　蛍光光度計	
	J　顕微鏡装置	a　光学顕微鏡	実体顕微鏡、位相差顕微鏡、偏光顕微鏡、蛍光顕微鏡
		b　電子顕微鏡	
		c　撮影装置	
	K　電気化学装置	a　pHメータ	
		b　イオン選択性電極	
		c　酸素電極	持続皮下グルコース測定器を含む
		d　血液ガス分析装置	
	L　純水製造装置	a　蒸留法	
		b　脱イオン法	
		c　逆浸透法	

大　項　目	中　項　目	小　　項　　目	備　　考
	M 血液成分採血装置	a 膜分離法	
		b 遠心分離法	
	N 消化管内視鏡機器	a 構造	
		b 生検鉗子	
	O 検体採取関連機器	a 吸引器	
		b 気管カニューレ	

欧文索引

1

1,5-AG..... 30
1,5-アンヒドログルシトール... 30
12誘導心電図検査..... 22
(1→3)-β-D-グルカン..... 33
(1→3)-β-Dグルカン検査..... 56
Ⅰ型コラーゲン架橋Cテロペプチド
..... 34
Ⅰ型コラーゲン架橋Nテロペプチド
..... 34
1型糖尿病..... 20
Ⅰ型プロコラーゲンCプロペプチド
..... 34
Ⅰ型プロコラーゲンNプロペプチド
..... 34
1歳6ヶ月児健康診査..... 66
1日摂取許容量..... 66

2

2型糖尿病..... 20

3

3Hz棘徐波複合..... 25
3歳児健康診査..... 66

4

4つのケア..... 67

5

5-HIAA..... 5

6

6分間歩行試験..... 24

7

75gOGTT..... 30
75g経口ブドウ糖負荷試験..... 30

A

A. baumannii..... 53
A. fumigatus..... 54
A. hydrophila..... 53
A. israelii..... 54
A/G比..... 31
AABR..... 27
A-aD_{O_2}..... 24
ABI..... 23
ABO血液型..... 61, 62
ABO血液型の亜型と変異型・変化 61
ABO血液型検査..... 61
ABR..... 25
ACE..... 33
acquired B..... 61
ACTH..... 32
AD・DA変換..... 70
ADA..... 6, 34
ADAMTS13..... 42
Addison病..... 17
ADH..... 32
ADH不適合分泌症候群..... 17
ADI..... 66
AFP..... 34, 39
Ag/AgCl..... 70
AHTR..... 62
AIDS..... 15
AIHA..... 45
AIシステム..... 72
AKI..... 18
Alb..... 31
Alcian blue染色..... 38
ALK..... 14, 39
ALL..... 16, 45
ALL/LBLのWHO分類..... 45
ALP..... 32
ALPS..... 19
ALT..... 32
Alzheimer型認知症..... 19
AM..... 70
AML..... 16
AMLのWHO分類..... 45
AMY..... 32
ANCA関連疾患..... 19
ANP..... 33
*APC*変異..... 14
APTT..... 44
AST..... 1, 32, 52
AT..... 44
ATLL..... 17
azan染色..... 38
A群溶血性レンサ球菌抗原..... 57
A型肝炎ウイルス..... 55

B

B. anthracis..... 54
B. cepacia..... 53
B. cereus..... 54
B. dermatitidis..... 55
B. fragilis..... 54
B. mallei..... 53
B. melitensis..... 53
B. pertussis..... 53
B. pseudomallei..... 53
BALF..... 6
BAP..... 34
Bartter症候群..... 18
base excess..... 24
Basedow病..... 17
BCR::ABL1..... 45
BE..... 24
Behçet病..... 19
Bence Jones蛋白..... 5, 60
Berlin blue染色..... 39
Bethesdaシステム..... 40
Bilharz住血吸虫..... 7
BL..... 17
BLNAR..... 49
Bloom症候群..... 20
BLPACR..... 49
BLPAR..... 49
BMI..... 12
BNP..... 33
BOD..... 65
Bodian染色..... 39
BRAF..... 14, 21
BRCA1/2..... 21
Brecher-Cronkite法..... 43
Brecher法..... 43
Brugada症候群..... 13, 22
BSL 1、2、3、4..... 51
Burkittリンパ腫..... 17
Bモード法..... 26
B型肝炎ウイルス..... 55
B細胞..... 59
B細胞による抗原認識後の活性化と
分化..... 58
B細胞の分化..... 58
B細胞系..... 45

C

C. acnes..... 54
C. albicans..... 55
C. botulinum..... 54
C. coli..... 54
C. difficile..... 54
C. diphtheriae..... 54
C. fetus..... 54
C. freundii..... 53

C. gattii 55
C. immitis 55
C. jejuni 54
C. neoformans 55
C. perfringens 54
C. pneumoniae 54
C. psittaci 54
C. tetani 54
C. trachomatis 54
Ca 29
CA125 ..... 34, 39
CA15-3 34
CA19-9 34
CAP 3
CAR-T 63
CAT 61, 62
CBFB::*MYH11* 45
CD10 45
CD11b 58
CD13 45
CD138 46
CD14 58
CD16 58
CD19 ..... 45, 58, 59
CD2 58
CD20 ..... 39, 45, 58, 59
CD21 58
CD23 46
CD25 46
CD3 ..... 39, 45, 58, 59
CD33 45
CD34 ..... 45, 58
CD34陽性細胞数 63
CD38 ..... 46, 58, 59
CD4 ..... 45, 58, 59
CD4/CD8比 59
CD45ゲーティング 44
CD5 ..... 45, 46
CD55 45
CD56 ..... 46, 58, 59
CD59 45
CD7 45
CD79a 45
CD8 ..... 45, 58, 59
CDトキシン 50
CDトキシン検出 57
CD抗原 58
CD分類 43
CEA 34, 39
CGHアレイ 11
CGM 30
CH50測定 59
ChE 32
chromogranin A 39
CK 6, 32
CKD 18
c-kit 39
Cl 29
CLL 17
CLSI標準法 56
CML 16
CMV感染症 16
CNP 33
COD 65
Congo red染色 39
COPD 13, 24
COVID-19 16
CPUの役割と機能 71
Cr 31
CRE 49
Creutzfeldt-Jakob病 18, 25
CRH 32
Crohn病 14
CRP 31
CT 32
CTX 34
Cushing症候群 17
CYFRA 34
cytokeratin 39
Cバンド 10
C-ペプチド 33
C型ナトリウム利尿ペプチド 33
C型肝炎ウイルス 55

D

DAT 62, 63
desmin 39
DHTR 62
DIC 17
DIC診断基準 46
direct fast scarlet染色 39
DLBCL 16
DLco 23
DMAT 67
DNAウイルス 55
DNA抽出 9
DNAの損傷と修復 9
DNAの複製 9
DNAプローブの種類 11
DNAマイクロアレイ法 9
DO 65
DOPA反応 39
Down症候群 20
DPC 2
DPD 34
D-ダイマー 44
D陰性確認試験 61

E

e' 26
E. cloacae 53
E. coli 53
E. faecalis 53
E. faecium 53
E. floccosum 55
E/A 26
E1 33
E2 33
E3 33
EBM 12
EBNA 60
EBウイルス 55
EBウイルス感染症 15, 60
EC 30
EDTA依存性偽性血小板減少症 46
efflux pump 49
eGFR 6, 34
EGFR 14, 39
EGPA 19
EIA 28, 34
elastica van Gieson染色 38
elastica-Masson染色 38
EOG滅菌装置 73
EPRシステム 71
ER 39
ERP 25
ESBL産生菌 49
ESI 28
ES細胞 9
ET 16
ETV6::*RUNX1*(*TEL*::*AML1*) 45
EUS-FNA 40

F

F. nucleatum 54
F. tularensis 53
Fabry病 20
FAB分類 45
Fallot四徴症 13
Fanconi貧血 20
FC 30
FDP 44
FeNO 24
FET 70
FEV_1 23
FEV_1% 23
FFA 30
FISH法 11, 39
FL 16
FLAIR 27
fluorescence *in situ* hybridization 11
fluorescence *in situ* hybridization法 39
FM 70
FMD 23
FNHTR 62
FSH 32
FT3 32
FT4 32
FTA-ABS 59
FVC 23
F波伝導検査 25

G

Gaucher病 20

Geckler分類 6, 56
Genus *Acinetobacter* 53
Genus *Actinomyces* 54
Genus *Aeromonas* 53
Genus *Aspergillus* 54
Genus *Bacillus* 54
Genus *Bacteroides* 54
Genus *Bartonella* 53
Genus *Blastomyces* 55
Genus *Bordetella* 53
Genus *Borrelia* 54
Genus *Brucella* 53
Genus *Burkholderia* 53
Genus *Campylobacter* 54
Genus *Candida* 55
Genus *Capnocytophaga* 53
Genus *Chlamydia* 54
Genus *Citrobacter* 53
Genus *Clostridioides* 54
Genus *Clostridium* 54
Genus *Coccidioides* 55
Genus *Corynebacterium* 54
Genus *Coxiella* 53
Genus *Cryptococcus* 55
Genus *Cutibacterium* 54
Genus *Ehrlichia* 54
Genus *Enterobacter* 53
Genus *Enterococcus* 53
Genus *Epidermophyton* 55
Genus *Escherichia* 53
Genus *Exophiala* 55
Genus *Finegoldia* 54
Genus *Fonsecaea* 55
Genus *Francisella* 53
Genus *Fusobacterium* 54
Genus *Gardnerella* 54
Genus *Haemophilus* 53
Genus *Helicobacter* 54
Genus *Histoplasma* 55
Genus *Klebsiella* 53
Genus *Lactobacillus* 54
Genus *Legionella* 53
Genus *Leptospira* 54
Genus *Listeria* 54
Genus *Microsporum* 55
Genus *Mobiluncus* 54
Genus *Moraxella* 53
Genus *Morganella* 53
Genus *Mucor* 54
Genus *Mycobacterium* 54
Genus *Mycoplasma* 54
Genus *Neisseria* 53
Genus *Neorickettsia* 54
Genus *Nocardia* 54
Genus *Orientia* 54
Genus *Parabacteroides* 54
Genus *Paracoccidioides* 55
Genus *Parvimonas* 54
Genus *Pasteurella* 53
Genus *Peptoniphilus* 54
Genus *Peptostreptococcus* 54
Genus *Phialophora* 55
Genus *Plesiomonas* 53
Genus *Pneumocystis* 55
Genus *Porphyromonas* 54
Genus *Prevotella* 54
Genus *Proteus* 53
Genus *Providencia* 53
Genus *Pseudomonas* 53
Genus *Rhizopus* 54
Genus *Rickettsia* 54
Genus *Salmonella* 53
Genus *Serratia* 53
Genus *Shigella* 53
Genus *Sporothrix* 55
Genus *Staphylococcus* 53
Genus *Stenotrophomonas* 53
Genus *Streptococcus* 53
Genus *Treponema* 54
Genus *Trichophyton* 55
Genus *Veillonella* 54
Genus *Vibrio* 53
Genus *Yersinia* 53
GERD 14
GH 32
GHRH 32
Giemsa染色 39, 40, 43
GIST 14, 37
Gitelman症候群 18
GnRH 32
GPA 19
Gram染色 39
Gram染色法 48
Grimelius染色 39
Grocott染色 39
Guillain-Barré症候群 19, 25
GVHD 62, 63
Gバンド 10

H

H. capsulatum 55
H. ducreyi 53
H. influenzae 53
H. parainfluenzae 53
H. pylori 54
HACCP 66
Hb 43
HbA1c 30
HBOC 20
hCG 5, 33, 34
HCL 46
HCO_3^- 24, 29
HDL-C 30
HDL-コレステロール 30
Heinz小体 45
Hematogones 42
hematoxylin-eosin染色 38
hematoxylin液の種類と組成 38
HER2 39
H-E染色 38
H-FABP 33
Hillの基準 64
HIT 46
HIV 55
HIV抗体 60
HLA検査 63
Hodgkinリンパ腫 17
Holter心電計 23
Holter心電図検査 23
Howell-Jolly小体 45
HPLC 28
HPLC法 44
HPS 17
HS 45
Ht 43
HTLV 55
HTLV-I抗体 60
hyperdiploidy 45
H反射 25

I

IAT 61
ICD 64
ICF 64
ICG試験 34
ICT 1, 52
IFN-γ 59
IgA血管炎 19
IgA腎症 18
IgG4 59
IgG4関連疾患 19
IgG感作赤血球試薬 61
IGH::BCL2 46
IGH::MYC 46
IGRA 56, 59
IL-2 59
IMP型β-ラクタマーゼ産生菌 49
IMT 27
in situ hybridization法 39
inv(16) 45
IP 29
iPS細胞 9
isCGM 30
ISCN 11
ISH法 39
ISO 3
ITP 17

J

JAK2 V617F 45
Jouleの法則 70

K

K. aerogenes 53
K. oxytoca 53
K. pneumoniae 53
K 29

Ki67 39
Kinyoun染色 56
Kirchhoffの法則 70
KIT 14
KL-6 33
Klinefelter症候群 20
Klüver-Barrera染色 39
Km 29
KMT2A(*MLL*)再構成 45
KOH法 48
Kossa反応 39
KPC型β-ラクタマーゼ産生菌 ... 49
KRAS 14
Krebs回路 30

L

L. monocytogenes 54
L. pneumophila 53
Lambert-Beerの法則 28
Lambert-Eaton筋無力症候群 19, 26
Lamb1鞭毛虫 7
LAMP法 9, 57
LAN 71
Larmor周波数 27
LBC 40
LBC法 40
LBL 45
LCAT 31
LD 6, 32
LD50 66
LDL-C 30
LDL-コレステロール 30
Lennox-Gastaut症候群 25
Lewy小体型認知症 19
L-FABP 5, 33
LH 32
Li Fraumeni症候群 20
Liddle症候群 18
Lineweaver-Burkプロット 29
LIP 32
LISS 61
LOAEL 66
LP 23
Lp (a) 31
LPL 30
Lynch症候群 20

M

M. avium-intracellulare complex 54
M. canis 55
M. catarrhalis 53
M. leprae 54
M. morganii 53
M. pneumoniae 54
M. tuberculosis 54
MALDI 28
MALDI-TOF MS 28
MALTリンパ腫 17
Manson住血吸虫 7
Manson裂頭条虫 7
Masson trichrome染色 38
Masson-Fontana染色 39
Masterの2階段試験 23
May-Grünwald-Giemsa染色 43
MBC 50
MBL 49
MBL産生菌 49
M-bow 46
MCH 43
MCHC 43
MCI 19
MCTD 19
MCV 25, 43
MDRA 49
MDRP 49
MDRTB 49
MDS 16
MDSの検査 46
MEG 25
MEN 18
MEN1 18
MEN2 18
Ménière病 20
MEP 26
MERSウイルス 55
MET 14
Mg 29
MHC 58
MIC 50
Michaelis-Mentenの式 29
Miller & Jones分類 6, 56
MLPA法 10
MPA 19
MPO 45
MPO-ANCA 60
MRD 44
MRI 27
MRSA 49
MRアンギオグラフィ 27
MRハイドログラフィ 27
*MSH2*変異 20
mucicarmine染色 39
MUP 25
Mモード法 26
M蛋白 46

N

N. gonorrhoeae 53
N. meningitidis 53
N. sennetsu 54
Na 29
NAFLD 14
NAG 5, 33
NAGビブリオ 53
NASBA法 9
NASH 14
NAT 61
NDM型β-ラクタマーゼ産生菌 ... 49
Neglected Tropical Disease 7
N-GAL 5
NGS 10
Niemann-Pick病 20
NIRS 25
Nissl染色 39
NOAEL 66
NOEL 66
non-HDL-C 30
non-HDL-コレステロール 30
NOR法 10
NSE 34
NST 1
NTD 7
NT-proBNP 33
NTRK 14
NTX 34
N-アセチルグルコサミニダーゼ . 33

O

O. tsutsugamushi 54
OC 34
Ohmの法則 70
oil red O染色 39
orcein染色 39
OS 71
OSの種類と役割 71
OT 32
OTC検査 1
OXA型β-ラクタマーゼ産生菌 ... 49

P

P. aeruginosa 53
P. brasiliensis 55
P. distasonis 54
P. jirovecii 55
P. mirabilis 53
P. multocida 53
P. rettgeri 53
P. shigelloides 53
P. stuartii 53
P. vulgaris 53
p53 39
Pa_{CO_2} 24
PAI 44
PAIgG 46
PAM染色 38
Pa_{O_2} 24
Papanicolaou染色 40
Pappenheimer小体 45
Parkinson病 19
PAS染色 43
PAS反応 38, 39
PBC 15
PBP 49

PC..... 44
PCM..... 70
PCR法..... 9, 57
PD..... 6, 49
PD-1..... 60
PD-L1..... 39, 60
PD排液..... 6
PEF..... 23
PEG溶液..... 61
Penicillium marneffei..... 55
PgR..... 39
PGx..... 9
pH..... 24
Pharmacodynamics..... 49
Pharmacokinetics..... 49
Philadelphia<Ph>染色体..... 45
pHメータ..... 29, 73
PIC..... 44
PICP..... 34
PINP..... 34
PIVKA-Ⅱ..... 34
PK..... 49
PL..... 30
Plt..... 43
PMDA..... 68
PMF..... 16
PML::*RARA*..... 45
PNH..... 45
POCT..... 1, 29
PPE..... 51
PPNG..... 49
PR3-ANCA..... 60
Prescott-Brodie染色..... 5
PRL..... 32
ProGRP..... 34
PRSP..... 49
PR時間..... 22
PS..... 44
PSA..... 34
PSC..... 15
PSD..... 25
PSG..... 24, 25
PT..... 44
PTAH染色..... 39
Ptc_{O_2}..... 23
PT-GVHD..... 62
PTH..... 32
PTR..... 62
PV..... 16
PWV..... 23
P波幅..... 22

Q

QOL..... 4, 64
QRS時間..... 22
QTc..... 22
QT延長症候群..... 13
Qバンド..... 10

R

R. prowazekii..... 54
RA..... 19
Rapid Turnover Protein..... 31
RB1..... 9, 20
RBC..... 43
RBP..... 31
RCT..... 65
real-time PCR法..... 9
Ret..... 43
RET..... 18
RhD血液型..... 62
RhD血液型検査..... 61
Rh血液型..... 61
RI..... 4
RIA..... 28, 34
RLC直列・並列回路..... 70
RNAウイルス..... 55
RNA抽出..... 9
ROC曲線..... 12
ROS1..... 14
RPR法..... 59
RSウイルス..... 57
RTP..... 31
RT-PCR法..... 9, 57
Rumpel-Leede試験..... 47
RUNX1::*RUNX1T1*..... 45
Rバンド..... 10

S

S. agalactiae..... 53
S. aureus..... 53
S. boydii..... 53
S. dysenteriae..... 53
S. Eenteritidis..... 53
S. epidermidis..... 53
S. flexneri..... 53
S. Gallinarum..... 53
S. maltophilia..... 53
S. marcescens..... 53
S. Paratyphi A..... 53
S. pneumoniae..... 53
S. pyogenes..... 53
S. schenckii..... 55
S. sonnei..... 53
S. Typhi..... 53
S100蛋白..... 39
SARSウイルス..... 55
SAS..... 14, 24
SCC..... 34
SCV..... 25
SDGs..... 67
SEP..... 25
SFMC..... 44
SFTS..... 16
SGLT2..... 30
SIADH..... 17
sIL-2R..... 46
SI単位..... 3
Sjögren症候群..... 19
SKY<spectral karyotyping>法..... 11
SLE..... 19
SNPアレイ..... 11
sodium-glucose cotransporter 230
SOP..... 1
SP-A..... 33
SP-D..... 33
spinner標本..... 43
Sp_{O_2}..... 24
SPP..... 23
SQL..... 71
SSL..... 72
SSPE..... 25
Sternheimer染色..... 5
STI..... 51
ST上昇..... 22
ST低下..... 22
Sudan black B染色..... 39
SudanⅢ染色..... 5, 39

T

T. mentagrophytes..... 55
T. pallidum..... 54
T. rubrum..... 55
T1強調画像..... 27
t(12;21)..... 45
t(15;17)..... 45
T2強調画像..... 27
T2*強調画像..... 27
T3..... 32
T4..... 32
t(8;21)..... 45
t(9;22)..... 45
TACO..... 62
Talaromyces marneffei..... 55
TARC..... 21
TAT..... 44
Tay-Sachs病..... 20
TC..... 30
TCA回路..... 30
TCP/IPプロトコル..... 72
TDM..... 12, 32, 50
Tg..... 32
TG..... 30
TIA..... 18
TIBC..... 42
TMA..... 46
TMA法..... 9
T/NK細胞リンパ腫..... 17
toluidine blue染色..... 39
TP..... 31
TP53..... 9
*TP53*変異..... 20
TPLA..... 59
TPO..... 32
TPPA..... 59
TRAcP-5b..... 34
TRALI..... 62

TRC法 9
TRH 32
TSH 32
TSS 72
TTP 17
TTR 31
Turner症候群 20
t(v;11q23) 45
T細胞 59
T細胞系 45
T細胞による抗原認識後の活性化と分化 58
T細胞の分化 58
T細胞への非自己の提示 58

U

UA 31
UIBC 42
UN 31, 67

V

V. cholerae 53
V. cholerae non-01 53
V. parahaemolyticus 53
validation 3
VC 23
VCA-IgG 60
VCA-IgM 60
VEP 25
verification 3
Victoria blue-HE染色 38
Victoria blue染色 38, 39
vimentin 39
Virchowの3徴 42
VMA 5
Vmax 29
von Willebrand因子<VWF> 42
von Willebrand病 17
VPN 72
VRE 49
VWD 17
VWF 44

W

Warthin-Starry染色 39
WBC 43
Webブラウザ 72
wedge標本 43
Weil病 16
Westergren法 43
Westerman肺吸虫 7
West症候群 25
WHO 67
WHO憲章 64
Wilson病 20
WPW症候群 13, 22
Wright染色 43

X

XDRTB 49

Y

Y. enterocolitica 53
Y. pestis 53

Z

Ziehl-Neelsen染色 39, 48, 56
Zollinger-Ellison症候群 15

α

α_1-アンチトリプシン 6, 31
α_1-ミクログロブリン 5, 33
α顆粒 42
α波 25

β

β_2-ミクログロブリン 5, 33
β波 25
β-ラクタマーゼ 49
β-ラクタマーゼ検査法 50
β-ラクタム系抗菌薬 49

γ

γ-GT 32

δ

δ波 25
δビリルビン 32

θ

θ波 25

κ

κ/λ 45

和文索引

あ

アーチファクト 22, 25, 26
アイソザイム 32
アウトブレイク 52
亜鉛 45
アカントアメーバ 7
亜急性硬化性全脳炎 25
悪臭 65
悪性関節リウマチ 19
悪性胸膜中皮腫 14
悪性黒色腫 21
悪性細胞の特徴 40
悪性腫瘍 14
悪性貧血 16, 45
悪性リンパ腫の検査 46
アクティブガイド 66
足白癬 21
アジュバント 59
アスベスト 66
アスペルギルス抗原 56
アスペルギルス症 16
アタマジラミ 8
圧挫伸展標本 43
圧測定 6
アディポネクチン 33
アデノウイルス 55, 57
アデノシンデアミナーゼ 6, 34
アトピー性皮膚炎 19, 21
アドレナリン 33
アナフィラキシー 19
アナログ回路 70
アナログ変調 70
アニオンギャップ 29
アニサキス 7
アフィニティクロマトグラフィ 28
アプリケーションソフトウェア 71
アブ類 8
アポAⅠ 31
アポAⅡ 31
アポB100 31
アポB48 31
アポCⅠ 31
アポCⅡ 31
アポCⅢ 31
アポE 31
アポトーシス 35
アポリポ蛋白 31
アミノグリコシド系抗菌薬 50
アミノ酸代謝異常 19
アミノ酸と蛋白質の構造と機能 31
アミノ酸と蛋白質の代謝 31
アミノ酸の吸収 31
アミノ酸の代謝 31
アミノ酸の補足効果 12
アミラーゼ 32
アミロイドーシス 20

アミロイドの染色法 39
アミロイドβ蛋白 19
アミン 36
アムホテリシンB 50
アメーバ 7
アメーバ赤痢 16
アラキドン酸 36
アルカプトン 5
アルカリホスファターゼ染色 43
アルコール性肝障害 14
アルドステロン 33
アルブミン 6, 31
アルマ・アタ宣言 67
アレナウイルス 55
アレルギー性疾患 19
アレルギー性紫斑病 17
アレルギー性肺疾患 13
アレルギー反応の機序 60
アレルゲン特異的IgE定量 60
アンギオテンシン変換酵素 33
暗号化 72
安全衛生管理 4
安全キャビネット 10
安全限界エネルギー 71
安全性 27
安全対策 22
安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 61
アンチトロンビン 44
アンチバイオグラム 52
アンチプラスミン 44
アンドロステロン 33
アンピシリン耐性インフルエンザ菌 49
アンモニア 31
アンモニアの処理 31
安楽死 64

い

イーサネット 71
イエカ 8
胃液 2
胃炎 14
イオン化カルシウム 29
イオン交換クロマトグラフィ 28
イオン選択性電極 73
イオン選択電極 29
胃潰瘍 14
医学・医療の基本 64
医学概論 12
医学研究の倫理 64
医学文献情報システム 72
胃癌 14, 37
育児・介護休業法 68
育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 68
異型細胞の特徴 40
異型リンパ球と異常リンパ球 43
意識 24
意識障害 12
医師へ緊急に伝えるべき微生物の検出 57
医師法 67
医事法規 67
胃・十二指腸 37
胃・十二指腸潰瘍 37
萎縮 35
異常 10
異常Q波 22
異常心音図 23
異常心電図 22
異常像 26
異常プリオン蛋白 56
異常ヘモグロビン症 45
移植 36
移植・再生医療 9
胃食道逆流症 14
移植における組織適合性とHLA 63
移植における免疫反応 63
移植の原理と分類 63
移植前検査 63
移植免疫 63
移植免疫と検査 63
異所性妊娠 18
石綿 66
医節足動物 8
異染小体染色法 48
異染色性 39
位相差顕微鏡 73
イソニアジド 50
依存症対策 66
一次救命処置 12
一次止血 42
一次・二次免疫応答 58
一次予防 64
一次利用と二次利用 72
一次リンパ器官 58
一秒率 23
一秒量 23
一類感染症 51
一過性脳虚血発作 18
一般健康診断 67
一般廃棄物 65
遺伝学的検査 9
遺伝子 48
遺伝子異常 14, 20, 21
遺伝子異常症 20
遺伝子異常と疾患 9
遺伝子型判別法 57
遺伝子関連検査の種類 9
遺伝子検査 38, 46
遺伝子検査装置 57
遺伝子検査の精度管理 10
遺伝子検査法 8, 9, 56
遺伝子診断 9
遺伝子・染色体異常と発生発達異常 35
遺伝子・染色体検査 45, 46
遺伝子増幅 9
遺伝子増幅検査 61
遺伝子治療 9
遺伝子と疾患 9
遺伝子と発がん 9
遺伝子の基礎 9
遺伝子の検出 57
遺伝子の構造と機能 9
遺伝子発現の調節 9
遺伝子変異と変異原 9
遺伝子マッピング 10
遺伝情報管理 4
遺伝情報の伝達と発現 9
遺伝性球状赤血球症 45
遺伝性血栓性素因 46
遺伝性疾患 35
遺伝性腫瘍 35
遺伝性腫瘍症候群 20
遺伝性乳癌卵巣癌症候群 20
遺伝と変異 48
遺伝の法則 9
遺伝物質〈情報〉の伝達 48
遺伝倫理 4
移動度とその影響因子 28
医動物学 7
イトラコナゾール 50
医の倫理 64
異物の処理 35
異物排泄機能検査 34
イムノクロマトグラフィ 29
イムノクロマト法 56
医薬品医療機器総合機構 68
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 68
医薬品医療機器等法 68
医用画像情報システム 72
医用接地方式 71
医用電気機器の安全基準 71
医用電子回路 70
医療安全 3
医療・介護関連感染症 51
医療過誤 3
医療関連感染 51, 65
医療関連感染症 51
医療計画 67
医療経済 2
医療圏 67
医療事故 3
医療事故発生時の対処 3
医療事故防止対策 3, 41
医療者のコンプライアンス 64
医療情報システム 72
医療情報システムの利用と安全管理 72
医療情報の標準化 72
医療法 67
医療法又は臨検法に基づく精度の確保に係る基準 3
医療保険 67
医療面接 1
医療用ガス 4
イレウス 14
インクレチン 33
インジカン 5

インシデントとアクシデント 3
インスリノーマ 15
インスリン 33
インスリン抵抗性 30
インターネット 71
インターネットのアプリケーション 72
インタフェース 71
咽頭 36
咽頭癌 20
咽頭・食道 37
咽頭・鼻腔ぬぐい液 2
イントラネット 71
院内感染 36, 51, 65
院内感染型 49
院内感染症 51
インピーダンスとその周波数特性 70
インヒビター 46
インフォームドコンセント .. 4, 64
インフルエンザ 15
インフルエンザウイルス ... 55, 57

う

ウイルス 48, 55
ウイルス核酸〈遺伝子〉の検出 ... 56
ウイルス肝炎 15
ウイルス感染症 15, 62
ウイルス感染と生体防御 59
ウイルス抗原 57
ウイルス性肺炎 13
ウイルスの検査法 56
ウイルスの増殖 48
ウイルス粒子・抗原の検出 56
ウエッジ標本 43
ウェルシュ菌 15
右心不全 12
うっ血 35
ウニ状 45
ウルトラミクロトーム 40
運動器 27
運動系 25
運動神経伝導検査 25
運動神経伝導速度 25
運動単位 25
運動単位電位 25
運動負荷心電図検査 22
運動負荷の中止徴候 23
運動誘発電位 26

え

エイズ 67
衛生行政 67
衛生検査所 1
衛生手洗い法 51
衛生動物 8
鋭波 25
栄養サポートチーム 1
栄養素 48
疫学 64
疫学研究 65
疫学指標 65
疫学的因果関係 64
疫学との関連 57
疫学の概念 64
液状化検体法 40
液性免疫機能検査 59
液性免疫不全 60
液体培養法 56
壊死 35
エステラーゼ染色 43
エステル型コレステロール 30
エストラジオール 33
エストリオール 33
エストロン 33
壊疽 35
エタンブトール 50
エネルギー代謝 24
エピトープ 58
エポキシ樹脂 40
エボラウイルス 55
エラー 64
エルゴメータ負荷試験 23
遠隔医療システム 72
演算増幅 70
炎症 36
炎症細胞 36
炎症性疾患 13, 14
炎症とアレルギー 60
炎症に関与する伝達物質 36
炎症の分類 36
遠心沈殿法 40
遠心分離装置 73
遠心分離法 74
円柱類 5
エンドトキシン 33, 50
エンドポイント 23
塩類・結晶類 5

お

黄体形成ホルモン 32
横断研究 65
黄熱ウイルス 55
オウム病 16
オーダリングシステム 2, 72
オートクレーブ 49, 73
オームの法則 70
オーラミン法 48
小川培地 56
オキサゾリジノン系抗菌薬 50
オキシトシン 32
屋内環境 65
オステオカルシン 34
オゾン層破壊 65
オタワ憲章 64
オッズ比 65
オペレーティングシステム 71
主な検体の採取と保存 56
オルトミクソウイルス 55
音響陰影 26

か

外因 35
介護保険 67
介護保険施設 67
介護保険法 68
介護予防 66
介護療養型医療施設 67
介護老人福祉施設 67
介護老人保健施設 67
回収式 62
介助 40
解析法 9, 10
回旋糸状虫 7
回虫 7
解糖系と糖新生 30
解糖阻止剤 2
外毒素 50
介入研究 65
概念 34
開発途上国の健康問題 67
外部精度管理調査 3, 57, 61
外部精度評価 3, 10
解剖学総論 35
解剖学・病理学各論 36
概要 40
潰瘍性大腸炎 14
外来抗原に対する反応 58
解離性大動脈瘤 27
概略 3
カイロミクロン血症 20
顧みられない熱帯病 7
化学環境 65
化学的検査法 5, 6
化学的酸素要求量 65
化学的消毒法 49
化学的性質 32
科学的・論理的思考 1
化学発光分析の原理 28
化学発光分析法 28
化学分析の単位 3
化学容量器 73
化学量センサ 70
化学療法 49
過換気症候群 14
核型 10
核型進化 10
核型の記載法 11
核型分析 11
拡散強調画像 27
核酸増幅検査 56
核酸増幅装置 10
核酸増幅法 9, 57
核酸代謝 9
核酸抽出 9
核酸抽出装置 10
核酸・ヌクレオチド代謝異常 ... 35

核酸の種類 9
核酸の染色法 39
核酸の保存 9
核酸ハイブリダイゼーション法 56
核酸プローブ法 56
核磁気共鳴現象 27
各種検査材料からのGram染色所見 57
各種標準作業書・日誌等の作成 3
覚せい剤取締法 68
喀痰 2, 8, 56
喀痰検査 6
喀痰のGeckler分類 56
喀痰のMiller & Jones分類 56
拡張型心筋症 13
拡張能 26
確定診断 1
獲得免疫 58
獲得免疫系細胞による非自己排除 58
獲得免疫における異物認識 58
獲得免疫に関与する細胞群 58
確認培地 48, 56
攪拌機 73
攪拌装置 73
過形成 35
過酸化脂質 30
加算平均心電図検査 23
可視光線と紫外線 28
下肢静脈 27
下肢静脈血栓 27
下肢静脈瘤 27
過重労働対策 67
下垂体 37
下垂体機能検査 34
下垂体機能低下症 17
下垂体後葉 32
下垂体疾患 17
下垂体前葉 32
ガスクロマトグラフィ 28
ガス交換とガスの運搬 23
ガス中毒 20
ガストリノーマ 15
ガストリン 33
ガス分析 29
ガス滅菌 49
化生 35
家族性高コレステロール血症 20
家族性大腸腺腫症 14
学校安全 66
顎口虫 7
学校伝染病 66
学校保健 66
学校保健安全法 68
褐色細胞腫 17
活性 44
活性化部分トロンボプラスチン時間 44
活性酸素産生能 59
カットオフ値 12
カップリングメディア 26
カテーテル法 40
カドミウム 20
ガドリニウム 27
可能性の高い抗体 61
過敏性腸症候群 14
花粉症 19
芽胞染色法 48
鎌状 45
鎌状赤血球 45
可溶性CD14 59
可溶性フィブリンモノマー複合体 44
カラードプラ法 26
ガラスナイフ 40
カラム凝集法 61, 62
カリウム 5, 29
カリシウイルス 55
顆粒球 59
蚊類 8
カルシウム 5, 29
カルシトニン 32
カルバペネマーゼ産生菌 49
カルバペネム 49
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 49
カルプロテクチン 14, 33
加齢に伴う問題 66
過労死 67
川崎病 13
簡易Bernoulliの式 26
がん遺伝子 36
がん遺伝子パネル検査 9
肝炎 37
肝炎ウイルス感染症 60
肝炎対策基本法 68
感覚器系 37
感覚系 25
感覚系の検査 27
感覚神経伝導検査 25
感覚神経伝導速度 25
肝癌 14, 37
がん関連遺伝子 36
換気 23
間期核FISH法 11
換気機能検査 23
肝吸虫 7
環境 48, 64
環境衛生法規 68
環境基準 66
環境基本法 68
環境検査法 66
環境測定 66
環境たばこ煙と受動喫煙 65
環境保健 65
環境リスク評価 66
関係法規 67
間歇スキャン式持続グルコースモニタリング 30
肝硬変 14, 37
観察研究 65
観察法 40
カンジダ症 16
肝疾患 14, 26
眼疾患 20
間質性肺炎 14, 24
間質性肺疾患 14
患者・検体情報の収集 56
患者心理 12
患者心理と対応 22
患者中心の医療 64
患者調査 64
患者と検体の確認 3
患者と病気 12
患者認証 62
患者の意向の尊重 64
患者の権利 4, 64
感受性 65
冠循環 22
眼振検査 27
感性(S) 50
冠性T波 22
肝性脳症 25
関節 27, 37
間接Coombs試験 45
関節液 6
間接抗グロブリン試験 45, 61
間接ビリルビン 31
関節リウマチ 19
感染型食中毒 51
感染経路 50, 65
感染経路別予防策 4, 51, 65
感染源 65
感染症 2, 15, 18, 21, 33, 36, 62
感染症サーベイランス 57
感染症対策 67
感染症との関連 57
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 51, 68
感染症発生動向調査 65
感染症法 51, 68
感染症法規 68
感染症マーカー 12
感染性医療廃棄物 4
感染制御 52
感染制御チーム 52
感染性呼吸器疾患 13
感染性心内膜炎 13
感染性腸炎 14
感染性廃棄物 65
感染性廃棄物の取扱い方 51
感染成立の3要因 65
感染対策 4, 22
感染対策チーム 1
感染と発症 50
感染の発現 50
感染の予防と対策 51
感染防御免疫 59
感染免疫 36
感染様式 36
感染予防 65
乾燥 40
肝臓 37
肝臓型脂肪酸結合蛋白 33
乾燥器 73
乾燥固定法 40

がん対策基本法 68
肝・胆・膵疾患 14
肝<胆道>機能検査 34
肝胆道系 26
眼底検査 27
眼底像 27
肝蛭 7
感度と特異度 12
広東住血線虫 7
がんに対する免疫療法 60
乾熱滅菌 49
乾熱滅菌装置 73
カンピロバクター・ジェジュニ 15
がん免疫 60
がん免疫にかかわる細胞 60
がん抑制遺伝子 36
乾酪壊死 35
管理限界 3
管理濃度 66
管理法 62
寒冷凝集素 60
寒冷凝集素症 45
関連を表す指標 65

き

気圧 65
記憶 24
記憶装置 71
期外収縮 13
気管カニューレ 74
気管・気管支 36
気管支拡張症 14
気管支喘息 13, 24
気管支肺胞洗浄液 6
危機的出血 62
機器の種類と原理 62
気胸 14
奇形 35, 45
危険因子 19
基質拡張型β-ラクタマーゼ産生菌 49
希釈式 62
希釈ラッセル蛇毒法 44
記述疫学 65
技術的評価 3
基準 66
基準測定操作法 3
基準範囲 12
基準病床数 67
寄生虫感染と生体防御 59
寄生虫検査法 8
寄生虫症の疫学 7
寄生虫の生活と疾患 7
寄生虫の生殖と発育 7
基礎 22, 23, 25, 26, 27
基礎的要素 25
気体に関する一般的法則 23
気道可逆性検査 23
気道過敏性検査 23
気道抵抗 23
気道閉塞性疾患 13
機能的残気量 23
キノコ 20
キノロン系抗菌薬 50
基本技術 56
基本走査 26
逆浸透法 73
脚ブロック 22
キャリア 50
吸引器 74
嗅覚検査 27
救急医療 12, 67
救急疾患の症候 12
救急指定病院 67
吸収 29, 30
吸収不良・蛋白漏出検査 6
球状 45
急性ウイルス肝炎 14
急性炎症 60
急性冠症候群 13
急性期蛋白 31
急性呼吸不全 14
急性骨髄性白血病 16
急性骨髄性白血病のWHO分類 45
急性糸球体腎炎 18
急性腎障害 18
急性心不全 12
急性腎不全 18
急性膵炎 15
急性白血病 16
急性白血病の検査 45
急性溶血性輸血反応 62
急性リンパ芽球性白血病/リンパ芽球性リンパ腫のWHO分類 45
急性リンパ性白血病 16
吸着・分配クロマトグラフィ 28
吸虫 7
吸虫類 7
救命救急センター 67
鏡検 40
鏡検法 5, 6
鏡検法による血球観察 43
凝固 42
凝固因子 46
凝固因子インヒビター 44
凝固因子活性 44
凝固因子の産生・構造・機能 42
競合法と非競合法 29
凝固壊死 35
凝固機序 42
凝固スクリーニング検査 46
凝固制御因子 46
凝固・線溶系 42
凝固・線溶阻止物質の検査 44
凝固・線溶の検査 44
凝固促進 42
凝固の制御機構 42
狭窄 27
凝集 42
凝集能 44
狭心症 13, 22
胸水 6
胸腺 37
共存物質の影響 3
蟯虫 7
共通検査機器の原理・構造 73
胸膜 36
胸膜炎 14
胸膜疾患 14
莢膜染色法 48
業務 67
業務上疾病 66
鏡面現象 26
共用基準範囲 3
許可・承諾・場所 40
寄与危険度 65
棘波 25
虚血 35
虚血性心疾患 13, 26, 36
巨赤芽球性貧血 16
拒絶反応 36
許容濃度 66
切り出し 38
切り出しの要点と手順 38
起立性低血圧症 13
キルヒホッフの法則 70
記録器 71
記録器・表示器の原理と特性 71
記録の保管 62
筋萎縮性側索硬化症 25
禁忌 22
緊急検査 1, 22
緊急輸血 62
緊急連絡を要する検査結果<パニック値>とその取扱い 57
筋強直性ジストロフィ 19
菌血症・敗血症 15
筋原性変化 25
菌交代現象 36
菌交代症 51
筋疾患 19
近赤外線分光法 25
金属 65
筋組織 35
筋電計 25
筋電図検査 25
筋の概要 35
筋無力症 19

く

空気感染 51
空気予防策 51
クエン酸回路 30
クオリティマネジメント 3
クジラ複殖門条虫 7
くも膜下出血 18
クライアントサーバシステム 72
クラス 58
クラスⅠ、Ⅱ、Ⅲ 51
クラス別分類と保護手段 71
クラミジア 54
クラミジア感染症 16

クラミジア・トラコマティス感染症 16
クラミジア肺炎 16
グラム陽性抗酸性桿菌 54
クリアランス 6
クリーンベンチ 10, 11
クリオグロブリン 60
クリオスタット 38
グリコアルブミン 30
グリコーゲンの代謝 30
グリコペプチド系抗菌薬 50
グリシルサイクリン系抗菌薬 50
クリプトコッカス抗原 56
クリプトコッカス症 16
クリプトスポリジウム症 16
グルカゴン 33
グルコース・アラニン回路 12
クレアチニン 5, 31
クレアチニンクリアランス 34
クレアチン 5
クロージングボリューム 23
クロール 5, 6, 29
クローン性造血 46
クロストリジオイデス・ディフィシル感染症 15
クロストリジオイデス・ディフィシル抗原 57
クロスミキシング試験 44
グロブリン 6
クロマトグラフ 73
クロマトグラフィ 28
クロマトグラフィの基本原理 28
クロラムフェニコール系抗菌薬 50

け

経口感染 51
経口、経鼻又は気管カニューレからの喀痰採取 2
蛍光顕微鏡 39, 59, 73
蛍光抗体法 39
蛍光光度計 73
蛍光染色 48, 56
蛍光分析の原理 28
蛍光分析法 28
軽鎖制限 46
形質転換 48
形質導入 48
形状 6
経静脈栄養補給法 12
経頭蓋磁気刺激検査 26
経頭蓋電気刺激検査 26
計測原理と方法 43
計測と心機能評価 26
形態 36
形態的変化と経過 36
形態と機能 42
形態の観察 56
経腸栄養補給法 12
頸動脈 27
軽度認知障害 19
経皮酸素分圧 23
経皮的動脈血酸素飽和度 24
痙攣 12
劇症肝炎 14
ケジラミ 8
下水道 65
下水道法 65
血圧 22
血圧異常 13
血液 8, 56
血液ガス分析装置 24, 73
血液型 61
血液型キメラ 63
血液型と同種抗原 61
血液細胞形態・細胞性免疫検査 43
血液細胞の観察 43
血液細胞の分離・調製法 59
血液事業 61
血液製剤 61
血液製剤確認 62
血液製剤<赤血球・血小板・血漿>の保存法 62
血液製剤の外観確認 62
血液製剤の種類と量の決定 62
血液製剤の製造 61
血液成分採血装置 74
血液・造血器疾患 16
血液像・骨髄像 45, 46
血液粘弾性検査 44
血液の基礎 42
血液の機能 42
血液の性状 42
血液の成分 42
血液媒介感染 51
血液法 61
血液量 42
結核 59, 67
結核菌特異的IFN-γ遊離試験 56, 59
結核・非結核性抗酸菌症 15
結果の報告 56
血管異常による出血の検査 47
血管炎症候群 19
血管・血管内皮下組織 42
血管・血小板関連の検査 44
血管収縮・拡張 42
血管性認知症 19
血管超音波検査 27
血管内皮機能検査 23
血管迷走神経反応 2
血球 42
血球回転 42
血球算定に関する検査 43
血球数算定 43
血球貪食症候群 17
血球の産生 42
血球の分化・成熟 42
血球粒度分布 43
結合に関与する力 59
欠失 10
血漿 2
血漿採取 63
血小板 42
血小板関連IgG 44
血小板機能異常症の検査 46
血小板機能検査 44
血小板凝集能 46
血小板血栓 42
血小板減少症 17
血小板減少症の検査 46
血小板採取 63
血小板数 43
血小板増加症の検査 46
血小板とVWF 42
血小板(輸血)不応 62
血小板由来の生理活性物質 42
欠神てんかん 25
血清 2
血清学的検査 56
血清総蛋白 31
血清蛋白分画 31
血清の不活性化 58
血清補体価測定 59
結石検査 6
結節性多発動脈炎 19
血栓 35
血栓・止血関連検査 44
血栓・止血系の疾患の検査結果の評価 46
血栓性血小板減少性紫斑病 17
血栓性素因の検査 46
血栓性微小血管症 46
血栓の形成 42
血中薬物測定法 32
血糖 30
血糖の調節機能 30
血尿 5
血餅退縮 44
結膜炎 20
血友病 17
血流依存性血管拡張反応 23
血流と圧較差の評価 26
解毒機能検査 34
ケトン体 31
ケトン体の代謝 30
ゲノムDNA 9
ゲル濾過クロマトグラフィ 28
減圧症 65
原因 36
原因の精査 62
検疫感染症 68
検疫法 68
原核生物 48
嫌気性菌感染症 15
嫌気性菌の検査法 56
嫌気性グラム陰性桿菌 54
嫌気性グラム陰性球菌 54
嫌気性グラム陽性球菌 54
嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌 54
嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌 54
嫌気培養法 48
献血者の感染症検査 61
献血者の検査 61
献血制度 61

献血同意書 61
健康管理 66
健康寿命 64
健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法 68
健康診断 64, 66
健康増進法 68
健康日本21 66
健康の概念 64
健康の定義 64
健康保持増進 66
検査 6, 8, 25, 34, 46, 47
検査過誤の管理 3
検査機器 10, 11
検査機器学総説 73
検査器材・機器の管理 1
検査業務管理 1
検査計画 1
検査結果の評価 3, 57
検査結果の保存 3
検査結果への付加情報・コメント 3
検査室の環境管理 1
検査室の第三者評価 3
検査手技 26
検査診断学総論 12
検査説明 2
検査体制の変遷 1
検査と社会との関わり 3
検査に係る加算 2
検査に関与する機器 57
検査の受付 2
検査の精度の確保に係る責任者の配置 3
検査の精度保証 3
検査の注意点 27
検査の使い方 1
検査のプロセス 2
検査の分類 1
検査の倫理 4
検査の倫理規定 4
検査法 27, 34, 56
検査法の信頼性評価 3
検査法の変遷 1
検査方法 61, 62
検査前の準備 27
検査目的 32
原子吸光光度計の原理と構成 28
検証 3
顕性感染 50
検体検査 1
検体検査の一次分類 1
検体検査の精度の確保のために努めるべき事項 3
検体検査の二次分類 1
検体検査法とその技術 56
検体採取関連機器 74
検体採取時の感染対策 56
検体採取と保存 9
検体採取法 40
検体照合 2
検体処理法 40
検体試料の前処理 9
現代の感染症の特徴 51
検体の採取と保存 2
検体の採取法・取り扱い法 2
検体の種別 2
検体の種類 38
検体の測定 2
検体の取り扱い 9, 24, 41
検体の肉眼的観察と評価 56
検体の二次利用について 2
検体の搬送と保存 2
検体の前処理 2
検体搬送 2
検体別細菌検査法 56
原虫 7
原虫感染症 16
原虫の検査 8
原虫の検出法 8
原虫類 7
検定公差 73
検定法 73
原発性アルドステロン症 17
原発性硬化性胆管炎 15
原発性骨髄線維症 16
原発性脂質異常症 20
原発性胆汁性胆管炎 15
原発性肺癌 14
原発性補体欠損症 19
原発性マクログロブリン血症 17
顕微鏡観察 11
顕微鏡装置 73
顕微鏡的多発血管炎 19
顕微鏡による形態観察 57
顕微鏡の操作法 39
憲法第25条 64
原理 27
原理と意義 29
原理と検査法 26

こ

高2倍体 45
抗ARS抗体 60
抗CCP抗体 60
抗DNA抗体 60
抗GAD抗体 60
抗HIV薬 50
抗HLA抗体検査 63
抗Jo-1抗体 60
抗MDA5抗体 60
抗RNP抗体 60
抗Scl-70抗体 60
抗Sm抗体 60
抗SS-A抗体 60
抗SS-B抗体 60
抗TSH受容体抗体 60
抗アセチルコリン受容体抗体 60
高圧蒸気滅菌 49
高圧蒸気滅菌装置 73
抗インフルエンザウイルス薬 50
抗ウイルス薬 50
抗内因子抗体 60
高エネルギー化合物の役割と種類 28
好塩基球 43
好塩基性斑点 45
恒温水槽 73
恒温装置 73
恒温槽の温度 61
高温・低温 65
公害・環境汚染のエピソード 65
公害健康被害の補償等に関する法律 68
光学顕微鏡 39, 73
抗核抗体 60
抗核抗体スクリーニングによる染色パターン判別 60
光学的性質 70
抗カルジオリピン抗体 44, 60
交換輸血時の適合性検査 63
好気性グラム陰性桿菌 53
好気性グラム陽性有芽胞桿菌 54
好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌 53
好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌 53
好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌 54
好気培養法 48
高級言語の種類と役割 71
抗凝固剤 2, 61
抗凝固剤の種類 62
抗菌スペクトル 49
抗菌薬感受性とブレイクポイント50
抗菌薬耐性 49
抗菌薬治療 50
抗菌薬適正使用支援チーム 1, 52
抗菌薬の基本 49
抗菌薬の種類 49
抗菌薬の適正使用 52
口腔 37
口腔粘膜 2
合計特殊出生率 64
抗結核薬 50
抗血小板抗体 46
抗血栓性 42
抗原 58
抗原検査 56, 61
抗原抗体反応 28
抗原抗体反応に影響する因子 59
抗原抗体反応による分析法 59
抗原抗体反応の感度 59
膠原線維の染色法 38
抗原と抗体の結合 59
膠原病 19, 36
膠原病および類縁疾患 19
抗原分子の種類 58
抗原量 44
抗甲状腺ペルオキシダーゼ<TPO>抗体 32, 60
抗サイトメガロウイルス薬 50
抗サイログロブリン<Tg>抗体 32, 60

交差適合試験 62
好酸球 43
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 19
抗酸菌染色法 48
抗酸菌の検査法 56
高山病 65
公衆衛生の概念 64
恒常性 28
甲状腺 27, 32, 37
甲状腺癌 17
甲状腺機能検査 34
甲状腺機能亢進症 17
甲状腺機能低下症 17
甲状腺刺激ホルモン 32
甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン 32
甲状腺疾患 17
抗真菌薬 50
高精度染色体分染法 10
高精度分染用培養 10
抗赤血球抗体 60
広節裂頭条虫 7
抗セントロメア抗体 60
酵素 6, 32
構造 74
構造異常 10
構造と種類 31
構造と性状 48
構造と分類 29, 30, 31
酵素活性単位 32
酵素活性の測定 32
酵素活性の単位 3
梗塞 36
高速液体クロマトグラフィ 28
高速遠心分離機 73
酵素抗体法 39
酵素消化法 38
酵素組織化学染色法 39
酵素的分析法 29
酵素電極 29
酵素と基質 29
酵素の基礎 32
酵素の検査 32
酵素反応速度 29
酵素反応速度論 32
酵素免疫測定法 28
抗体解離試験 63
抗体価測定 63
抗体検査 56
抗体の作製 59
抗体の種類と意義 39
鉤虫 7
好中球 43
後天性B 61
後天性凝固・線溶異常の検査 46
後天性血栓性素因 46
後天性血友病 17
後天性出血性疾患 17
後天性免疫不全症候群 15
喉頭癌 20
高尿酸血症 20
広汎性多棘徐波複合 25
抗微生物スペクトル 49
抗ヒトグロブリン試薬 61
高プロラクチン血症 17
興奮機序 24
興奮伝導障害 13
興奮伝導と伝達 24
抗β_2-GPⅠ抗体 44
抗ヘルペスウイルス薬 50
後方エコーの増強・減弱 26
酵母および酵母様真菌 55
抗ミトコンドリア抗体 60
高免疫グロブリン血症 60
交絡因子 64
交流回路の性質と用途 70
抗リン脂質抗体 44
抗リン脂質抗体症候群 19, 46
高齢者医療確保法 68
高齢者の医療の確保に関する法律68
高齢者福祉 67
高齢者保健 66
コーティング固定法 40
小型簡易測定器 29
小形条虫 7
呼気一酸化窒素濃度 24
呼気ガス分析 24
呼吸運動とその調節 23
呼吸器 56
呼吸器系 36
呼吸器系検査の基礎 23
呼吸器疾患 13
呼吸器の一般構造と機能 36
呼吸機能検査 23
呼吸機能検査異常をきたす疾患 24
呼吸器の機能 23
呼吸系運動負荷検査 24
呼吸困難の評価法 24
呼吸商 24
呼吸生理 23
呼吸抵抗 23
呼吸不全 14, 24
国際機関 67
国際疾病分類 64
国際生活機能分類 64
国際保健 67
国際連合 67
黒色真菌 55
国勢調査 64
国民医療費 64
国民健康・栄養調査 66
国民健康保険 67
国民生活基礎調査 64
国民の生活習慣の現状 66
固形腫瘍細胞培養 10
心の健康づくり 66
誤差 3
誤差の許容限界 3
誤差の分類 3
誤差要因 43
個人・資格認証システム 72
個人・集団基準範囲 12
個人情報の管理 1
個人情報保護 64
個人情報保護とプライバシー 72
個人情報保護法 68
個人防護具 51
固相法 61, 62
骨格筋 37
骨型アルカリホスファターゼ 34
骨吸収マーカー 34
骨形成マーカー 34
骨疾患 19
骨髄 37, 42
骨髄異形成症候群 16
骨髄異形成症候群の検査 46
骨髄血 63
骨髄細胞培養 10
骨髄腫および類縁疾患 17
骨髄生検 43
骨髄性白血病の染色体検査と遺伝子検査 45
骨髄性白血病の表面マーカー 45
骨髄像 43
骨髄増殖性腫瘍 16
骨髄増殖性腫瘍および類縁疾患の検査 45
骨粗鬆症 19
骨代謝 34
骨盤腔超音波検査 27
固定 10
固定液 40
固定液の種類と組成 38
固定組織 38
固定の仕方 38, 40
固定法 38, 40
コナダニ 8
ゴナドトロピン放出ホルモン 32
誤認予防策 62
小人症 17
コホート研究 65
コミュニケーション 4
コメットエコー 26
雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 68
雇用保険 67
コリ回路 12
コリンエステラーゼ 32
五類感染症 51
コルチゾール 33
コレステロール 30
コレステロールの代謝 30
コレラ 15
コロナウイルス 55
コロモジラミ 8
婚姻 64
根拠に基づく医療 12
混合性結合組織病 19
混濁 6
混濁尿 5
コンパニオン検査 1
コンピュータウイルス 72
コンピュータクロスマッチ 62
コンピュータネットワーク 71

さ

サーベイランス..... 52, 57, 65
サーモグラフィ..... 27
災害医療..... 67
災害拠点病院..... 67
災害対策..... 4
災害派遣医療チーム..... 67
細菌..... 48, 53
細菌汚染..... 62
細菌感染症..... 15
細菌感染と生体防御..... 59
細菌性食中毒..... 15
細菌性肺炎..... 13
細菌の観察と染色法..... 48
細菌の発育..... 48
細菌の薬剤感受性検査法..... 50
サイクロスポーラ..... 7
採血合併症..... 2
採血間隔..... 61
細血管障害性溶血性貧血..... 45
採血器具..... 2
採血基準..... 61
採血時および採血後の温度管理. 58
採血時の安全管理..... 2
採血条件..... 2
採血法..... 2
再興感染症..... 65
歳差運動..... 27
採取時の患者およびドナーの安全
..... 63
最小感知電流と周波数特性..... 71
最小殺菌濃度..... 50
最小毒性量..... 66
最小発育阻止濃度..... 50
再生..... 35
再生産率..... 64
再生不良性貧血..... 16, 44
臍帯血..... 63
最大酸素摂取量と心拍数・血圧. 24
在宅医療..... 12, 67
在宅ケア..... 67
在宅検査..... 1
在宅リハビリテーション..... 67
最適比..... 59
サイトカイン..... 36
サイトカインとそのレセプター. 58
サイトカインの定量..... 59
サイトメガロウイルス..... 55
サイトメガロウイルス感染症... 16
サイドローブ..... 26
細胞..... 58
細胞学的検査法..... 6, 40
細胞学的検査法の特徴..... 40
細胞質内MPO..... 45
細胞周期..... 10
細胞数..... 6
細胞性免疫機能検査..... 59
細胞性免疫検査..... 43
細胞性免疫不全..... 60
細胞接着因子..... 58
細胞と組織..... 35
細胞内小器官の機能..... 28
細胞内小器官の構造と機能..... 35
細胞の基本構造..... 28
細胞の構造と働き..... 28
細胞の種類..... 6
細胞培養法..... 10
細胞判定区分..... 40
細胞表面マーカー..... 58
細胞分画..... 28
細胞類..... 5
財務管理..... 2
細網線維の染色法..... 38
材料の採取と保存..... 8
サイロキシン..... 32
作業環境管理..... 66
作業管理..... 66
サザンブロット法..... 9
左室駆出率..... 26
左室内径短縮率..... 26
左心不全..... 12
撮影装置..... 73
擦過法..... 40
撮像法..... 27
差動増幅器..... 70
砂漠化..... 65
作用機序..... 49
作用点修飾酵素..... 49
作用点変異..... 49
サラセミア..... 44
サルコペニア..... 12, 66
サルファ剤..... 50
サルマラリア原虫..... 7
サルモネラ属菌..... 15
酸化エチレンガス滅菌装置..... 73
産業廃棄物..... 65
産業保健..... 66
産業保健総合支援センター..... 67
三次救急..... 67
三次予防..... 64
酸性雨..... 65
産生と崩壊..... 42
三尖弁疾患..... 13
三相波..... 25
酸素解離曲線..... 23
酸素摂取量..... 24
酸素電極..... 73
サンプリング定理..... 70
三類感染症..... 51

し

シークエンサ..... 10
シークエンス解析..... 9
紫外線..... 65
視覚器..... 37
視覚誘発電位..... 25
磁気共鳴画像検査..... 27
色調..... 5, 6
磁気的特性..... 70
子宮癌..... 37
子宮筋腫..... 18
子宮頸癌..... 18
子宮疾患..... 18
子宮体癌..... 18
糸球体機能検査..... 34
糸球体腎炎..... 18, 37
子宮内膜炎..... 18
子宮内膜症..... 18
軸索変性..... 25
止血..... 42
止血機構..... 42
試験..... 67
試験管内抗原抗体反応の原理と臨床
応用..... 59
試験管法..... 61, 62
自己血輸血..... 62
自己血利用の利点・欠点..... 62
自己抗体検査..... 12
自己抗体の検査法..... 60
自己対照..... 61, 62
自己免疫..... 60
自己免疫疾患..... 36
自己免疫疾患の発生機序と分類. 60
自己免疫性肝炎..... 14
自己免疫性疾患..... 21
自己免疫性膵炎..... 15
自己免疫性溶血性貧血..... 45
自己免疫性リンパ増殖症..... 19
自殺対策基本法..... 68
自殺予防対策..... 66
死産..... 66
支持組織..... 35
支持体..... 28
脂質..... 30
脂質異常症..... 20
脂質代謝異常..... 20, 35
脂質代謝異常症..... 20
脂質蓄積症..... 20
脂質の検査..... 30
脂質の構造と機能..... 30
脂質の染色法..... 39
脂質の代謝..... 30
視床下部..... 32, 37
事象関連電位..... 25
糸状菌..... 54
糸状虫..... 7
指針..... 66
シスタチンC..... 5, 33
システマティックレビュー..... 65
システムと設計..... 72
システムの概念..... 72
次世代シークエンシング..... 10
自然毒..... 20
事前の検査説明..... 22
自然免疫..... 58
自然免疫系細胞による非自己排除
..... 58
自然免疫における異物認識..... 58
自然免疫に関与する細胞群..... 58
持続可能な開発目標..... 67
持続グルコースモニタリング... 30
持続性・周期性異常脳波..... 25

持続皮下グルコース測定器 73
死体解剖保存法 40, 68
市中感染型 49
市中感染症 51
市町村保健センター 67
疾患 20, 60
疾患と栄養 12
疾患マーカー 33
湿潤固定法 40
失神 12, 23
実体顕微鏡 73
疾病・障害統計 64
疾病・障害の概念 64
疾病の経過と転帰 12
疾病予防と健康増進 64
質量分析装置 56
質量分析法 28, 56
質量分析法の原理 28
指定感染症 51
時定数 70
自動遠心塗抹法 40
自動解析装置 11
自動機器 56
自動菌種同定装置 57
自動血液培養検査装置 56
自動血球計数器法 43
自動染色装置 38, 40
自動聴性脳幹反応 27
児童福祉 67
児童福祉法 68
自動分析装置 6
自動分析法 29
自動包埋装置 38
耳鼻咽喉疾患 20
死亡 64
脂肪肝 37
脂肪酸の代謝 30
脂肪組織 33
死亡統計 67
死亡率 65
姉妹染色分体分染法 10
社会福祉 67
社会保険 67
社会保障・福祉関連法規 68
試薬の安定性 61
試薬の管理 1, 41
遮断周波数 70
シャントビリルビン 32
臭気 5, 6
周期性同期性放電 25
重金属中毒 20
充血 35
住血吸虫 7
集細胞法 40
周産期死亡 66
終宿主 7
収縮能 26
重症虚血肢 23
重症筋無力症 19, 26
重症熱性血小板減少症候群 16
重症複合免疫不全症 19
重心動揺検査 27
従属人口 64
重炭酸イオン 24, 29
集中処理 72
終点分析 29
十二指腸液 2
十二指腸潰瘍 14
重複 10
終末期医療 64
ジュールの法則 70
主記憶装置 71
宿主 64
宿主の抵抗力 50
縮小条虫 7
主試験 62
手指振動障害 65
手術材料 38
受精 35
酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ . 34
出血 35
出血時間 44
出生 64
出生率 64
術前・術後検査 1
術中迅速標本作製の工程 38
術中モニタリング 25, 26
出力装置 71
受動免疫 59
腫瘍 18, 36
腫瘍性肺疾患 14
主要組織適合抗原遺伝子複合体 . 58
腫瘍の発生原因と機序 36
腫瘍の広がり方 36
腫瘍の分類 36
腫瘍マーカー 12, 34
受療率 64
種類 34, 62
循環器系 36
循環器系検査の基礎 22
循環器疾患 12
循環器の一般構造と機能 36
循環障害 35
循環生理 22
純水製造装置 73
消化 29, 30
障害者基本法 69
障害者総合支援法 69
障害者福祉 67
消化管 33
消化管間質腫瘍 14
消化管機能検査 27, 34
消化管疾患 14, 26
消化管内視鏡機器 74
消化管の正常像 26
消化器系 36
消化器の一般構造と機能 36
消化性潰瘍 14
松果体 37
上気道 36
小球性貧血 44
消去法 61
常在細菌叢 50
常在細菌叢と感染 50
常在細菌叢の分布 50
少子高齢化 64
上室期外収縮 22
上室頻拍 13, 22
上水道 65
脂溶性ビタミン 33
常染色体 10
常染色体異常症 20
蒸着 40
条虫 7
条虫類 7
小腸・大腸・虫垂・肛門 37
消毒法 49
消毒薬の種類と特性 49
小脳の働き 24
上皮小体 37
上皮組織 35
情報科学の基礎 71
情報システムの安全管理 72
情報処理 71
情報処理システム 72
情報処理の利用形態 72
情報の概念 71
情報の交換 71
情報のコード化 71
情報の伝達・蓄積・利用 71
情報の保護・秘匿 72
情報の保存と圧縮 71
情報保存の原則 72
情報理論の基礎 71
静脈 36
静脈血 2
静脈疾患 13
静脈路への成分採血装置の接続 . 62
静脈瘤 37
蒸留法 73
症例対照研究 65
除外診断 1
初期救急 67
職業がん 66
食細胞異常症 60
食細胞機能検査 59
食事摂取基準 12, 66
食事バランスガイド 66
食中毒 51, 66
食道炎 14
食道癌 14, 37
食品安全および食品衛生 66
食品衛生法 68
食品監視 66
食品添加物 66
植物毒 20
食物アレルギー 19
食物の消化と栄養素の吸収・代謝 12
女性生殖器 27, 37
女性生殖器疾患 18
初速度分析 29
ショック 12, 36
シラミ類 8
自律神経 24
自律神経調節と循環反射 22

索引

自律神経の検査 24
試料の保存と管理 40
視力障害 20
腎盂腎炎 18
心音計 23
心音図検査 23
心音の成因と性質 23
真核生物 48
新型インフルエンザ等感染症 51
新型コロナウイルス 55, 57
新型コロナウイルス感染症 16
新感染症 51
腎機能検査 6, 34
真菌 48, 54, 55
心筋炎 13
真菌感染症 16
心筋梗塞 13
心筋梗塞・急性冠症候群 22
心筋疾患 13
心筋症 13, 26, 36
真菌の観察と染色法 48
真菌の検査法 56
真菌の発育 48
シングルマルチ型 29
神経 24
神経・運動器系 37
神経・運動器疾患 18
神経芽腫 17
神経・筋疾患 20
神経系検査の基礎 24
神経系の一般構造と機能 37
神経組織 35
神経組織の染色法 39
神経伝導検査 25
神経原性変化 25
腎血流量検査 34
新興感染症 65
信号源インピーダンスと入力インピーダンス 71
新興・再興感染症 7, 51
進行性筋ジストロフィ 19, 25
人口静態統計 64
人工知能システム 72
人口統計と保健統計 64
人口動態統計 64
診察前検査 1
人事管理 2
心疾患 33
腎疾患 33
心室期外収縮 22
心室細動 13, 22
心室遅延電位 23
心室中隔欠損症 13
心室頻拍 13, 22
人獣共通感染症 7, 51
腎腫瘍 18, 37
新生児死亡 66
新生児聴覚スクリーニング 27
新生児の輸血前検査 62
新生児マススクリーニング 19, 66
真性赤血球増加症 16
腎性尿崩症 18
腎性貧血 16, 44
心臓 36
腎臓 37
心臓型脂肪酸結合蛋白 33
心臓腫瘍 26
心臓生理 22
心臓超音波検査 26
腎臓・尿路の正常像 26
心臓のポンプ機能 22
心臓ペースメーカー心電図 22
心臓弁膜症 23
迅速検査 1
迅速診断技術 57
人体解剖の概要 35
身体活動基準 66
身体活動指針 66
人体骨格の概要 35
身体障害者福祉法 69
身体診察 1
腎代替療法および合併症 18
診断プロセス 1
心タンポナーデ 13
心電計 22
心電図検査 22, 23
心電図の計測 22
心電図波形の成り立ち 22
心電図発現の機構 22
振動 65
浸透圧 29
心内圧と心時相 22
心内血栓 26
心内心電図検査 23
腎・尿路系 37
腎・尿路系疾患 26
腎・尿路系の一般構造と機能 37
腎・尿路結石 18
腎・尿路・男性生殖器疾患 18
心嚢 36
心嚢液 6
じん肺法 68
心拍出量 22
心拍数 22
深部静脈血栓症 14
心不全 12
腎不全 18
心房細動 13, 22
心房性ナトリウム利尿ペプチド 33
心房粗動 13, 22
心房中隔欠損症 13
心房負荷・心室肥大 22
心膜炎 13
心膜疾患 13, 26
蕁麻疹 19
診療ガイドライン 12
診療支援部門としてのあり方 1
診療放射線技師法 67
診療報酬 2

す

膵Langerhans〈ランゲルハンス〉島 37
髄液の生成 6
髄液の生成と性状 6
膵炎 15
髄外造血 42
膵外分泌機能検査 34
膵癌 15
膵機能検査 34
水銀 20
推算糸球体濾過量 6
水質汚濁 65
膵疾患 15, 26
水質検査 66
膵腫瘍 37
推奨量 12
膵神経内分泌腫瘍 15
膵臓 33, 37
膵臓の正常像 26
水素原子核 27
垂直感染 51
推定エネルギー必要量 12
推定平均必要量 12
水痘・帯状疱疹 15
水痘・帯状疱疹ウイルス 55
水道法 65
膵内分泌機能検査 34
水平感染 51
髄膜炎 18
睡眠検査 25
睡眠呼吸検査 24
睡眠指針 66
睡眠時無呼吸症候群 14, 24
睡眠の生理と調節 24
睡眠ポリグラフィ 24, 25
水溶性ビタミン 33
数的異常 10
スーパーマルチ型 29
スクリーニング 1, 64
スクリーニング検査 1
ストレスチェック 67
ストレプトグラミン系抗菌薬 50
スパイロメトリ 23
スピナー標本 43
スピロヘータ 54
スピロヘータ感染症 16
スライド法 61
すり合わせ法 40

せ

精液 2, 6
生化学 42
正確さ 3
生活環境 65
生活史と感染経路 7
生活習慣病のリスクファクター 66
生活習慣病・肥満症 20

索引

生活の質 64
生活保護法 68
性感染症 51
性器クラミジア感染症 16
正球性貧血 44
生検鉗子 74
生検材料 38
生産年齢人口 64
成熟B細胞腫瘍 16
成熟B細胞腫瘍の概要 46
成熟T/NK細胞腫瘍 17, 46
正常細胞の基本形態 40
正常像 26
正常像と異常像 27
生殖器系 37
生殖器の一般構造と機能 37
生殖細胞 10
生殖細胞系列遺伝子検査 9
生殖細胞の分裂 35
成人T細胞白血病/リンパ腫 17
成人発症Still病 19
精神保健 66
成人保健 66
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 69
精神保健指定医 66
精神保健福祉センター 66
精神保健福祉法 69
精製 59
生成と性状 6
性腺機能検査 34
性染色体 10
性染色体異常症 20
性腺・胎盤 33
精巣腫瘍 18, 37
生体エネルギー 28
生体元素 28
生体色素 31
生体色素代謝異常 35
生体色素の検査 31
生体情報の収集 70
生体内色素の染色法 39
生体内の非蛋白性窒素成分の生成31
生体内分布と血中酵素の起源 32
生体内分布と生理的意義 29
生体の調節 42
生体の物理的特異性 70
生体の防御 42
生体のリズム 28
生体物質 28
生体物性の基礎 70
生体防御機構 50
成長ホルモン 32
成長ホルモン放出ホルモン 32
精度管理 3, 57, 61
精度管理試料 3
精度管理に必要な統計学 3
精度管理法 3, 10
精度管理法の分類 3
生と死に関わる倫理的問題 64
正の選択 58
生物化学的酸素要求量 65
生物化学分析の原理と方法 28
生物学的安全キャビネット 51
生物学的位置 48
生物学的モニタリング 67
生物環境 65
成分献血 61
成分採血 62
精密検査 1
精密さ 3
生命現象と生体構成成分 28
生命のメカニズム 28
生命表 64
生理学的検査 1, 27
生理学的検査総論 22
生理学的検査の実施 3
生理学的検査の特色 22
生理活性脂質 42
生理的意義 29, 30, 31
生理的な止血〈止血血栓〉・血栓症〈病的血栓〉 42
生理的変化と賦活法 25
生理的変動 12
整流 70
世界の状況 67
世界の人口 67
世界保健機関 67
世界保健機関憲章 64
セカンドオピニオン 64
赤外線 65
赤芽球癆 16, 44
脊髄の働き 24
赤沈 43
セキュリティ 72
セキュリティのシステム 72
赤痢 15
赤痢アメーバ 7
セグメントチューブ 62
赤血球 42, 59
赤血球系疾患の検査結果の評価 44
赤血球形態異常 45
赤血球酵素異常症 45
赤血球指数 43
赤血球浸透圧抵抗試験 43
赤血球数 43
赤血球増加 45
赤血球沈降速度 43
赤血球の化学処理 61
赤血球膜異常症 45
接合 48
接触感染 50
接触予防策 51
切片伸展法 38
説明と同意 62
セファロスポリン 49
セルブロック法 40
セルロプラスミン 31
セレウス菌 15
線維素の染色法 39
前頭側頭型認知症 19
全血 2
全血献血 61
センサ・トランスデューサの原理と構造 70
穿刺液 2, 56
穿刺液検査 6
穿刺吸引法 40
洗浄法 40, 73
染色体異常 35
染色体異常と疾患 10
染色体・遺伝子異常症 20
染色体検査法 10
染色体の基礎 10
染色体の構造 10
染色体の構造と機能 10
染色体不安定症候群 10
染色体ペインティング法 11
染色の手順 38, 39
染色法 5, 6, 40, 48
染色法概論 38
染色前の操作 38
前処置 26
前処理 56
全身性エリテマトーデス 19
全身性強皮症 19
全身性自己免疫疾患で見られる自己抗体の種類 60
戦争イソスポーラ 7
選択毒性 49
先端巨大症・巨人症 17
線虫 7
線虫類 7
前庭神経炎 20
先天異常症候群 20
先天性凝固・線溶異常の検査 46
先天性巨大血小板症 46
先天性出血性疾患 17
先天性心疾患 13, 23, 26
先天性代謝異常 19
先天性副腎皮質酵素欠損症 17
先天性プラスミンインヒビター〈PI〉欠損症 46
先天性補体欠損症 60
先天性溶血性貧血 45
前頭葉てんかん 25
旋尾線虫 7
旋毛虫 7
線溶 42
線溶因子 46
線溶因子の産生・構造・機能 42
線溶機序 42
線溶の制御機構 42
前立腺炎 18
前立腺癌 18, 37
前立腺肥大(症) 18

そ

造影剤 27
造影剤腎症 18
造影超音波検査法 26
騒音 65
騒音性難聴 65

総カルシウム..... 29
早期興奮症候群..... 22
臓器写真撮影..... 38
臓器特異的自己免疫疾患で見られる
　自己抗体の種類..... 60
増菌培地..... 48
増菌培養法..... 48
造血因子..... 42
造血幹細胞移植..... 63
造血幹細胞移植とGVHD..... 63
造血幹細胞移植の適応..... 63
造血幹細胞の分離と同定..... 63
造血器官..... 42
造血器腫瘍の検査結果の評価... 45
造血器腫瘍の分類..... 45
造血器・免疫系..... 37
総コレステロール..... 30
操作..... 62
走査型電子顕微鏡..... 40
走査型電子顕微鏡標本作製..... 40
創傷の治癒と肉芽組織..... 35
総則..... 67
相対危険度..... 65
装着部の形別分類と漏れ電流許容値
　..... 71
総ビリルビン..... 31
増幅器・増幅回路..... 70
増幅器とのマッチング..... 71
僧帽弁疾患..... 13
即時型アレルギーの検査法..... 60
塞栓..... 35
測定条件..... 29
測定上の留意点..... 24
側頭葉てんかん..... 25
続発性免疫不全症..... 60
側副循環..... 36
側方陰影..... 26
組織..... 58
組織化学染色法..... 39
組織・細胞..... 2
組織細胞障害とその修復機能... 35
組織ドプラ法..... 26
組織内病原体の染色法..... 39
組織内無機物質の染色法..... 39
粗死亡率..... 64
足関節上腕血圧比..... 23
測光装置..... 73
ソフトウェア..... 71
ソフトウェアの種類と役割..... 71
尊厳死..... 64

た

体液検査..... 6
ダイオード・トランジスタ・FETの
　基本的性質..... 70
ダイオキシン類..... 66
タイ肝吸虫..... 7
大気汚染..... 65
体腔と縦隔..... 35
体細胞..... 10
体細胞遺伝子検査..... 9
胎児重症化予防法..... 63
胎児・新生児溶血性疾患..... 63
胎児の血液循環..... 36
代謝異常..... 35
代謝・栄養障害..... 19
代謝産物..... 5
代謝とATP産生..... 28
代謝と増殖..... 48
第Ⅻ因子欠乏症..... 46
胎児輸血..... 63
体循環..... 22
体循環と肺循環..... 36
大小不同..... 45
耐性(R)..... 50
体性感覚誘発電位..... 25
胎生期造血..... 42
体性神経..... 24
耐性の機序..... 49
大球性貧血..... 45
大腸アメーバ..... 7
大腸癌..... 14, 37
大腸菌ベロ毒素..... 6
大動脈・腹部動脈..... 27
大動脈弁疾患..... 13
大動脈瘤..... 13, 27
大脳の働きと機能の局在..... 24
胎盤..... 35
体表超音波検査..... 27
大複殖門条虫..... 7
大麻取締法..... 68
タイムシェアリング処理..... 72
ダイヤモンドナイフ..... 40
耐容上限量..... 12
大量出血に対する輸血..... 62
大量輸血..... 62
タウ蛋白..... 19
唾液..... 2
唾液腺..... 27, 37
楕円..... 45
高安動脈炎..... 13
類白血病反応..... 43
たこつぼ型心筋症..... 13
多剤耐性アシネトバクター..... 49
多剤耐性結核菌..... 49
多剤耐性緑膿菌..... 49
多重反射..... 26
タスクシフト／シェア..... 1
多染性..... 45
脱イオン法..... 73
脱灰液の種類と組成..... 38
脱灰の手順..... 38
脱灰法..... 38
脱灰前と脱灰後の処理..... 38
脱髄..... 25
脱パラフィン..... 38
縦緩和・横緩和..... 27
妥当性確認..... 3
多糖類の染色法..... 38
ダニ類..... 8
多発血管炎性肉芽腫症..... 19
多発性筋炎..... 25
多発性筋炎<PM>・皮膚筋炎<DM>. 19
多発性硬化症..... 19
多発性骨髄腫..... 17
多発性骨髄腫および類縁疾患の検査
　..... 46
多発性内分泌腫瘍..... 18
多発性内分泌腫瘍症1型..... 18
多発性内分泌腫瘍症2型..... 18
多包条虫..... 7
単位..... 3
単核球..... 59
胆管炎・胆嚢炎..... 14
胆管癌・胆嚢癌..... 15
単球..... 43
炭酸ガス培養器..... 11
炭酸ガス培養法..... 48
胆汁..... 8
胆汁酸..... 31
胆汁色素の代謝..... 31
単純ヘルペスウイルス..... 55
単純ヘルペス感染症..... 15
男女雇用機会均等法..... 68
男性生殖器..... 18, 27, 37
弾性線維の染色法..... 38
胆石..... 37
胆石症..... 15
単染色法..... 48
胆道癌..... 37
胆道系..... 37
胆道疾患..... 14
胆嚢..... 37
胆嚢・胆管疾患..... 26
蛋白質..... 5, 6, 31
蛋白質・アミノ酸代謝異常..... 35
蛋白質合成..... 9
蛋白質の検査..... 31
蛋白質の合成と分解..... 31
蛋白質の消化..... 31
蛋白代謝異常..... 20
蛋白分解酵素..... 61
蛋白・免疫学的検査法..... 56
単包条虫..... 7
断面解剖..... 35

ち

地域医療..... 67
地域医療支援病院..... 67
地域医療情報システム..... 72
地域産業保健センター..... 67
地域包括ケアシステム..... 66
地域包括支援センター..... 66
地域保健..... 67
地域保健法..... 68
チーム医療..... 1
地球温暖化..... 65
地球環境..... 65
治験..... 65
治験業務..... 1
地帯現象..... 59
腟トリコモナス..... 7

腟分泌液 6
窒素出納 12
窒素平衡 31
知的障害者福祉法 69
遅発性溶血性輸血反応 62
中央演算処理装置 71
中間(I) 50
中間宿主 7
中耳炎 20
中枢運動伝導時間 26
中枢神経 24
中枢神経系 37
中枢性 24
中性脂肪 30
中性脂肪の代謝 30
中毒 20
中皮腫 36
虫卵の検出法 8
中和反応 59
超薄切切片作製法 40
腸炎エルシニア 15
腸炎ビブリオ 15
超音波エラストグラフィ 26
超音波検査の基礎 26
超音波特性 70
超音波の性質 26
超音波プローブ 26
聴覚器 37
聴覚検査 27
聴覚誘発電位 25
腸管出血性大腸菌感染症 15
腸結核 14
腸疾患 33
聴性脳幹反応 25
調節機構 29
超多剤耐性結核菌 49
腸チフス 15
腸閉塞 14
直示天秤 73
直接Coombs試験 45
直接抗グロブリン試験 45, 62, 63
直接ビリルビン 31
直腸肛門機能検査 27
直流回路の性質と用途 70
貯血式 62
貯血式の採血基準 62
治療閾値 12
治療薬物モニタリング 12, 32, 50

つ

通信装置 71
通信プロトコル 72
通性嫌気性グラム陰性桿菌 53
痛風 20
ツツガムシ 8
ツツガ虫病 16

て

手足口病 15
手洗い法 51
低イオン強度溶液 61
定義 19, 36
定義と概念 12
定義と分類法 44
低血圧症 13
抵抗〈R〉・コイル〈L〉・コンデンサ〈C〉の基本的性質 70
抵抗と抵抗率 70
ディスク拡散法 50
ディスクリート方式 29
低張処理 10
データベース 71
データベース管理システム 71
デオキシピリジノリン 34
適応 22, 62
摘出臓器〈組織〉検体の観察法 38
デジタル回路 70
デジタル変調 70
手順 40
テストステロン 33
鉄芽球性貧血 44
鉄欠乏性貧血 16, 44
鉄染色 43
鉄代謝異常 20
手続き 40
テトラサイクリン系抗菌薬 50
電圧・電流・抵抗の概念 70
転移性肺腫瘍 14
展開 10
電解質 5
電解質異常 22
てんかん 18
転帰 36
電気 4
電気泳動装置 73
電気泳動の原理 28
電気泳動法 28
電気エネルギーと電力量 70
電気回路の基礎 70
電気化学装置 73
電気化学分析法 29
電気的安全対策 71
電気的特性 70
電気・電子工学の基礎 70
電極 25
電極の配置部位 25
デングウイルス 55
電撃に対する人体反応 71
電撃の周波数特性 71
電源回路 70
転座 10
電子カルテシステム 72
電子顕微鏡 73
電子顕微鏡標本作製法 40
電子染色 40
電子天秤 73
電磁波障害とその対策 71
電磁波の波長と色の関係 28
電子メール 72
転写 9, 48
伝染性紅斑 16
伝導遅延 25
伝導ブロック 25
天疱瘡 21
電離放射線 65
電力の概念 70

と

銅 45
透過型電子顕微鏡 40
透過型電子顕微鏡標本作製 40
統計学的評価 62
凍結乾燥 40
凍結切片標本作製の工程 38
凍結切片標本作製法 38
糖原病 20
糖脂質 30
糖質 6, 29
糖質代謝異常 35
糖質の検査 30
糖質の構造と機能 29
糖質の代謝 29
導出法 25
凍傷 65
洞徐脈 22
透析療法 18
痘瘡ウイルス 55
糖代謝異常 20
同定キット 56
同定検査 56
洞停止 22
同定パネル赤血球検査 61, 62
糖尿病 20, 37
糖尿病診療ガイドライン 12
糖尿病性腎症 18
糖尿病性多発ニューロパチー 25
等比天秤 73
洞頻脈 22
洞不全症候群 13, 22
動物毒 20
動物由来感染症 51
動脈 36
動脈管開存症 13
動脈血ガス分析 24
動脈血酸素分圧 24
動脈血二酸化炭素分圧 24
動脈硬化検査 23
動脈硬化症 36
動脈硬化性疾患予防ガイドライン 12
動脈疾患 13
動揺病 65
東洋毛様線虫 7
トガウイルス 55
トキソプラズマ 7
トキソプラズマ症 16
鍍銀法 38

特殊健康診断 67
特殊染色 43, 45, 57
毒素 50
毒素型食中毒 51
毒素の検出 57
特定化学物質障害予防規則 41
特定健康診査・特定保健指導 66
特定病原体等 51
特発性血小板減少性紫斑病 17
毒物 5, 32
毒物及び劇物取締法 4, 41, 68
毒物・劇物の取り扱い 41
毒物・劇物の分析 32
トコジラミ 8
閉じこもり 66
土壌汚染 65
突発性異常脳波 25
ドプラ法 26
塗抹検査 56
塗抹標本の作製法 43
塗抹法 40
ドライケミストリ 29
トラコーマ 16
トランスイルミネータ 10
トランスサイレチン 31
トランスデューサ 70
トランスフェリン 31
トリアージ 67
取り扱い上の注意と心構え 73
取り扱いと安全管理 34
トリカブト 20
トリグリセライド 30
トリグリセライドの代謝 30
トリソミー 10
トリパノソーマ 7
トリヨードサイロニン 32
努力肺活量 23
トレーサビリティ 3
トレッドミル負荷試験 23
トレランス 58
トロポニン 33
トロンビン - アンチトロンビン複合体 44
貪食能 59

な

ナイアシン 33
内因 35
内視鏡による生検材料 2
内中膜厚 27
内毒素 50
内部精度管理 3, 10, 57, 61
内分泌細胞の染色法 39
内分泌疾患 17
内分泌臓器と内分泌検査 32
内分泌かく乱化学物質 66
内分泌機能検査 34
内分泌系 37
内分泌疾患 20
捺印法 40
ナトリウム 5, 29
鉛 20
生ワクチン 68
難聴 20
軟部組織 37

に

ニキビダニ 8
肉眼的観察法 38
肉胞子虫 7
二形性真菌 55
二酸化炭素排出量 24
二次救急 67
二次救命処置 12
二次止血 42
二次性高血圧症 13
二次性脂質異常症 20
二次性赤血球増加・相対的赤血球増加 45
二次性糖尿病 20
二次性貧血 44
二次予防 64
二次リンパ器官 58
二類感染症 51
日常検査 1
日本海裂頭条虫 7
日本紅斑熱 16
日本住血吸虫 7
日本脳炎ウイルス 55
日本の人口 64
入院形態 66
乳癌 21, 37
乳酸 6
乳児死亡 66
乳児の輸血前検査 62
入出力装置 71
乳腺 27, 37
乳腺炎 21
乳腺疾患 21
乳腺の一般構造と機能 37
ニューモシスチス肺炎 16
入力装置 71
ニューロン 24
尿 2, 8, 56
尿pH 5
尿亜硝酸塩 5
尿アミラーゼ 5
尿アルブミン 5
尿一般検査 5
尿ウロビリン体 5
尿管・膀胱・尿道 37
尿クレアチニン 5
尿ケトン体 5
尿検査 5
尿細管・間質性疾患 18
尿細管機能検査 34
尿細管性アシドーシス 18
尿酸 5, 31
尿酸代謝異常 20
尿自動分析装置 6
尿浸透圧 5
尿潜血 5
尿素回路 31
尿素窒素 5, 31
尿蛋白質 5
尿中有形成分分析装置 6
尿沈渣検査 5
尿糖 5, 30
尿道炎 18
尿の生成 5
尿の生成と性状 5
尿比重 5
尿ビリルビン 5
尿崩症 17
尿量 5
尿路感染症 18
妊産婦健康診査 66
妊産婦死亡 66
認証ID 72
認証・認定制度 3
妊娠 27
妊娠反応 5
認知症 19
認知症の概念 19
認知症の検査 19
認知症の評価尺度 19
認知症の病態 19

ね

熱画像検査 27
熱帯熱マラリア原虫 7
熱中症 65
熱的特性 70
ネットワーク接続機器 71
ネットワーク伝送システム 71
ネットワークの概念 71
ネットワークの構成とシステム 71
ネフローゼ症候群 18
粘液染色 40
年金保険 67
年少人口 64
粘着 42
粘着能 44
年齢調整死亡率 64

の

膿 2
脳炎 18
脳幹の働き 24
脳血管障害 18, 37
脳梗塞 18
脳磁図検査 25
脳死判定 25
脳出血 18
脳腫瘍 18, 37
脳性ナトリウム利尿ペプチド 33
脳脊髄液 2, 56

脳脊髄液検査 6
濃染顆粒 42
脳卒中・循環器病対策基本法 68
能動免疫 59
脳波計 25
脳波検査 25
脳波発現の機序 25
膿分泌物 56
農薬中毒 20
ノーマライゼーション 64
ノカルジア感染症 15
ノザンブロット法 9
ノミ類 8
ノルアドレナリン 33
ノルウェー疥癬 21
ノロウイルス 6, 55, 57
ノロウイルス胃腸炎 15

は

歯 37
ハードウェア 71
肺 36
バイアス 3, 64
肺炎マイコプラズマ抗原 57
バイオセーフティ 51
バイオセーフティレベル 51
バイオハザード 40
バイオハザード対策 51
肺拡散能 23
肺拡散能力 23
肺活量 23
肺癌 36
廃棄 2
廃棄物 65
廃棄物処理法 65
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 65
廃棄法 2
肺吸虫 7
肺気量分画 23
肺結核 13
肺血管性病変 14
敗血症 59
肺血栓塞栓症 14
肺高血圧症 14
肺コンプライアンス 23
肺サーファクタントプロテインA 33
肺サーファクタントプロテインD 33
肺サルコイドーシス 14
肺疾患 33
肺循環 22
肺真菌症 13
培地 48
培地の成分 48
培地の分類 48
肺動脈弁疾患 13
梅毒 16
梅毒トレポネーマ感染症 59
肺内ガス分布 23
肺非結核性抗酸菌症 13
肺胞気－動脈血酸素分圧較差 24
肺胞機能検査 23
肺脈管狭窄症 13
培養環境 48
培養検査 56
培養準備 10
廃用症候群 66
胚葉の形成と分化 35
培養法 48
ハイリスク戦略 64
ハエ類 8
薄切の手技 38
薄切法 38
白癬菌症 16
薄層塗抹標本 43
破砕 45
ハサップ法 66
橋本病 17
播種性血管内凝固 17
パスワード 72
バソプレシン 32
働き方改革 67
ハチ 20
波長と余色 28
発育と培養 48
発育に必要な条件 48
発がん物質 66
白血球 42
白血球形態異常 43
白血球自動分類 43
白血球数 43
白血球反応 5
白血球分画とその増減 43
発色系 29
発生の概要 35
罰則 67
発達障害者支援法 69
バッチ処理 72
発熱性非溶血性輸血反応 62
パニック値 12
パニック値対応 4
パニック値とその取扱い 57
バニリルマンデル酸 5
パパイン 61
パピローマウイルス 55
ハプテン 58
ハプトグロビン 31
ハマダラカ 8
パラチフス 15
パラフィン包埋の工程 38
パラミクソウイルス 55
バリアフリー 64
針筋電図検査 25
針刺し切創 2
パルスオキシメータ 24
パルス回路 70
パルスドプラ法 26
パルボウイルス 55
バンクロフト糸状虫 7
バンコク憲章 64
バンコマイシン 50
バンコマイシン耐性腸球菌 49
反射の機序 24
半数致死量 66
搬送法 2
判定法 61
半導体の概念 70
半導体の性質と用途 70
パントテン酸 33
反応原性 58
反応増強剤 61
反復神経刺激検査 26
汎用遠心分離機 73

ひ

脾 42
非アルコール性脂肪性肝炎 14
非アルコール性脂肪性肝疾患 14
ピークフロー値 23
ピークフローメータ 23
ビオチン 33
光トポグラフィ 25
鼻腔 36
鼻腔吸引液 2
微好気性グラム陰性らせん菌 54
微好気培養法 48
ピコルナウイルス 55
比重 42
鼻汁 6
微小残存病変 44
非常電源設備 71
微生物検査結果の評価 57
微生物の病原因子 50
微生物の分類・構造・性状 48
微生物類・寄生虫類 6
非接地配線方式 71
ヒゼンダニ 8
脾臓 37
脾臓の正常像 26
肥大 35
肥大型心筋症 13
ビタミン 33
ビタミンA 33
ビタミンB_1 33
ビタミンB_{12} 33
ビタミンB_{12}欠乏 45
ビタミンB_2 33
ビタミンB_6 33
ビタミンC 33
ビタミンD 33
ビタミンE 33
ビタミンK 33
ビタミンK依存性凝固因子 42
ビタミンK欠乏症 17
ビタミン欠乏症 20
ビタミン代謝異常 20
ビタミンの作用と分類 33
ビタミンの種類と性質 33
非蛋白性窒素 31
非蛋白性窒素成分の検査 31

非蛋白性窒素成分の代謝 31
非蛋白窒素 5
必須微量元素 29
否定できない抗体 61
非電離放射線 65
ヒトRSウイルス 55
ヒトT細胞白血病ウイルス 55
非特異反応 59
ヒトクリプトスポリジウム 7
ヒト絨毛性ゴナドトロピン 5, 33
ヒトの染色体地図 10
ヒトパピローマウイルス 18, 55
ヒトパルボウイルスB19 55
ヒトヘルペスウイルス6 55
ヒト免疫不全ウイルス 55
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 64
菲薄 45
皮膚 2, 8, 37
皮膚及び付属器 37
皮膚および付属器の一般構造と機能 37
皮膚癌 21
皮膚灌流圧 23
皮膚糸状菌 55
皮膚疾患 21
ヒプスアリスミア 25
皮膚線維芽細胞培養 10
ピペット 73
ヒポクラテスの誓い 64
飛沫感染 51
飛沫予防策 51
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 16
病因 35, 64
病院感染 51
病院感染サーベイランス 57
病院感染症 51
病院電気設備の安全基準 71
病院の組織 1
評価法 23
病気の原因 12
病気の症状 12
病型分類 46
表現型と遺伝型 9
病原体核酸検査 9
病原体関連検査 6
病原体の危険度分類 51
病原微生物の種類と特徴 36
表示器 71
標識物質を用いた免疫測定法 59
被用者保険 67
標準化 3
標準採血法 2
標準作業手順書 1
標準物質 3
標準予防策 4, 51, 65
標的 45
標本作製法 5, 10
標本・報告書の保守管理 41
表面マーカー 46
病理解剖 40
病理学総論 35
病理業務の管理 41
病理組織染色法 38
病理組織標本作製法 38
秤量装置 73
日和見感染 36
日和見感染症 7, 51
ピラジナミド 50
比率法 56
微量アルブミン 5
微量液体希釈法 50
微量元素欠乏 45
微量ピペット 73
ビルハルツ住血吸虫 7
ピルビン酸・乳酸 30
貧血 16, 44, 45
品質保証施設認証制度 3
頻度を表す指標 65

ふ

ファーマコゲノミクス 9
ファイルフォーマット 71
フィシン 61
フィブリノゲン 31, 44
フィブリノゲン／フィブリン分解産物 44
フィブリン血栓 42
フィルタ回路 70
フィロウイルス 55
風疹 15
封入 38
封入剤の種類 38
封入体 45
フェニルケトン体 5
フェニルケトン尿症・ホモシスチン尿症・メープルシロップ尿症 19
フェリチン 31
不活化酵素 49
不活化ワクチン 68
負帰還増幅 70
不規則抗体スクリーニング 61, 62
不規則抗体同定検査 61, 62
フグ 20
複合型免疫不全 60
副甲状腺 32, 37
副甲状腺機能検査 34
副甲状腺機能亢進症 17
副甲状腺機能低下症 17
副甲状腺疾患 17
副甲状腺ホルモン 32
副試験 62
副腎 37
副腎疾患 17
副腎髄質 33
副腎髄質機能検査 34
副腎皮質 33
副腎皮質機能検査 34
副腎皮質機能亢進症 17
副腎皮質機能低下症 17
副腎皮質刺激ホルモン 32
副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン 32
腹水 6
複製 9, 48
副反応・感染症報告体制 61
腹部超音波検査 26
腹膜 37
腹膜透析排液 6
不顕性感染 50
浮腫 36
不整脈 13
不確かさ 3
普通染色 43
物質の運搬 42
物質の代謝 28
物理環境 65
物理的消毒法 49
物理量センサ・トランスデューサ 70
ブドウ球菌感染症 15
ブニヤウイルス 55
負の選択 58
不分極電極 70
部門システム 72
ブユ類 8
プラーク 27
プライマリヘルスケア 67
プラズマ滅菌装置 73
プラスミノゲン 44
プラスミノゲンアクチベータインヒビター 44
プラスミンインヒビター 44
プラスミン - プラスミンインヒビター複合体 44
フラビウイルス 55
孵卵器 73
プリオン 56
プリオンの不活化法 49
ブリストルスケール 6
ブリッジ回路 70
フルコナゾール 50
フレイル 12, 66
プレセプシン 33, 59
フローサイトメータ 59
フローサイトメトリー法 43, 44
フローチャート 72
フローボリューム曲線 23
プロカルシトニン 33, 59
プログラム言語 71
プロスタグランジン 30
プロゾーン現象 59
ブロッティング装置 10
プロテインC 44
プロテインS 44
プロトロンビン時間 44
プロトン 27
ブロメリン 61
プロラクチン 32
分光光度計 73
分光光度計の原理と構成 28
分光光度分析法 28
分散処理 72

分時換気量 24
分子標的治療 1, 36
粉じん 66
分析疫学 65
分析後プロセス 3
分析プロセス 2
分析前プロセス 2
分析用超遠心分離機 73
糞線虫 7
分染法 10
分泌液 2
糞便 2, 8, 56
糞便検査 6
糞便検査法 6
分離培地 48
分離培養 56
分離培養法 48
分離分析装置 73
分類 6, 60
分類と命名法 10

へ

ヘアリー細胞白血病 46
平滑 70
平均寿命 64
平均余命 64
平衡器 37
平衡機能検査 27
閉塞性 24
へき地医療 67
へき地医療拠点病院 67
ヘッドアップ・チルト試験 23
ベッドサイド検査 22
ペニシリナーゼ産生淋菌 49
ペニシリン 49
ペニシリン結合タンパク 49
ペニシリン耐性肺炎球菌 49
ヘパドナウイルス 55
ヘパリン起因性血小板減少症 46
ヘビ 20
ヘプシジン 16
ヘマトクリット値 43
ヘム 31
ヘムの合成 31
ヘモグロビンA1c 30
ヘモグロビン尿 5
ヘモグロビン濃度 43
ヘモクロマトーシス 20
ヘリコバクター・ピロリ感染症 15
ペルオキシダーゼ染色 43
ヘルシンキ宣言 64
ヘルスプロモーション 64
ヘルペスウイルス 55
ベロ毒素 50
変異 49
変異と多型 9
変形 45
偏光顕微鏡 39, 73
偏光顕微鏡観察 39
変性 35
変性・脱髄疾患 19
鞭虫 7
便中脂肪検査 6
変調と復調 70
変調復調の概念 70
ペントースリン酸回路 30
弁膜疾患 13
弁膜症 26
鞭毛染色法 48

ほ

ポアフィルター法 40
ポイント・オブ・ケア・テスティング 29
剖検 40
剖検材料 38
剖検室管理 40
膀胱 27
膀胱炎 18
膀胱腫瘍 18
抱合・非抱合ビリルビン 31
報告書管理体制 4
報告の種類と方法 3
房室ブロック 22
放射性同位元素 4
放射性物質を用いた検査 34
放射線照射 61
放射線特性 70
放射線滅菌 49
放射能・放射線の性質 34
放射能・放射線の測定 34
放射免疫測定法 28
放出 42
放出能 44
放線菌症 15
傍側循環 36
包埋法 38, 40
訪問看護 67
法律 68
墨汁法 48
保健衛生法規 68
保健師助産師看護師法 67
保健所 67
保険診療 2
保険点数 2
保護液 62
母児間血液型不適合妊娠 63
母児の血液型検査 63
母子保健 66
母子保健統計 66
母子保健法 68
補助記憶装置 71
補色 28
ホスホマイシン 50
保存 10
保存液 61
保存法 2
保存方法 9
保存用培地 48
補体寒冷活性化 58
補体系検査 59
補体結合反応 59
補体制御因子 58
補体成分の定量 59
母体血の不規則抗体スクリーニング 63
補体による異物認識 58
補体のエフェクター活性 58
母体の血漿交換療法 63
ポックスウイルス 55
発作性夜間ヘモグロビン尿症 45
ボツリヌス菌 15
骨 37
ポピュレーション戦略 64
ホモジニアス法とヘテロジニアス法 28
ポリエチレングリコール溶液 61
ポリオーマウイルス 55
ポリクローナル抗体 59
ポリペプチド系抗菌薬 50
ポルフィリン症 19
ポルフィリン体 5, 31
ポルホビリノゲン 5
ホルマリン色素除去 38
ホルマリンの取り扱い 41
ホルモン 32
ホルモンの作用と調節機序 32
ホルモンの種類と性質 32
保冷装置 73
本態性血小板血症 16
本態性高血圧症 13
翻訳 9

ま

マイクロアレイ染色体検査 11
マイクロサテライト解析 9
マイクロプレート法 61
マイコプラズマ 54
マイコプラズマ肺炎 13
マイトジェン 59
膜電位 24
マグネシウム 5, 29
膜分離法 74
マクロショック 71
マクロライド系抗菌薬 50
麻疹 15
麻疹ウイルス 55
麻疹・風疹ウイルス感染症 60
マダニ 8
末梢血 63
末梢血幹細胞採取 63
末梢血血液像 43
末梢血リンパ球培養 10
末梢神経 24
末梢神経系 37
末梢神経障害 25
末梢神経損傷 2
末梢性めまい 20
末梢動脈疾患 13
マニュアル 1

麻薬及び向精神薬取締法 68
マラリア 16, 67
マラリア原虫 7
マラリア原虫の検査 8
マルチプレックスPCR法 57
マレー糸状虫 7
慢性炎症性疾患による貧血 44
慢性炎症に伴う貧血 16
慢性肝炎 14
慢性甲状腺炎 17
慢性呼吸不全 14
慢性骨髄性白血病 16
慢性糸球体腎炎 18
慢性腎臓病 18
慢性心不全 12
慢性腎不全 18
慢性膵炎 15
慢性肉芽腫症 19
慢性閉塞性肺疾患 13, 24
慢性リンパ性白血病 17
慢性リンパ性白血病および類縁疾患の検査 46
マンソン住血吸虫 7
マンソン裂頭条虫 7
マントル細胞リンパ腫 17

み

ミオクロニーてんかん 25
ミオグロビン尿 5
ミオトニー放電 25
味覚検査 27
ミカファンギン 50
ミキサ 73
ミクロショック 71
ミクロトームの種類 38
ミクロヘマトクリット法 43
未固定組織 38
水と無機質の調節および代謝 29
三日熱マラリア原虫 7
ミトコンドリアDNA 9
脈管疾患 13
脈管疾患検査 23
脈波伝播速度 23
宮崎肺吸虫 7

む

無γ-グロブリン血症 19
無影響量 66
無機質 29
無機質の検査 29
無機物代謝異常 35
無機リン 5, 29
無菌操作技術 56
無形成分 42
無鉤条虫 7
無効造血 46
ムコール類 54
無性生殖と有性生殖 7
無線通信装置 71
無毒性量 66
ムンプス 15
ムンプスウイルス 55

め

命名と分類 32
メジナ虫 7
メスシリンダ 73
メスフラスコ 73
メタアナリシス 65
メタ分析 65
メタボリックシンドローム 20
メタロ-β-ラクタマーゼ産生菌 49
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 49
滅菌・消毒の技術 56
滅菌装置 73
滅菌と消毒 49
滅菌法 49
メニエール病 20
目安量 12
メラノーマ 21
メラノゲン 5
免疫 58
免疫異常 20, 36
免疫学的血小板数算定 43
免疫学的検査 46
免疫学的検査に用いる器具・機器59
免疫学的検査に用いる検体の取り扱い 58
免疫学的検査の基礎知識と技術 58
免疫学的検査法 8
免疫学的な抗原・抗体の検出 57
免疫学的分析法 28
免疫学的便潜血反応 6
免疫寛容 58
免疫記憶 58
免疫機能検査 59
免疫凝集反応 59
免疫グロブリン 31
免疫グロブリン異常 60
免疫グロブリンの機能 58
免疫グロブリンの構造 58
免疫グロブリンの定量 59
免疫グロブリンの分離 59
免疫グロブリン遊離軽鎖κ/λ比 46
免疫蛍光抗体法 60
免疫原性 58
免疫固定電気泳動法 46, 59, 60
免疫細胞化学染色 40
免疫システムの成り立ち 58
免疫性血小板減少性紫斑病 17
免疫組織化学染色法 39
免疫組織化学法 44
免疫担当器官 58
免疫沈降反応 59
免疫電気泳動 46
免疫電気泳動法 59, 60
免疫と疾患の関わり 59
免疫の成立と調節 58
免疫の発達と老化 58
免疫反応とアレルギー 36
免疫比濁法と比ろう法 28
免疫病 19
免疫不全 19, 36, 60
免疫ペルオキシダーゼ法 60
免疫溶解反応 59
免疫抑制 63
免許 67
メンタルヘルス対策 67

も

網血小板 46
毛細血管血 2
毛細血管抵抗試験 44
毛細血管透過性 42
網赤血球数 43
網膜芽細胞腫 20
目的 38, 40
目的と原理 38
目標量 12
モノクローナル抗体 59
モノクローナル抗体作製技術 59
モノバクタム 49
モル吸光係数 28
漏れ電流測定法 71
問診票 61
門脈系の正常像 26

や

薬剤感受性検査 56
薬剤感受性検査装置 57
薬剤耐性菌 49
薬剤耐性淋菌 49
薬剤排出ポンプ 49
薬事法規 68
薬品 4
薬物 5, 32
薬物相互作用 12
薬物中毒 20
薬物動態 32
薬物投与設計 12
薬物の作用機序 12
薬物療法の個別化 12
薬理遺伝学 12
役割 32
ヤブカ 8

ゆ

融解壊死 35
有害ガス 65
有害物中毒 20
有機溶剤 66

有棘 45
有形成分 42
有効期間 62
有鉤条虫 7
有効性と安全性 12
有鉤嚢虫 7
有線通信装置 71
遊走能 59
有訴者率 64
誘導法 23
尤度比 12
誘発電位 25
有病率 12, 65
遊離L鎖κ/λ比 60
遊離T3 32
遊離T4 32
遊離型コレステロール 30
遊離脂肪酸 30
輸血管理 62
輸血関連急性肺障害 62
輸血関連循環過負荷 62
輸血検査室の技能試験 61
輸血後GVHD 62
輸血後感染症 62
輸血後検体 62
輸血の基礎知識 61
輸血の適応決定 62
輸血副反応 62
輸血前検査 61
輸血前検体 62
輸血用血液製剤の保管と管理 62
輸血療法の考え方 61
輸血療法の基礎 61
輸血療法の適応 62
輸送用培地 48
ユニバーサルデザイン 64
輸入感染症 7, 51

よ

溶血性貧血 16
溶血の検査 43
葉酸 33
葉酸欠乏 45
陽子 27
要支援・要介護の原因 66
用手法 43
用手法と検査機器 73
羊水 6
羊水・絨毛細胞培養 10
陽性適(的)中率 12
溶存酸素量 65
幼虫移行症 7
幼虫・成虫体の検出法 8
抑制反応 59
横川吸虫 7
予後の検査 1
四日熱マラリア原虫 7
予防医学 64
予防医学閾値 12
予防接種法 68
四類感染症 51

ら

ライフステージと栄養 12
ラクトフェノールコットンブルー染色法 48
ラテックス凝集反応 28
卵形マラリア原虫 7
卵巣疾患 18
卵巣腫瘍 18, 37
ランダム化比較試験 65
卵胞刺激ホルモン 32

り

リアルタイムPCR法 9, 57
リアルタイム処理 72
リーシュマニア 7
リウマトイド因子 60
罹患率 65
力学的特性 70
リキッドバイオプシー 9
リケッチア 54
リケッチア感染症 16, 60
離婚 64
リサイクル 65
リスクアセスメント 4
リスク対応 4
リスク評価とリスク管理 66
リスクファクター 64
リスクマネジメント 4
リステリア菌 15
リスボン宣言 64
立体解剖 35
リパーゼ 32
リハビリテーション 64
リピドーシス 20
リファンピシン 50
リポ蛋白 31
リポ蛋白(a) 31
リポ蛋白の代謝 30
リポ蛋白リパーゼ 30
リポペプチド系抗菌薬 50
流行性角結膜炎 15
流行性耳下腺炎 15
良性発作性頭位眩暈症 20
量的効果 61
量反応関係と閾値 66
臨界点乾燥 40
淋菌感染症 15
リンコマイシン系抗菌薬 50
リン脂質 30
リン脂質中和法 44
臨床栄養学 12
臨床検査 1
臨床検査概論 1
臨床検査技師が実施可能な業務 1
臨床検査技師等に関する法律 67
臨床検査技師の役割 22
臨床検査室の技能試験 3
臨床検査情報室 1
臨床検査性能評価 12
臨床検査と生体物性 70
臨床検査の意義 1
臨床検査部門システム 72
臨床検査部門の業務 1
臨床検査部門の業務と管理 1
臨床検査部門の組織 1
臨床工学技士法 68
臨床試験 65
臨床判断値 12
臨床薬物動態学 12
臨床薬理学 12
リンパ管 36
リンパ管疾患 13
リンパ球 43, 59
リンパ球交差適合試験 63
リンパ球採取 63
リンパ球再循環 58
リンパ球細胞株の樹立 10
リンパ球サブセットの解析 59
リンパ球幼若化試験 59
リンパ性白血病の染色体検査と遺伝子検査 45
リンパ性白血病の表面マーカー 45
リンパ節 27, 37
リンパ組織 42

る

涙滴 45
類天疱瘡 21
ループスアンチコアグラント 44

れ

励起波長と蛍光波長 28
零次反応および一次反応 29
冷蔵庫 73
冷凍庫 73
レーザー 65
レオウイルス 55
レジオネラ症 15
レジオネラ・肺炎球菌尿中抗原 57
レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ 31
レセプター編集 58
レチノール結合蛋白 31
裂頭条虫 7
レトロウイルス 55
レトロウイルス感染症 60
レプチン 33
レプトスピラ 54
レプトスピラ症 16
連鎖球菌感染症 15
連銭形成 45
連続波ドプラ法 26

ろ

労災保険 67
老人福祉法 68
労働安全衛生法 ..... 41，68
労働衛生管理 4
労働衛生の3管理 66
労働衛生法規 68
労働基準監督署 67
労働基準法 68
労働災害 66
労働者災害補償保険法 68
老年人口 64
ろ過滅菌 49
ロコモティブシンドローム 66
ロタウイルス ..... 55，57
濾胞性リンパ腫 16
論理回路の基礎 70

わ

ワクチン 51